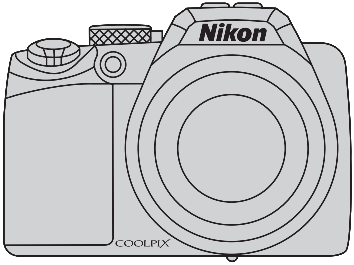
Nikon

デジタルカメラ

COOLPIX P100

クールピクス P100

使用説明書



Jp

商標説明

- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSおよびQuickTimeは、Apple Inc.の商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDロゴおよびSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- PictBridgeロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

(i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）
(ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。
詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。
http://www.mpegla.comをご参照ください。

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。
この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
表示と意味は以下のようになっています。

⚠**危険**	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。**
⚠**警告**	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠**注意**	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。**

お守りいただく内容の種類を、以下の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例	
⚠	**△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。**
⊘	**⊘記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。**
●	**●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。**

⚠警告（カメラについて）

分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
電池を取る すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。 電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。
発光禁止	**車の運転者等にむけてフラッシュを発光しないこと** 事故の原因となります。
発光禁止	**フラッシュを人の目に近づけて発光しないこと** 視力障害の原因となります。 特に乳幼児を撮影する時は1 m以上離れてください。
保管注意	**幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだときは、直ちに医師にご相談ください。
保管注意	**ストラップが首に巻きつかないようにすること** **特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと** 首に巻き付いて窒息の原因となります。
警告	**指定の電源（電池、本体充電ACアダプターまたはACアダプター）を使うこと** 指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。
使用禁止	**充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠注意（カメラについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。

保管注意	**製品は、幼児の手の届かない所に置くこと** ケガの原因になることがあります。
保管注意	**使用しないときは、レンズにキャップを付けて太陽光のあたらない所に保管すること** 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
移動注意	**三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと** 転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。
使用注意	**航空機内で使うときは、離着陸時に電源をOFFにすること** **病院で使うときは病院の指示に従うこと** 本機器が出す電磁波などにより、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。
電池を取る プラグを抜く	**長期間使用しないときは電源（電池、本体充電ACアダプター、ACアダプター）を外すこと** 電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因になることがあります。 本体充電ACアダプターやACアダプターをお使いの際には、電源プラグをコンセントから抜いて、その後でカメラを取り外してください。火災の原因になることがあります。
発光禁止	**内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと** やけどや発火の原因になることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。
放置禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと** 内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります。

禁止	**付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと** 機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼすことがあります。

⚠ 危険
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

禁止	**電池を火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
分解禁止	**電池をショート、分解しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**専用の充電器を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
使用禁止	**Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL5は、ニコンデジタルカメラ専用の充電池でCOOLPIX P100に対応しています。EN-EL5に対応していない機器には使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**ネックレス、ヘアピンなど金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと** ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。 持ち運ぶときは端子カバーをつけてください。
危険	**電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠ 警告
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

保管注意	**電池は幼児の手の届かないところに置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。万一飲み込んだときは、直ちに医師にご相談ください。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
使用禁止	**変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電をやめること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参いただくか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。
警告	**電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠ 注意
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

注意	**電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠警告
（本体充電ACアダプターについて）

分解禁止	**分解したり修理・改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
プラグを抜く すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電源プラグをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。 電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。
警告	**電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布で拭き取ること** そのまま使用すると、火災の原因になります。
使用禁止	**雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
禁止	**ケーブルを傷つけたり、加工したりしないこと** **また、重いものを載せたり、加熱したり、引っぱったり、むりに曲げたりしないこと** ケーブルが破損し、火災、感電の原因となります。
感電注意	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと** 感電の原因となります。
禁止	**海外旅行者用電子式変圧器（トラベルコンバーター）や DC/AC インバーターなどの電源に接続して使わないこと** 発熱、故障、火災の原因となります。

⚠注意
（本体充電ACアダプターについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
放置禁止	**製品は、幼児の手の届かない所に置くこと** ケガの原因になることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

目次

使用説明書について

ニコンデジタルカメラCOOLPIX P100をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お使いになる前に、この使用説明書をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

●本文中のマークについて

カメラの故障を防ぐために、使用前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。	カメラを使用するときに、便利な情報を記載しています。
カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。	関連情報を記載した参照ページを記載しています。

●表記について

- SDメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- 液晶モニターに表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[ ] で囲って表記しています。

●画面例について

本書では、液晶モニター上や電子ビューファインダー内の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。

●本文中のイラストについて

本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。

内蔵メモリーとSDカードについて

本機は、内蔵メモリーとSDカードの両方に対応しています。SDカードをカメラにセットしているときは、SDカードが優先して使用されます。内蔵メモリーを使用して、撮影、再生、削除、初期化などの操作をするときは、SDカードをカメラから取り出してください。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

●カスタマー登録

下記のホームページからカスタマー登録できます。

https://reg.nikon-image.com/

付属の「登録のご案内」に記載されている登録コードをご用意ください。

●カスタマーサポート

下記のホームページでサポート情報をご案内しています。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、本体充電ACアダプター、ACアダプターなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。



ホログラムシール

- Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL5 には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品のLi-ion リチャージャブルバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が出せないことや、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●使用説明書について

- この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、下記のホームページから使用説明書のPDFファイルをダウンロードできます。

  http://www.nikon-image.com/jpn/support/manual/

  ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー（SDカード/カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。

メモリーを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトウェアなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。なお、「オープニング画面」の「撮影した画像」（🕮154）も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡/廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

●電波障害自主規制について

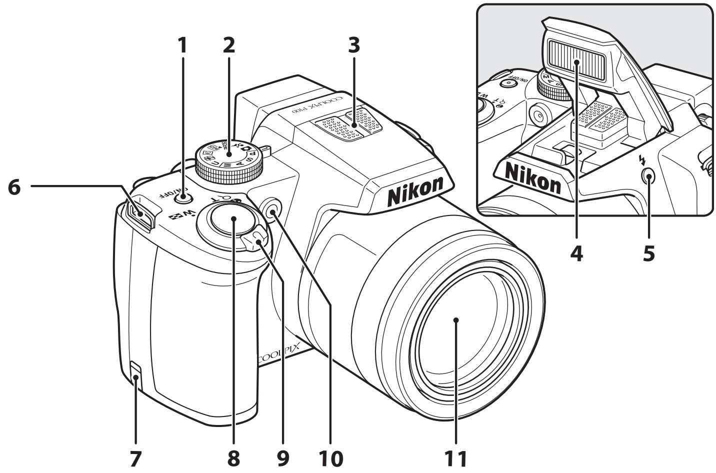
この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

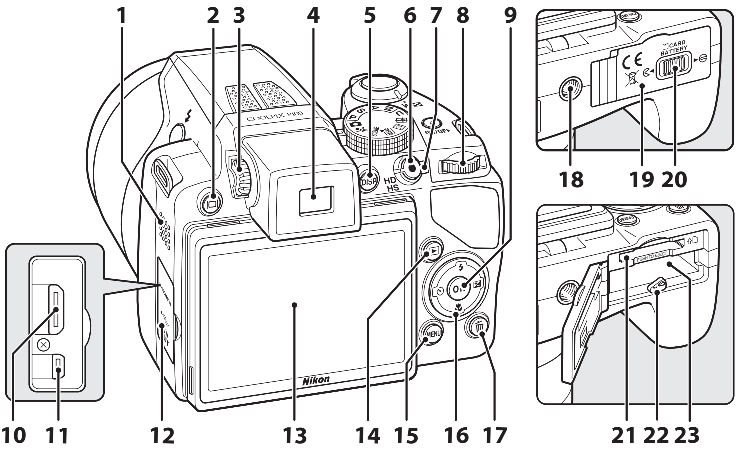
各部の名称

カメラ本体

内蔵フラッシュポップアップ時



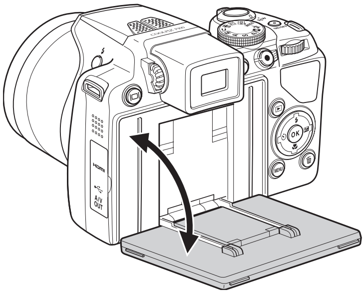
1	電源スイッチ/電源ランプ ....19、21、145、165
2	モードダイヤル 42
3	マイク（ステレオ）........117、127
4	内蔵フラッシュ ....7、34
5	⚡（フラッシュポップアップ）ボタン ....7、35
6	ストラップ取り付け部（2カ所）...7
7	パワーコネクターカバー（別売ACアダプター接続用）...................179
8	シャッターボタン 30
9	ズームレバー ....29 W：広角ズーム ....29 T：望遠ズーム ....29 ▦：サムネイル表示 ....104 🔍：拡大 ....106 ?：ヘルプ.............................14
10	セルフタイマーランプ ....37 AF補助光 163
11	レンズ ....175、195

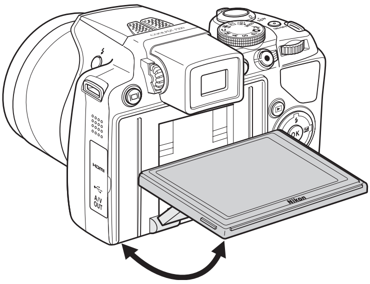


1	スピーカー .... 117、137
2	◫（モニター）ボタン 14
3	視度調節ダイヤル 14
4	電子ビューファインダー........... 14
5	DISP（表示切り換え）ボタン 15
6	●（動画撮影）ボタン............. 127
7	動画モードスイッチ................. 127
8	コマンドダイヤル 11
9	Ⓚ（決定）ボタン 12
10	HDMIミニ端子 138
11	USB/オーディオビデオ出力端子 ....138、141、147
12	端子カバー ....138、141、147
13	液晶モニター .... 8、15、27
14	▶（再生）ボタン.......................32
15	MENU（メニュー）ボタン ...13、45、74、107、132、153
16	マルチセレクター.......................12
17	🗑（削除）ボタン ....32、33、117、137
18	三脚ネジ穴
19	バッテリー/SDカードカバー ....16、24
20	ロックレバー ....16、24
21	SDカードスロット 24
22	バッテリーロックレバー ....16、17
23	バッテリー室 16

液晶モニターの角度を変える

液晶モニターの角度は、下向きに82°、上向きに90°動かせます。カメラを高い位置や低い位置に構えて撮影するときなどに便利です。





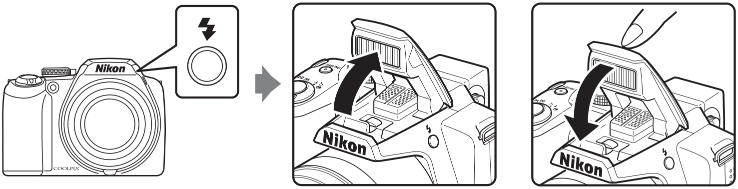
液晶モニターについてのご注意

- 液晶モニターの角度を変えるときは、無理な力を加えないでください。
- 液晶モニターは、左右方向には動かせません。
- 通常は、液晶モニターの位置をもとに戻してお使いください。

内蔵フラッシュのポップアップと収納

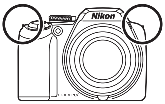
⚡（フラッシュポップアップ）ボタンを押すと、内蔵フラッシュがポップアップします。

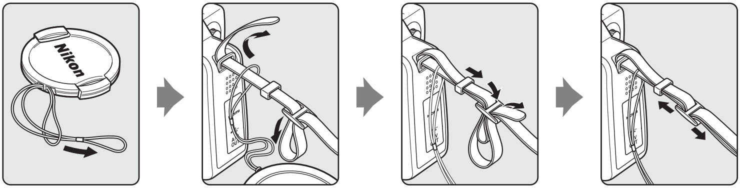
- フラッシュの設定方法→「フラッシュを使う」（📖34）
- フラッシュを使わないときは、内蔵フラッシュを手で軽く押し下げて、閉じてください。



ストラップとレンズキャップの取り付け方

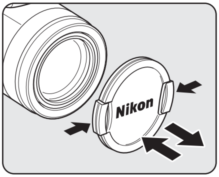
レンズキャップをストラップに取り付けてから、ストラップをカメラに取り付けます（2カ所）。





✔ レンズキャップについて

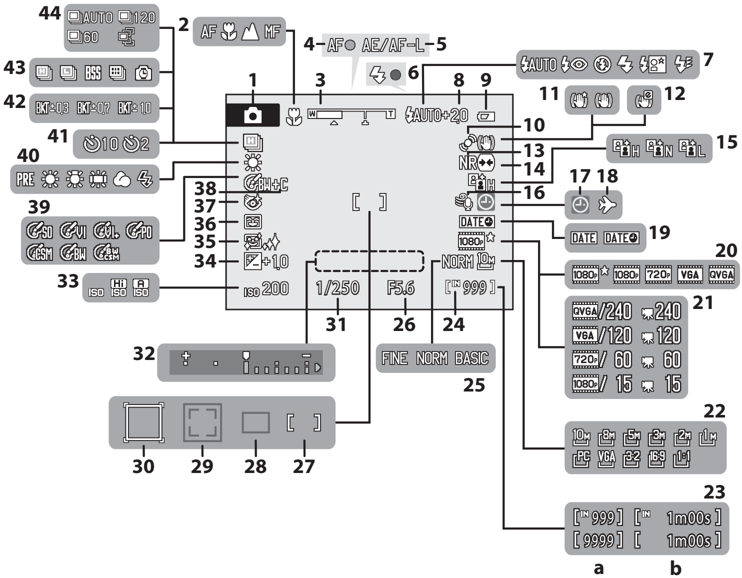
- 撮影するときはレンズキャップを外してください。
- 電源をOFFにしているときや持ち運び中など、撮影していないときは、レンズキャップをカメラに取り付けてレンズを保護してください。

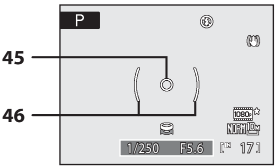


液晶モニターの表示内容

説明のため、すべての表示を点灯させています。
モニター表示の切り換え方は、15ページをご覧ください。

撮影時

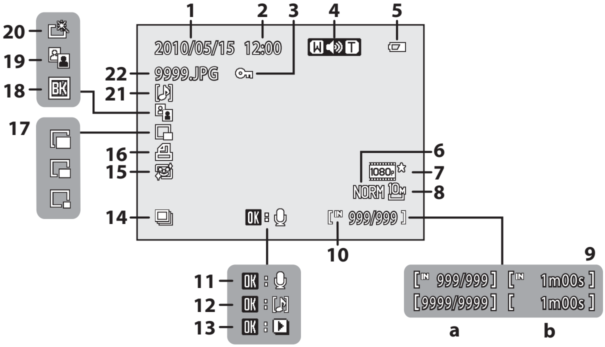




1	撮影モード※ 26、43、45、55、59、62、66、98
2	フォーカスモード........................38
3	ズーム表示.................................29
4	AF表示.......................................30
5	AE/AF-L表示..............................54
6	フラッシュ表示............................36
7	フラッシュモード........................34
8	調光補正.....................................93
9	バッテリーチェック....................26
10	モーション検知表示................ 162
11	手ブレ補正表示（静止画）....... 160
12	電子式手ブレ補正表示（動画）.. 136
13	ノイズ低減.................................94
14	ゆがみ補正.................................94
15	アクティブD-ライティング.......95
16	風切り音低減.......................... 136
17	日時未設定.............................. 183
18	訪問先..................................... 155
19	デート写し込み....................... 159
20	動画設定.................................. 132
21	HS動画設定............................ 134
22	画像サイズ.................................76
23	(a)記録可能コマ数（静止画）.....26 (b)記録可能時間（動画）.......... 127
24	内蔵メモリー表示...................... 27
25	画質.. 75
26	絞り値...................................... 67
27	AFエリア（マニュアル、中央時）.......30、90
28	AFエリア（オート時）............... 90
29	AFエリア（顔認識時）........55、90
30	AFエリア（ターゲット追尾モード時）....... 59
31	シャッタースピード.................. 67
32	露出インジケーター.................. 71
33	ISO感度表示.......................36、84
34	露出補正値................................ 41
35	美肌効果................................... 57
36	笑顔自動シャッター.................. 57
37	目つぶり軽減............................ 58
38	カラー同時記録......................... 81
39	仕上がり設定............................ 79
40	ホワイトバランス...................... 82
41	セルフタイマー......................... 37
42	ブラケティング......................... 89
43	連写モード................................ 86
44	高速連写設定............................ 64 先取り撮影.........................64、65
45	スポット測光範囲...................... 85
46	中央部重点測光範囲.................. 85

※ 撮影モードによって表示されるアイコンが異なります。

再生時



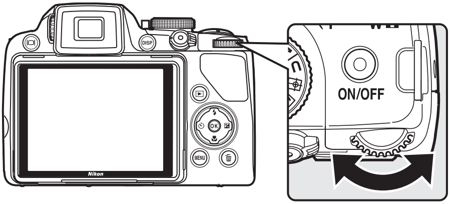
1	撮影日 22	12	音声メモガイド（再生）.......... 117
2	撮影時刻 22	13	連写グループ再生ガイド......... 102 動画再生ガイド 137
3	プロテクト表示..........113	14	連写グループ表示 116
4	音量表示 ....117、137	15	美肌編集済み表示 122
5	バッテリーチェック 26	16	プリント指定表示 108
6	画質※ 75	17	スモールピクチャー ......124、126
7	動画設定※.......... 133	18	黒フレーム済み表示 125
8	画像サイズ※..........76	19	D-ライティング済み表示........ 121
9	(a)画像の番号/全画像数 ....32 (b)動画の再生時間..........137	20	簡単レタッチ済み表示 120
10	内蔵メモリー表示..........32	21	音声メモ表示.......... 117
11	音声メモガイド（録音）..........117	22	ファイル名.......... 181

※ 撮影時の設定によって表示されるアイコンが異なります。

主なボタン操作とヘルプの使い方

コマンドダイヤル

コマンドダイヤルを回すと、メニュー画面で項目を選んだり、以下の機能の設定や選択ができます。



撮影時に使う

状態	操作	内容	📖
モードダイヤルが**P**のとき	(コマンドダイヤル)	プログラムシフト量の変更	68
モードダイヤルが**S**のとき	(コマンドダイヤル)	シャッタースピードの変更	69
モードダイヤルが**A**のとき	(コマンドダイヤル)	絞り値の変更	70
モードダイヤルが**M**のとき	(コマンドダイヤル)	シャッタースピードまたは絞り値の変更（変更する項目はマルチセレクターの▶を押して切り換えます。）	71

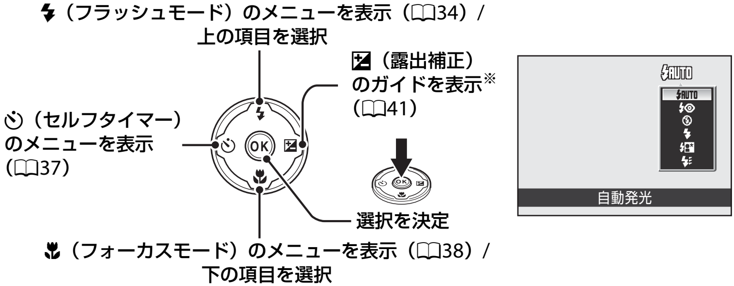
再生時に使う

状態	操作	内容	📖
1コマ表示またはサムネイル表示	(コマンドダイヤル)	画像の選択	32、101、104
カレンダー表示	(コマンドダイヤル)	日付の選択	105
拡大表示	(コマンドダイヤル)	拡大倍率の変更	106
連写グループの再生または一時停止中	(コマンドダイヤル)	操作パネルアイコンの選択	102
動画の一時停止中	(コマンドダイヤル)	コマ送り/コマ戻し	137

マルチセレクター

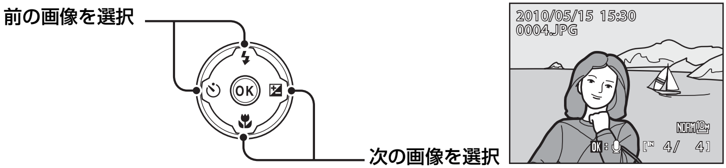
モードやメニューを選んで決定するときは、マルチセレクターを使います。上、下、左、右の部分、またはOK（決定）ボタンを押して操作します。

撮影時に使う

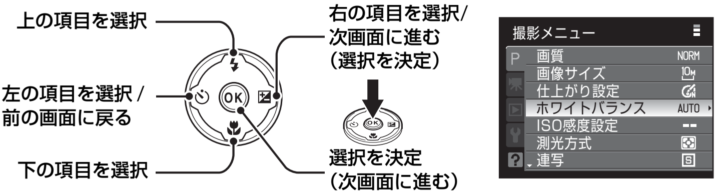


※ 撮影モード**M**（マニュアル露出）のときは、コマンドダイヤルを回したときにシャッタースピードを設定するか、絞り値を設定するかを選びます（□71）。

再生時に使う



メニュー画面で使う



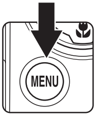
マルチセレクターの使い方の記載について

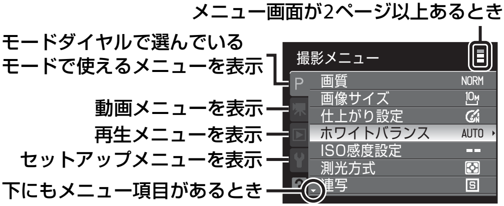
本書ではマルチセレクターの上、下、左、右の各操作部を▲、▼、◀、▶と表記する場合があります。

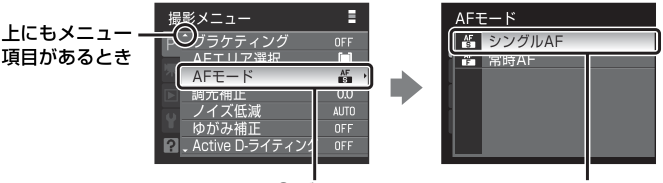
MENU（メニュー）ボタン

MENUボタンを押すと、メニューを表示して、メニュー項目を設定できます。

- 各メニュー項目を設定するには、マルチセレクターを使います（□12）。
- コマンドダイヤルを回しても、メニュー項目を選べます。
- 左側のタブを選ぶと、選んだタブのメニューに切り換わります。
- メニュー表示を終了するには、もう一度MENUボタンを押します。



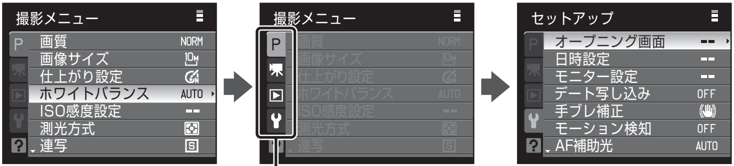




項目を選んで🆗ボタンを押す、またはマルチセレクターの▶を押すと、設定画面を表示します。

🆗ボタンを押す、またはマルチセレクターの▶を押すと、設定が確定します。

タブの切り換え方法



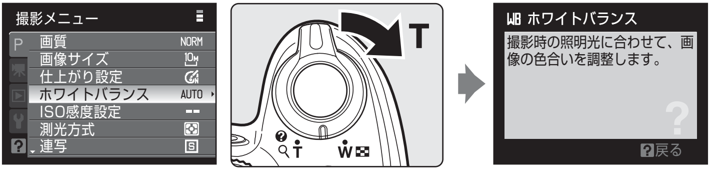
マルチセレクターの◀を押してタブに移動します。

マルチセレクターの▲▼を押してタブを選び、🆗ボタンまたは▶を押します。

選んだタブのメニューが表示されます。

ヘルプの表示方法

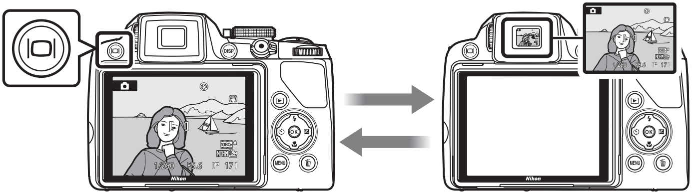
メニュー画面の下に?が表示されているときにズームレバーを**T**（❓）方向に回すと、選んでいる項目の説明（ヘルプ）を表示できます。
メニュー画面に戻るには、もう一度ズームレバーを**T**（❓）方向に回します。



|□|（モニター）ボタン

|□|（モニター）ボタンを押すたびに、液晶モニターまたは電子ビューファインダーのどちらかにモニター表示が切り換わります。明るい場所で液晶モニターが見えにくいときは電子ビューファインダーを使用するなど、撮影状況に合わせて切り換えてください。

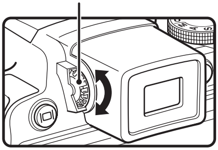
液晶モニター　　電子ビューファインダー



✔ 電子ビューファインダーの視度調節について

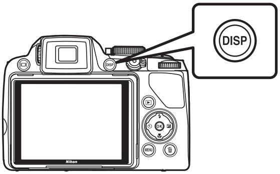
電子ビューファインダーの視度が合わず、表示が見えにくいときは、視度調節ダイヤルで視度を調節できます。ファインダーをのぞきながら、表示が最もはっきり見える位置まで視度調節ダイヤルを回してください。
視度調節ダイヤルを操作するときは、爪や指先で目を傷つけないようにご注意ください。

視度調節ダイヤル

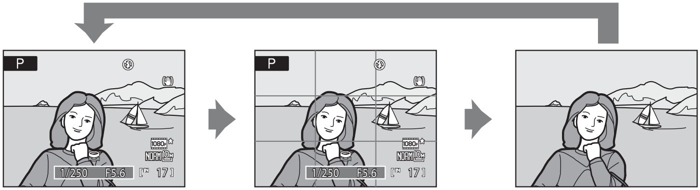


DISP（表示切り換え）ボタン

DISP（表示切り換え）ボタンを押すたびに、撮影時や再生時に液晶モニターに表示する情報の切り換えができます。



撮影時

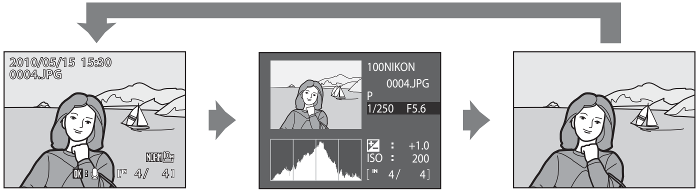


情報ON
撮影画像と撮影情報を表示します。

方眼表示※1
構図を決めるための格子状のガイドを表示します。

情報OFF
撮影画像だけを表示します。

再生時



画像情報ON
再生画像と画像情報を表示します。

撮影情報ON
（動画は除く）
ハイライト表示※2とヒストグラム※3、撮影情報※4を表示します。

情報OFF
再生画像だけを表示します。

※1 モードダイヤルが**P**、**S**、**A**、**M**、**U**のときのみ可能です。
※2 画像の中の非常に明るい部分（ハイライト部分）を点滅表示します。露出補正などで画像の明るさを調整する際の目安になります。
※3 ヒストグラムは、画像の明るさの分布を表す山状のグラフのことです。横軸は輝度を示し、左へ行くほど暗くなり、右へ行くほど明るくなります。縦軸は画素数を示します。
※4 ここで表示される撮影情報は、フォルダー名、ファイル名、撮影モード **P**、**S**、**A**、**M**、シャッタースピード、絞り値、露出補正値、ISO感度、画像番号/全画像数です。撮影モードが、、**SCENE**、、、、、**P**のときには**P**と表示されます。

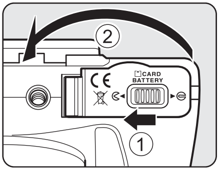
バッテリーを入れる

付属のLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL5（リチウムイオン充電池）をカメラに入れます。

- ご購入直後やバッテリー残量が少なくなったときは、バッテリーを充電してからお使いください（□18）。

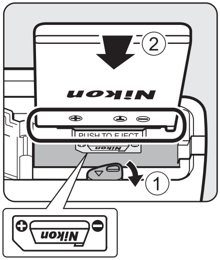
1 バッテリー /SDカードカバーを開ける

- ロックレバーを ◂ 側にスライドさせ（①）、カバーを開けます（②）。



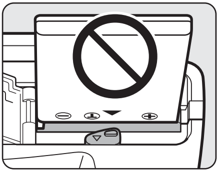
2 バッテリーを入れる

- バッテリー室内の表示を見ながら、＋と－を正しい向きで入れてください。
- バッテリーでオレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押し下げながら（①）、奥まで差し込みます（②）。
- 奥まで差し込むと、バッテリーロックレバーでバッテリーが固定されます。



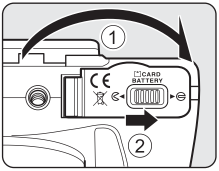
逆挿入に注意

バッテリーの向きを間違えると、カメラを破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

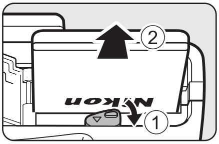


3 バッテリー /SDカードカバーを閉じる

- カバーを閉じ（①）、ロックレバーを▸⊖側にスライドさせます（②）。



バッテリーを取り出すときは



電源をOFFにして（📖21）、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー/SDカードカバーを開けてください。
オレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押すと（①）、バッテリーが押し出されるので、まっすぐ引き抜いてください（②）。

- カメラを使った直後は、バッテリーが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

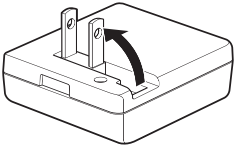
バッテリーについてのご注意

- リチャージャブルバッテリーをお使いになるときは、必ず「安全上のご注意」の「危険」（📖iv）、「警告」（📖iv）、「注意」（📖iv）の注意事項をお守りください。
- 「取り扱い上のご注意　バッテリーについて」（📖177）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。
- バッテリーは、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。

バッテリーを充電する

付属のリチャージャブルバッテリー EN-EL5（リチウムイオン充電池）を入れたカメラを家庭用コンセントに接続して充電します。
接続には付属の本体充電ACアダプター EH-68PとUSBケーブル UC-E6を使います。

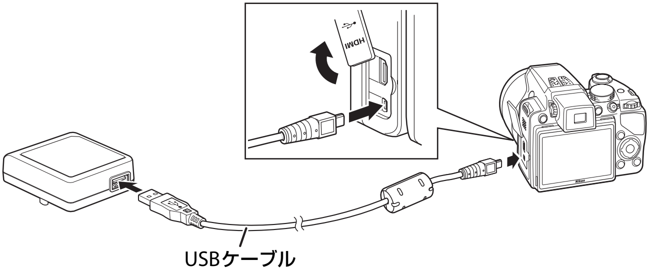
1 本体充電ACアダプター EH-68Pを用意する



2 カメラの電源ランプと液晶モニターが消灯していることを確認する

- バッテリーはカメラに入れ（□16）、電源はOFFにしてください（□21）。

3 付属のUSBケーブルでカメラと本体充電ACアダプターを接続する

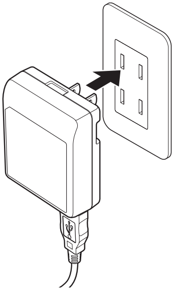


ケーブル接続時のご注意

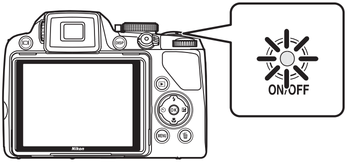
ケーブルは、端子の挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。

4 電源プラグをコンセントに差し込む

- カメラの電源ランプがオレンジ色でゆっくり点滅し、充電が始まります。
- 残量がないバッテリーの場合、フル充電までの時間は約3時間30分です。



- コンセントに接続しているときの電源ランプの状態と意味は以下のとおりです。



電源ランプ	意味
ゆっくり点滅（オレンジ色）	充電中です。
消灯	充電していません。ゆっくりした点滅（オレンジ色）から消灯に変わると、充電の完了です。
速い点滅（オレンジ色）	• 使用可能な温度ではありません。周囲の温度が 5 ～ 35 ℃の室内で充電してください。 • USB ケーブルまたは本体充電 AC アダプターが正しく接続されていないか、バッテリーの異常です。正しく接続し直すか、バッテリーを交換してください。

5 コンセントから本体充電AC アダプターを外し、USBケーブルを外す

本体充電ACアダプターについてのご注意

- 本体充電ACアダプター EH-68Pに対応している機器以外で使わないでください。
- EH-68P をお使いになるときは、「安全上のご注意」の「警告」(□v)、「注意」(□v)の注意事項を必ずお守りください。
- 「取り扱い上のご注意 バッテリーについて」(□177)をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。
- EH-68Pは、家庭用電源のAC 100－240 V、50/60 Hz に対応しています。日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめのうえ、お買い求めください。
- EH-68P はカメラ内のバッテリーを充電するための AC アダプターです。カメラを EH-68Pでコンセントに接続しているときは、カメラの電源はONにできません。
- EH-68P 以外の本体充電 AC アダプター、USB-AC アダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

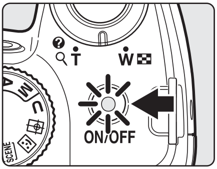
AC電源について

- 別売のACアダプター EH-62A（□179）を使うと、家庭用コンセント（AC 100 V）からこのカメラへ電源を供給して撮影または再生ができます。
- EH-62A以外のACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

パソコンや充電器で充電する

- COOLPIX P100をパソコンに接続してもEN-EL5を充電できます（□145、168）。
- EN-EL5は、別売のバッテリーチャージャー MH-61（□179）でも充電できます。

電源をON/OFFするには



レンズキャップを外してから、電源をONにします。
電源スイッチを押すと、電源がONになります。電源ランプ（緑色）が一瞬点灯した後、液晶モニターが点灯します。
もう一度電源スイッチを押すと、電源はOFFになります。電源がOFFになると、電源ランプと液晶モニターの両方が消灯します。

- 電源がOFFの状態で▶ボタンを押し続けると、再生モードで電源をONにできます（□32）。

レンズエラーについて

［**レンズエラー(レンズキャップが付いているときは、外してから電源を入れなおしてください)**］が表示されたときは、レンズキャップが外れていることを確認して、電源を入れ直してください。

節電機能について（オートパワーオフ）

カメラを操作しない状態が続くと、液晶モニターが自動的に消灯して待機状態になり、電源ランプが点滅します。そのまま約3分経過すると、電源が自動的にOFFになります。

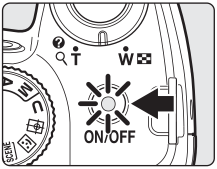
- 撮影時または再生時は、カメラを操作しない状態が約1分（初期設定）続くと待機状態になります。
- 待機状態で液晶モニターが消灯しているとき（電源ランプ点滅中）は、以下の操作で液晶モニターが点灯します。
  - 電源スイッチ、シャッターボタン、または▶ボタンを押す。
  - モードダイヤルを回す。
- 待機状態になるまでの時間は、セットアップメニュー（□152）の［**オートパワーオフ**］（□165）で変更できます。

表示言語と日時を設定する

ご購入後はじめて電源をONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

1 電源スイッチを押して、電源をONにする

- 電源ランプ（緑色）が一瞬点灯し、液晶モニターが点灯します。
- レンズキャップは外してください。



2 マルチセレクターで表示言語を選び、OKボタンを押す

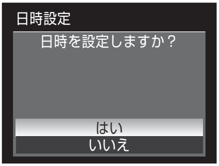
- マルチセレクターの使い方→12





3 ［はい］を選び、OKボタンを押す

- 日時設定を中止するときは［**いいえ**］を選びます。



4 ◀または▶を押して自宅のある地域（タイムゾーン）（157）を選び、OKボタンを押す



夏時間を設定する

夏時間（サマータイム）が現在実施されているときは、手順4の地域設定画面で▲を押して夏時間の設定をオンにします。設定をオンにすると、画面上部にマークが表示されます。オフにするときは、▼を押してください。

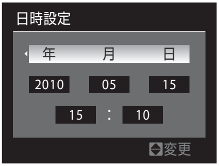


5 日時を合わせる



- ▲ または ▼ を押してカーソルのある項目を合わせます。
- ▶ を押すと、カーソルは［**年**］→［**月**］→［**日**］→［**時**］→［**分**］→［**年月日**］（日付の表示順）に移動します。
- ◀を押すと、カーソルは前の項目に移動します。

6 ［**年月日**］の表示順を選ぶ



7 レンズキャップが外れていることを確認して、Ⓚボタンまたは▶を押す

- 設定が有効になり、撮影画面になります。
- このときレンズが繰り出します。

日時の変更と日付の写し込み

- すでに設定した日時を変更するときは、セットアップメニュー（📖152）の［**日時設定**］（📖155）で［**日時**］を選び、上記の手順5から設定してください。
- 地域（タイムゾーン）や夏時間の設定を変更するときは、セットアップメニューの［**日時設定**］から［**タイムゾーン**］を選んで設定してください（📖155）。
- 日付を画像に写し込むときは、日時を設定したあとにセットアップメニューの［**デート写し込み**］を設定します（📖159）。

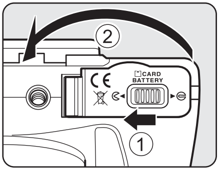
SDカードを入れる

撮影したデータは、カメラの内蔵メモリー（約43 MB）、または市販のSDカード（□180）のどちらかに記録します。

カメラにSDカードを入れるとSDカードに記録し、SDカードのデータを再生、削除、または転送します。内蔵メモリーを使うときは、SDカードを取り出してください。

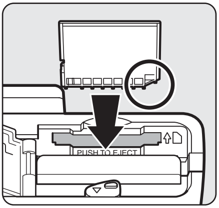
1 電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー /SDカードカバーを開ける

- バッテリー /SDカードカバーを開けるときは、必ず電源をOFFにしてください。



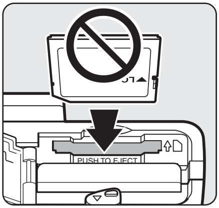
2 SDカードを入れる

- 右図のように正しい向きで、カチッと音がするまで差し込んでください。
- 挿入後、バッテリー /SDカードカバーを閉めてください。



逆挿入に注意

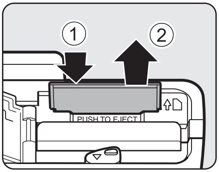
SDカードの向きを間違えると、カメラやSDカードを破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。



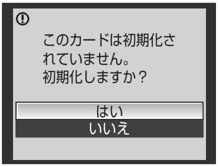
SDカードを取り出すときは

電源をOFFにし、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー /SDカードカバーを開けてください。

カードを指で軽く奥に押し込むと（①）、カードが押し出されます。まっすぐ引き抜いてください（②）。



SDカードの初期化



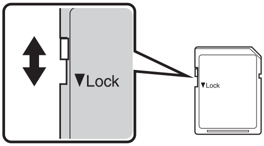
電源をONにしたときに右の画面が表示された場合は、SDカードを初期化する必要があります。**ただし、SDカードを初期化**（📖166）**すると、カード内のデータはすべて消えてしまいます。**カード内に必要なデータが残っているときは、初期化する前に、パソコンなどに保存してください。
初期化するときは、マルチセレクターで［**はい**］を選び、OKボタンを押します。確認画面が表示されたら［**初期化する**］を選び、OKボタンを押すと初期化が始まります。

- 初期化中は、電源をOFFにしたり、バッテリー/SDカードカバーを開けたりしないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラで初めて使うときは、必ずこのカメラで初期化（📖166）してからお使いください。

SDカードの書き込み禁止スイッチについてのご注意

SDカードには、書き込み禁止スイッチが付いています。このスイッチを「Lock」の位置にすると、データの書き込みや削除を禁止して、カード内の画像を保護できます。撮影時や画像を削除するとき、カードを初期化するときは「Lock」を解除してください。

書き込み禁止スイッチ



SDカードの取り扱い上のご注意

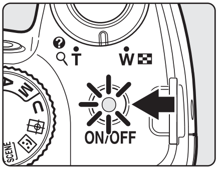
- SDカード以外のメモリーカードは使えません。
- 初期化中、画像の記録や削除中、パソコンとの通信時などには、以下の操作をしないでください。記録しているデータの破損やカードの故障の原因となります。
  - カードを着脱しないでください
  - バッテリーを取り出さないでください
  - カメラの電源をOFFにしないでください
  - ACアダプターを外さないでください
- SDカードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- 分解や改造をしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 端子部を手や金属で触らないでください。
- ラベルやシールを貼らないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たるところなどには置かないでください。
- 湿度の高いところやほこりが多いところ、腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。

ステップ1　電源をONにして（オート撮影）を選ぶ

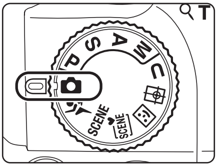
（オート撮影）モードでは、細かい設定を気にせず気軽に撮影できます。
はじめてデジタルカメラを使う方でも簡単に撮影できます。

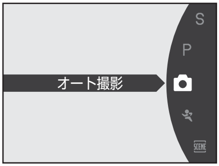
1 レンズキャップを外して、電源スイッチを押す

- 電源がONになり、レンズが繰り出します。
- 電源ランプ（緑色）が一瞬点灯し、液晶モニターが点灯します。

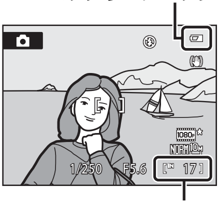


2 モードダイヤルをに合わせる





3 液晶モニターでバッテリー残量と記録可能コマ数を確認する



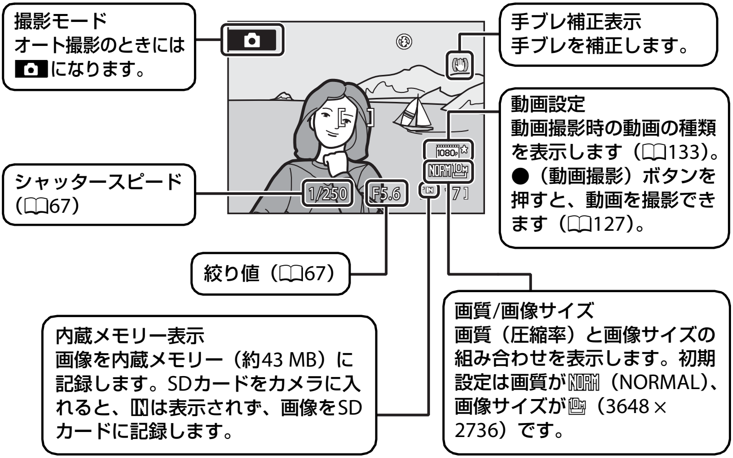
バッテリー残量

モニター表示	内容
表示なし	バッテリー残量は充分にあります。
	バッテリー残量が少なくなりました。バッテリーの充電や交換の準備をしてください。
電池残量がありません	撮影できません。バッテリーを充電または交換してください。

記録可能コマ数

撮影できる残りのコマ数が表示されます。
記録可能コマ数は、内蔵メモリーまたはセットしているSDカードのメモリー残量、画質、画像サイズによって異なります（77）。

📷（オート撮影）モードでの液晶モニター表示



節電による待機状態で液晶モニターが消灯しているときは、電源スイッチまたはシャッターボタンを押すと、液晶モニターが点灯します（□165）。

フラッシュについて

内蔵フラッシュを閉じているときは発光禁止に固定され、画面上部に ⊛ が表示されます。暗いところや逆光などでフラッシュが必要なときは、内蔵フラッシュをポップアップしてください（□35）。

📷（オート撮影）モードで使える機能

- フラッシュモード（□34）の変更、セルフタイマー（□37）、フォーカスモード（□38）、および露出補正（□41）の設定ができます。
- MENU ボタンを押すと、撮影メニューの［**画質**］（□75）と［**画像サイズ**］（□76）を設定できます。

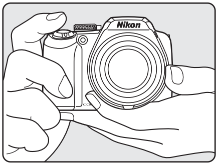
手ブレ補正について

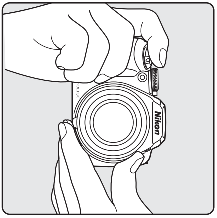
- 詳しくは、セットアップメニュー（□152）の［**手ブレ補正**］（□160）をご覧ください。
- 三脚などで固定して撮影するときは、［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

ステップ2　カメラを構え、構図を決める

1　カメラをしっかりと構える

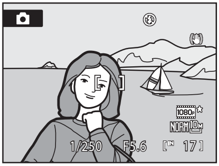
- カメラを両手でしっかりと持ってください。
- レンズやAF補助光、マイク、スピーカーなどに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。





2　構図を決める

- 写したいもの（被写体）を画面の中央付近に合わせます。

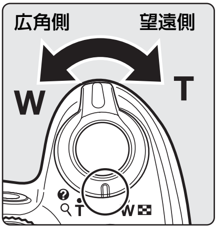


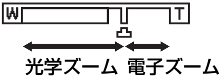
電子ビューファインダーを使う

日差しの強い屋外など、明るい場所で液晶モニターが見えにくいときは、電子ビューファインダーを使って撮影してください。|□| ボタンを押すと、電子ビューファインダーに切り換えられます（□14）。
電子ビューファインダーの視度が合わない場合は、被写体がもっともよく見える位置まで視度調節ダイヤルを回してください（□14）。

ズームを使う

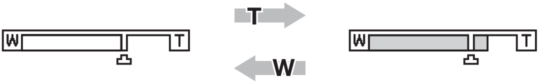
ズームレバーを回すと、光学ズームが作動します。被写体を大きく写したいときは**T**方向に回してください。
広い範囲を写したいときは**W**方向に回してください。
ズームレバーをいっぱいまで回すとズーム動作が速くなり、途中まで回すとズーム動作がゆっくりになります。
ズームレバーを回すと液晶モニターの画面上部にズームの量が表示されます。





電子ズームについて

光学ズームを最も望遠側（光学ズームの最大倍率）にして、さらにズームレバーを**T**方向に回し続けると、電子ズームが作動します。光学ズームの最大倍率の約4倍まで拡大できます。
電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、画面中央でピントが合います。



光学ズームの最大倍率　　電子ズームが作動

電子ズームと画質の劣化について

電子ズームは光学ズームとは異なり、画像をデジタル処理で拡大するため、使用する画像サイズ（□76）や電子ズーム倍率によって、画質が劣化します。
ズーム表示の凸マークは、静止画の撮影で画質の劣化が始まるズーム位置を示しています。このマークを越えてズーム倍率を上げると劣化が始まり、ズーム表示も黄色に変わります。
凸マークの位置は画像サイズが小さいほど右に移動しますので、設定した画像サイズで画質を劣化させずに静止画を撮影できるズーム位置を事前に確認できます。

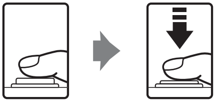


画像サイズが小さい場合

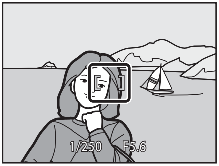
- セットアップメニュー（□152）の［**電子ズーム**］（□164）で、電子ズームの倍率を画質が劣化しない範囲内に制限することや、電子ズームが作動しない設定にできます。

ステップ3　ピントを合わせてシャッターボタンを押す

1 シャッターボタンを半押しする



- 半押しすると、カメラがピントを合わせます。
- 画面中央の AF エリア表示に重なっている被写体にピントが合います。ピントが合うと、AF エリア表示が緑色に点灯します。



- 電子ズーム使用時は、AF エリアは表示されず、画面中央でピントが合います。ピントが合うとAF表示（□8）が緑色に点灯します。
- 半押しを続けている間、ピントと露出を固定します。
- 半押しして、AF エリアまたは AF 表示が赤色に点滅したときはピントが合っていません。構図を変えて、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。

2 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込む（全押しする）



- シャッターがきれ、画像が記録されます。

シャッターボタンの半押しと全押し

シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。半押しするとピントと露出が合い、そのまま深く押し込む（全押しする）と、シャッターがきれます。シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレする）ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。



半押しすると、ピントと露出が固定　**そのまま深く押し込んで撮影**

画像の記録についてのご注意

液晶モニターの「記録可能コマ数」が点滅しているときは、画像の記録中です。**バッテリー/SDカードカバーを開けないでください。**画像の記録中にSDカードやバッテリーを取り出すと、画像が記録されないことや、撮影した画像やカメラ、SDカードが壊れることがあります。

オートフォーカスが苦手な被写体

以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。また、AFエリアやAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

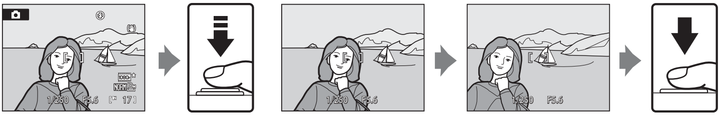
- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、同距離にある別の被写体にピントを合わせて、フォーカスロック撮影をお試しください。

フォーカスロック撮影

AF（オートフォーカス）エリアが画面中央でも、ピントを固定（フォーカスロック）する方法を使うと、構図を工夫して撮影できます。

- フォーカスロックをしている間は被写体との距離を変えないでください。
- シャッターボタンを半押しすると、露出は固定されます。



ピントを合わせたい被写体にカメラを向ける → **半押しする** → **AF エリアが緑色に点灯したら** → **半押ししたまま構図を変える** → **そのまま深く押し込む**

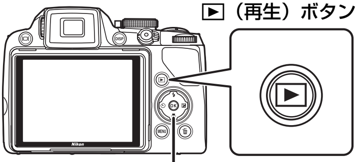
AF補助光について

暗い場所などでは、シャッターボタンを半押ししたときにAF補助光（□163）が点灯することがあります。

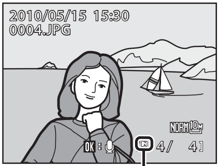
ステップ4　撮影した画像を再生する/削除する

画像を再生する（再生モード）

▶（再生）ボタンを押す

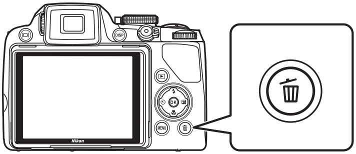


- 最後に撮影した画像が 1 コマ表示されます。
- マルチセレクターの▲▼◀▶を押すと、前後の画像を表示できます。
  ▲▼◀▶を押し続けると早送りできます。
  コマンドダイヤルを回しても画像を選べます。
- 前の画像や次の画像に切り換えた直後は、表示が粗いことがあります。
- 撮影に戻るには、もう一度 ▶ ボタンを押すか、シャッターボタンを押します。
- 内蔵メモリーの画像を再生しているときは、IN が表示されます。SDカードをカメラに入れたときは、IN は表示されず、SDカードの画像が再生されます。



画像を削除する

1 削除したい画像を表示して 🗑 ボタンを押す



2 マルチセレクターで［**はい**］を選び、OK ボタンを押す

- 削除した画像は、もとに戻せません。
- 削除をやめるときは、［**いいえ**］を選んで OK ボタンを押します。



再生モードで使える機能

詳しくは、「いろいろな再生」（□101）または「画像の編集」（□118）をご覧ください。

▶ボタンによる電源ON

電源がOFFの状態で▶ボタンを押し続けると、再生モードで電源をONにできます。このとき、レンズは繰り出しません。

画像の再生について

- |□| ボタンを押すと、液晶モニターと電子ビューファインダーのどちらで再生するか切り換えできます（□14）。
- **DISP**ボタンを押すと、液晶モニターに表示される画像情報や撮影情報の表示/非表示を切り換えできます（□15）。
- 顔認識して撮影した画像（□91）は、1 コマ表示で再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます（[**連写**]（□86）または［**ブラケティング**]（□89）を設定して撮影した画像を除く）。
- 連写して撮影した画像は、1コマ表示で再生すると、一度の連写で撮影した画像を1つのグループとして表示します（連写グループ表示、□102）。
- 節電による待機状態で液晶モニターが消灯しているときは、▶ ボタンを押すと、液晶モニターが点灯します（□165）。

撮影モードで画像を削除する

撮影時に🗑ボタンを押すと、直前に撮影した画像を削除できます。



複数の画像をまとめて削除する

再生メニュー（□107）の［**削除**］（□111）を選ぶと、複数の画像をまとめて削除できます。

フラッシュを使う

暗いところや逆光などでは、内蔵フラッシュをポップアップするとフラッシュ撮影ができます。フラッシュの発光モードを撮影状況に合わせて設定できます。フラッシュの光が充分に届く距離は、広角側で約0.5～10 m、望遠側で約1.7～2.5 mです（[**ISO感度設定**] が [**オート**] 時）。

⚡AUTO	**自動発光**
	暗い場所などで、自動的にフラッシュを発光します。
⚡◎	**赤目軽減自動発光**
	人物撮影に適しており、人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減できます。
⊛	**発光禁止**
	フラッシュは発光しません。
⚡	**強制発光**
	被写体の明るさに関係なく、フラッシュを発光します。逆光で撮影するときなどに使います。
⚡★	**スローシンクロ**
	強制発光モードにスロー（低速）シャッターを組み合わせて撮影します。夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。フラッシュでメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景を写します。
⚡	**リアシンクロ**
	シャッターが閉じる直前にフラッシュを強制発光します。動いている被写体の後方に流れる光や軌跡などを表現したいときなどに適しています。

赤目軽減自動発光について

このカメラは、「アドバンスト赤目軽減方式」を採用しています。
フラッシュが本発光する前に、小光量で数回発光する「プリ発光」で赤目現象の発生を軽減します。さらに、画像の記録時に赤目現象を検出すると、赤目部分を画像補正して記録します。
撮影する際は、以下にご注意ください。

- プリ発光するため、シャッターボタンを押してからシャッターがきれるまでに、通常よりも時間がかかります。
- 画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- ごくまれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。

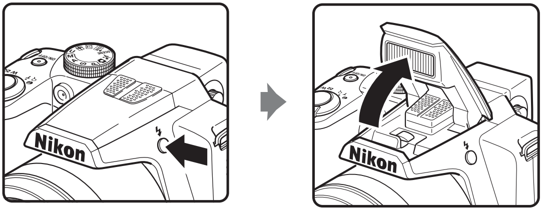
セットアップメニューの [**赤目軽減プリ発光**]（📖163）を [**OFF**] にすると、プリ発光をせずに、シャッターボタンの全押しですぐにシャッターがきれます。

フラッシュモードの設定方法

1 ⚡（フラッシュポップアップ）ボタンを押す

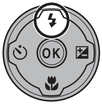
内蔵フラッシュがポップアップします。

- 内蔵フラッシュを閉じているときは⊘（発光禁止）に固定されます。



2 マルチセレクターの⚡(フラッシュモード)を押す

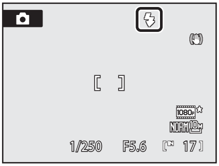
- 液晶モニターにフラッシュモードの設定メニューが表示されます。



3 マルチセレクターの▲または▼を押してモードを選び、OKボタンを押す

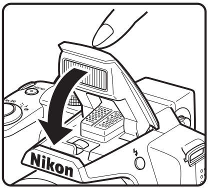
- 設定したフラッシュモードが表示されます。
- ⚡AUTO（自動発光）にするとモニター情報表示（📖15）がONでも、⚡AUTOは数秒間で消えます。
- OKボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。





✔ 内蔵フラッシュの収納

フラッシュを使わないときは、内蔵フラッシュを手で軽く押し下げて、閉じてください。



⊕（発光禁止）にして撮影するときや、暗い場所で撮影するときのご注意

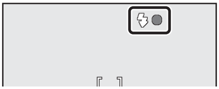
- 手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□152）の［**手ブレ補正**］（□160）を［**OFF**］にしてください。
- 液晶モニターにISOと表示されることがあります。ISOと表示されたときは、ISO感度が上がっているため、通常よりもざらついた画像になることがあります。
- 暗いところなどで撮影する場合、シャッタースピードが遅くなると、ノイズを低減する機能が作動することがあります。ノイズ低減の機能が作動すると、画像の記録が終了するまでに時間がかかることがあります。

フラッシュ使用時のご注意

フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して、画像の中に白い点のように写り込むことがあります。このようなときは、フラッシュを⊕（発光禁止）にするか、内蔵フラッシュを閉じて撮影するようおすすめします。

フラッシュ表示について

シャッターボタンの半押し時に、フラッシュの状態を確認できます。



- 点灯：撮影時にフラッシュが発光します。
- 点滅：フラッシュが充電中のため、撮影できません。
- 消灯：撮影時にフラッシュは発光しません。

フラッシュモードの設定について

フラッシュモードの初期設定は、撮影モードによって異なります。

- （オート撮影）：$AUTO 自動発光。
- SCENE（おまかせシーン）：$AUTO 自動発光。自動判別されたシーンに合わせてカメラがフラッシュモードを設定します。
- シーン：シーンによって異なります（□45～52）。
- （ベストフェイス）：$AUTO 自動発光（目つぶり軽減OFF時）、⊕ 発光禁止に固定（目つぶり軽減ON時）（□58）。
- （ターゲット追尾）：$AUTO 自動発光。
- （スポーツ連写）：⊕ 発光禁止に固定。
- **P**、**S**、**A**、**M**：$AUTO 自動発光。

フラッシュは、他の機能と同時に使えない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□96）

以下の場合、フラッシュモードの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

- 撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**の場合
- （オート撮影）モードで、$◎（赤目軽減自動発光）にして撮影した場合

セルフタイマーを使う

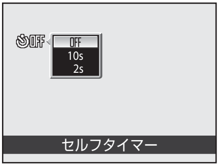
記念撮影などで自分も一緒に写りたいときや、シャッターボタンを押す操作による手ブレを軽減したいときは、セルフタイマーが便利です。タイマー時間は10秒と2秒から選べます。
セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□152）の［**手ブレ補正**］（□160）を［**OFF**］にしてください。

1 マルチセレクターの（セルフタイマー）を押す



- 液晶モニターにセルフタイマーの設定メニューが表示されます。

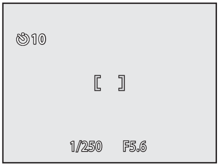
2 マルチセレクターの▲または▼を押して［**10s**］または［**2s**］を選び、OKボタンを押す



- ［**10s**］（10秒）：記念撮影などに適しています。
- ［**2s**］（2秒）：手ブレの軽減に適しています。
- 設定したセルフタイマーモードが表示されます。
- OKボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

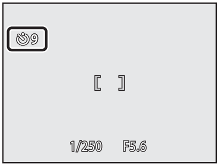


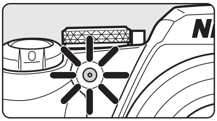


- ピントと露出が合います。

4 シャッターボタンを全押しする







- セルフタイマーが作動し、シャッターがきれるまでの秒数が液晶モニターに表示されます。作動中はセルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれると、セルフタイマーは［**OFF**］になります。
- セルフタイマーを途中で止めるときは、もう一度シャッターボタンを押します。

フォーカスモードを変える

撮影目的に合わせて、以下のフォーカスモードを選べます。

AF	**通常AF**
	被写体までの距離に応じて自動的にピントを合わせます。レンズから50 cm以上（最も望遠側の場合は1.7 m以上）離れた被写体を撮影するときに使います。
(マクロ)	**マクロAF**
	花や虫など小さな被写体の近接撮影に使います。 最短撮影距離はズーム位置によって異なります。液晶モニターの(マクロ)マークやズーム表示が緑色になるズーム位置（△マークより広角側）では、レンズ前約10 cmまでの被写体にピントを合わせられます。また、最も広角側と△マークとの中央になるズーム位置では、レンズ前約1 cmまでの被写体にピントを合わせられます。
(遠景)	**遠景AF**
	窓越しの景色や風景、建物などを撮影するときに使います。 シャッターボタンを半押しすると、常にAFエリアまたはAF表示（□8）が緑色に点灯します。ただし、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。フラッシュモードは、(発光禁止)（発光禁止）になります。
MF	**マニュアルフォーカス**
	レンズ前約1 cm～無限遠（∞）の任意の被写体にピントを合わせられます（□40）。

各撮影モードで使えるフォーカスモード

	(オート撮影)	P、S、A、M、U	SCENE	(シーンオート)	(スマイル)	(ターゲット追尾)	(スポーツ連写)
AF（通常AF）	○※1	○※1	※2	※3	○	○	○※1
(マクロ)（マクロAF）	○	○			×	×	○
(遠景)（遠景AF）	○	○			×	×	○
MF（マニュアルフォーカス）	×	○		×	×	×	○

※1 各撮影モードの初期設定です。
※2 使えるフォーカスモードと初期設定は、シーンによって異なります（□45～52）。
※3 自動判別されたシーンに合わせてカメラがフォーカスモードを設定します（□43）。

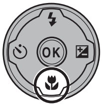
フォーカスモードの設定について

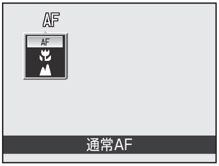
- 撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**の場合、変更したフォーカスモードの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。
- フォーカスモードは、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□96）

フォーカスモードの設定方法

1 マルチセレクターの（フォーカスモード）を押す

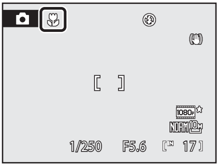
- 液晶モニターにフォーカスモードの設定メニューが表示されます。





2 マルチセレクターの▲または▼を押してフォーカスモードを選び、OKボタンを押す

- 設定したフォーカスモードが表示されます。
- AF（通常AF）にするとモニター情報表示（□15）がONでも、AFが数秒間で消えます。
- OK ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。



マクロAFについて

撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**、**U**では、［**AFモード**］（□93）の設定を［**常時AF**］にすると、シャッターボタンの半押しでピントを固定するまで、オートフォーカスによるピント合わせを自動的に繰り返します。常にピントを合わせる動作音がします。
それ以外の撮影モードでは、マクロAFになると、自動的に［**常時AF**］になります。

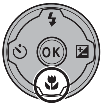
遠景AFについて

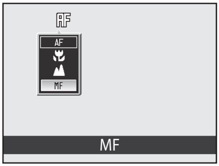
（オート撮影）モード、**P**、**S**、**A**、**M**、**U**モード、（スポーツ連写）モードで遠景AFに設定したときは、画面にAFエリアは表示されません。

マニュアルフォーカスでピントを合わせる

撮影モードが**P**、**S**、**A**、**M**、**U**、（スポーツ連写）のときに使えます。モードダイヤルで撮影モードを選んでください（□42）。

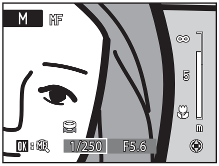
1 マルチセレクターの （フォーカスモード）を押して、フォーカスモードの設定メニューを表示する





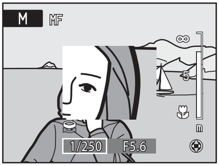
- マルチセレクターで MF（マニュアルフォーカス）を選び、OKボタンを押してください。画面上部に MF が表示されます。
- 画像の中央部が画面全体に拡大表示されます。

2 マルチセレクターの ▲ または ▼ を押してピントを合わせる



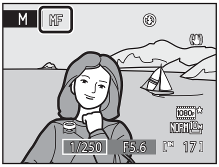
- 液晶モニターを見ながらピントを合わせます。
- ▲を押すと、遠くの被写体にピントが合います。
- ▼を押すと、近くの被写体にピントが合います。
- シャッターボタンを半押しすると、構図を確認できます。そのまま全押ししても撮影できます。

3 OKボタンを押して、写る範囲を確認する



- 写る範囲と画像中央部の拡大表示が同時に表示されます。
- シャッターボタンを押すと、そのまま撮影ができます。

4 OKボタンを押す



- 設定したピントに固定され、固定したピントで続けて撮影できます。
- 設定したピントを変更するときは、手順1から繰り返します。
- オートフォーカスに戻すときは、手順1に戻ってMF以外を選びます。

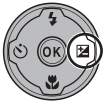
MF（マニュアルフォーカス）について

- シャッターボタンを半押しすると、おおよその被写界深度（被写体の前後のピントの合う範囲）を確認できます。
- 電子ズームは使えません。

明るさを調節する（露出補正）

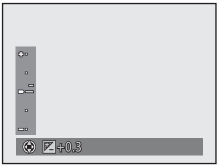
画像全体を明るくしたいときや暗くしたいときなどに使います。

1 マルチセレクターの露出補正アイコン（露出補正）を押す



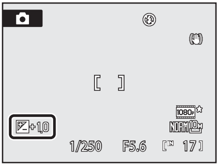
- 液晶モニターに露出補正のガイドが表示されます。
- **M**（マニュアル露出）モードのときは、露出補正ができません。

2 マルチセレクターの▲または▼を押して補正値を選び、OK ボタンを押す



- 被写体を明るくしたいとき：補正値を「＋」側に設定してください。
- 被写体を暗くしたいとき：補正値を「－」側に設定してください。
- －2.0 EVから＋2.0 EVの範囲で補正できます。
- ［**0.0**］以外に設定すると、液晶モニターに露出補正アイコンマークと補正値が表示されます。
- 露出補正を解除するときは、補正値を［**0.0**］にして OK ボタンを押してください。

3 シャッターボタンを押して撮影する



- 手順2でシャッターボタンを押しても、設定した補正値で撮影できます（顔認識撮影（□91）はできません）。

露出補正の設定について

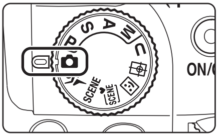
撮影モード**P**、**S**、**A**の場合、露出補正の設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

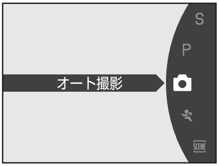
露出補正について

- 構図の大部分が非常に明るいとき（太陽が反射する水や砂、雪を撮影するときなど）、背景が被写体より明るすぎるときは、カメラが自動的に被写体を暗めに撮影する傾向があります。被写体が暗すぎるときは、露出補正値を「＋」側に設定してください。
- 構図の大部分が非常に暗いとき（暗い緑の森を撮影するときなど）、背景が被写体よりも暗すぎるときは、カメラが自動的に被写体を明るめに撮影する傾向があります。被写体が明るすぎるときは、露出補正値を「－」側に設定してください。

撮影モードを選ぶ（モードダイヤル）

モードダイヤルを回してアイコン（図記号）を指標に合わせると、以下の撮影モードに切り換わります。





（オート撮影）モード（□26）

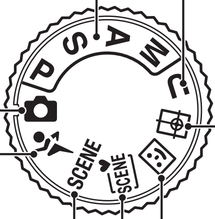
細かい設定を気にせず気軽に撮影できます。はじめてデジタルカメラを使う方でも簡単に撮影できます。

P、S、A、Mモード（□66）

シャッタースピードや絞りなどを自分で決めて、より本格的な撮影を楽しめます。

Uユーザーセッティングモード（□98）

撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**で設定した内容を登録できます。登録すると、このモードに切り換えるだけで、よく使う設定で撮影できます。



スポーツ連写モード（□62）

高速で連写（連続撮影）できます。

ターゲット追尾モード（□59）

動きのある被写体を撮影するときに使います。ピントを合わせたい被写体を登録すると、AFエリアが被写体を追いかけて移動します。

SCENE（シーン）モード（□45）

撮影シーンを選ぶだけの簡単な操作で、そのシーンに合った設定で撮影ができます。

ベストフェイスモード（□55）

顔認識した人物の笑顔を検出して、自動でシャッターをきることができます。美肌機能で人物の顔の肌をなめらかにできます。

おまかせシーンモード（□43）

構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に判別するので、より簡単にシーンに合った撮影ができます。

シーンに合わせて撮影する

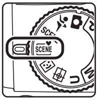
カメラまかせでシーンに合わせて撮影する（おまかせシーン）

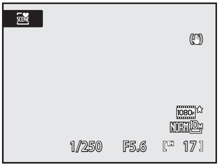
構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に判別するので、より簡単にシーンに合った撮影ができます。「おまかせシーン」にして、カメラを被写体に向けると、以下のシーンに合わせた設定に自動的に切り換わります。

- オート撮影（一般的な撮影）
- ポートレート（45）
- 風景（46）
- 夜景ポートレート（47）
- 夜景（49）
- クローズアップ（49）
- 逆光（51）

1 モードダイヤルをに合わせる

- おまかせシーンになります。
- 内蔵フラッシュが閉じていると、［**フラッシュが閉じています**］と表示されます。
- （フラッシュポップアップ）ボタンを押して、内蔵フラッシュをポップアップしてください。

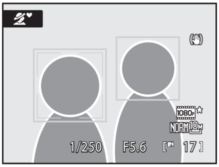




2 構図を決めて撮影する

- カメラがシーンを自動判別すると、撮影モードアイコンが切り換わります。

  ：オート撮影　　：夜景
  ：ポートレート　　：クローズアップ
  ：風景　　：逆光
  ：夜景ポートレート



- シャッターボタンを半押しするとピントと露出が合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します。
- シャッターボタンを全押しするとシャッターがきれます。

おまかせシーンモードのご注意

撮影状況によっては、意図したシーンに切り換わらないことがあります。その場合は、（オート撮影）モード（26）に切り換えるか、目的にあったシーンモード（45）を選んで撮影してください。

おまかせシーンモードでのピント合わせについて

- おまかせシーンモードでは、カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について→91）。
- 撮影モードアイコンがや（クローズアップ）のときは、［**AFエリア選択**］（90）の［**オート**］と同様に9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアにピントが合います。

おまかせシーンモードでの夜景撮影について

おまかせシーンで（夜景）に切り換わったときは、シーンモードの［**夜景**］（49）と異なり、スローシャッターで夜景の雰囲気を表現します（連写はしません）。三脚などのご使用をおすすめします。

- 三脚などで固定して撮影するときは、［**手ブレ補正**］（160）を［**OFF**］にしてください。

フラッシュについて

内蔵フラッシュを閉じているときは発光禁止に固定され、画面上部にが表示されます。暗いところや逆光などでフラッシュが必要なときは、内蔵フラッシュをポップアップしてください（35）。

おまかせシーンモードで使える機能

- 電子ズームは使えません。
- フラッシュモード（34）は、AUTO（自動発光）（初期設定）または（発光禁止）を選べます。
  AUTO（自動発光）にすると、自動判別したシーンに合わせて、カメラが自動的にフラッシュモードを設定します。（発光禁止）にすると、撮影状況にかかわらず、フラッシュは発光しません。
- セルフタイマー（37）および露出補正（41）の設定ができます。
- マルチセレクターの（フォーカスモード）ボタン（12、38）は使えません。
- MENU ボタンを押して、（おまかせシーン）メニューを表示すると、［**画質**］（75）と［**画像サイズ**］（76）を設定できます。画質と画像サイズの設定を変更すると、他の撮影モードでも同じ画質と画像サイズの設定になります（スポーツ連写モード、撮影モード**U**を除く）。

いろいろな撮影

シーンを選んで撮影する（シーンモード）

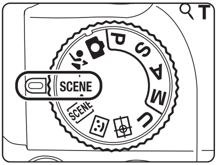
以下の撮影シーンを選ぶだけの簡単な操作で、そのシーンに合った設定で撮影ができます。

ポートレート	海・雪	クローズアップ	モノクロコピー
風景	夕焼け	料理	逆光
夜景ポートレート	トワイライト	ミュージアム	逆光HDR
パーティー	夜景	打ち上げ花火	パノラマアシスト

シーンモードの設定方法

1 モードダイヤルをSCENEに合わせる

- シーンモードになります。初期設定は、（ポートレート）です。



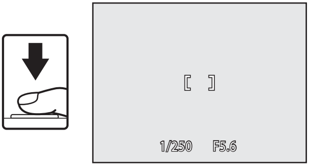
2 MENUボタンを押してシーンメニューを表示し、マルチセレクターでシーンを選んで、OKボタンを押す

- シーンメニューが表示されないときは、SCENEタブに切り換えます（13）。



3 構図を決めて撮影する

- フラッシュを使うシーンでは、（フラッシュポップアップ）ボタンを押して、内蔵フラッシュをポップアップしてから撮影してください。



画質と画像サイズの設定

MENUボタンを押して、SCENE（シーン）メニューを表示すると、［**画質**］（75）と［**画像サイズ**］（76）を設定できます。画質と画像サイズの設定を変更すると、他の撮影モードでも同じ画質と画像サイズの設定になります（スポーツ連写モード、撮影モード**U**を除く）。

シーンモードの種類と特徴

各シーンに記載している⚡は内蔵フラッシュをポップアップしているときのフラッシュモード（📖34）の設定です。🕓はセルフタイマー（📖37）、🌷はフォーカスモード（📖38）、☑は露出補正（📖41）の設定です。

ポートレート NR



人物のポートレート撮影に使います。

- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について →📖91）。
- 複数の顔を認識したときは、最もカメラに近い顔にピントが合います。
- 美肌機能で人物の顔（最大 3 人）の肌をなめらかにしてから画像を記録します（📖56）。
- 顔を認識しないときは、画面中央でピントが合います。
- 電子ズームは使えません。

⚡	⚡◎※	🕓	OFF※	🌷	AF	☑	0.0※

※ 変更できます。

風景 NR



自然の風景や街並みなどを、色鮮やかに撮影したいときに使います。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（📖8）が緑色に点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- AF 補助光（📖163）は点灯しません。

⚡	🚫	🕓	OFF※1	🌷	▲	☑	0.0※2

※1 セルフタイマーを使えます。
※2 変更できます。

NR：NRがついたシーンモードでは、ノイズ低減機能が自動的に作動して、画像の記録時間が通常より長くなることがあります。

いろいろな撮影

夜景ポートレート



夕景や夜景をバックに人物を撮影するときに使います。背景の雰囲気を活かしながら人物をフラッシュ撮影します。

- 内蔵フラッシュをポップアップしてから撮影してください。
- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について →□91）。
- 複数の顔を認識したときは、最もカメラに近い顔にピントが合います。
- 美肌機能で人物の顔（最大 3 人）の肌をなめらかにしてから画像を記録します（□56）。
- 顔を認識しないときは、画面中央でピントが合います。
- 電子ズームは使えません。

フラッシュ	赤目軽減スローシンクロ※1	セルフタイマー	OFF※2	マクロ	AF	露出補正	0.0※2

※1 赤目軽減スローシンクロ強制発光に固定されます。
※2 変更できます。

パーティー



パーティー会場などでの撮影に使います。キャンドルライトなどの背景を活かして、雰囲気のある画像に仕上げます。

- 画面中央でピントを合わせます。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。暗い場所では、三脚などの使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、［**手ブレ補正**］（□160）を［**OFF**］にしてください。

フラッシュ	赤目軽減スローシンクロ※1	セルフタイマー	OFF※2	マクロ	AF	露出補正	0.0※2

※1 赤目軽減スローシンクロに切り換わることがあります。変更できます。
※2 変更できます。

三脚：三脚マークがついたシーンモードでは、三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、［**手ブレ補正**］（□160）を［**OFF**］にしてください。
NR：NRがついたシーンモードでは、ノイズ低減機能が自動的に作動して、画像の記録時間が通常より長くなることがあります。

海・雪 NR

晴天の海や砂浜、雪景色などを明るく鮮やかに撮影したいときに使います。
- 画面中央でピントを合わせます。



⚡	⚡AUTO※	⏲	OFF※	🌷	AF	±	0.0※

※変更できます。

夕焼け 三脚 NR

赤い夕焼けや朝焼けの撮影に使います。
- 画面中央でピントを合わせます。



⚡	⊛※	⏲	OFF※	🌷	AF	±	0.0※

※変更できます。

トワイライト 三脚 NR

夜明け前や日没後のわずかな自然光の中での風景撮影に使います。
- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（□8）が緑色に点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- AF 補助光（□163）は点灯しません。



⚡	⊛	⏲	OFF※	🌷	▲	±	0.0※

※変更できます。

三脚：三脚がついたシーンモードでは、三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、［**手ブレ補正**］（□160）を［**OFF**］にしてください。
NR：NRがついたシーンモードでは、ノイズ低減機能が自動的に作動して、画像の記録時間が通常より長くなることがあります。

夜景 NR



手ブレやノイズの少ない夜景を撮影できます。画面左上のアイコンが緑色のときは、シャッターボタンを全押しすると高速で連写し、画像を重ね合わせて1コマ記録します。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（8）が緑色に点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- シャッターボタンを全押ししたあとに静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。
  撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を OFF にしないでください。
- 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 電子ズームは使えません。
- AF 補助光（163）は点灯しません。

フラッシュ		セルフタイマー		フォーカス		露出補正	
	発光禁止		OFF※		∞		0.0※

※変更できます。

クローズアップ NR



草花や昆虫、小さな被写体などの接写（近接撮影）に使います。

- フォーカスモード（38）が（マクロAF）になり、ズームが自動的に最短距離で撮影可能な位置まで移動します。
- 最短撮影距離はズーム位置によって異なります。液晶モニターのマークやズーム表示が緑色になるズーム位置（△マークより広角側）では、レンズ前約10 cmまでの被写体にピントを合わせられます。また、最も広角側と △ マークとの中央になるズーム位置では、レンズ前約 1 cm までの被写体にピントを合わせられます。
- ［**AFエリア選択**］は［**マニュアル**］になり、ピントを合わせるエリア（AFエリア）を選べます（90）。OK ボタンを押して、マルチセレクターの ▲▼◀ ▶ を押すと AF エリアが移動します。OK ボタンを押して AF エリアの位置を決定すると、フラッシュモード、セルフタイマーまたは露出補正の設定ができます。
- シャッターボタンの半押しでピントを固定するまで、オートフォーカスによるピント合わせを自動的に繰り返します。
- 手ブレしやすいため、［**手ブレ補正**］（160）の設定を確認し、カメラをしっかり持ってください。

フラッシュ		セルフタイマー		フォーカス		露出補正	
	AUTO※1		OFF※2		マクロ		0.0※2

※1 変更できます。フラッシュ撮影時は、撮影距離が50 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがありますのでご注意ください。

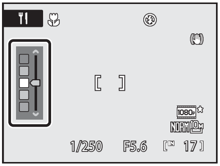
※2 変更できます。

いろいろな撮影

🍴 料理



料理の撮影に便利です。
- フォーカスモード（📖38）が 🌷（マクロ AF）になり、ズームが自動的に最短距離で撮影可能な位置まで移動します。
- 最短撮影距離はズーム位置によって異なります。液晶モニターの 🌷 マークやズーム表示が緑色になるズーム位置（△ マークより広角側）では、レンズ前約 10 cm までの被写体にピントを合わせられます。また、最も広角側と △ マークとの中央になるズーム位置では、レンズ前約 1 cm までの被写体にピントを合わせられます。



- 色合いを画面左のスライダー表示の範囲で調整できます。マルチセレクターの ▲ を押すと赤味、▼ を押すと青味が増します。色合い調整の設定は、電源を OFF にしても記憶されます。
- ［**AF エリア選択**］は［**マニュアル**］になり、ピントを合わせるエリア（AF エリア）を選べます（📖90）。Ⓚ ボタンを押して、マルチセレクターの ▲▼◀ ▶ を押すと AF エリアが移動します。Ⓚ ボタンを押して AF エリアの位置を決定すると、色合い、セルフタイマーまたは露出補正の設定ができます。
- シャッターボタンの半押しでピントを固定するまで、オートフォーカスによるピント合わせを自動的に繰り返します。
- 手ブレしやすいため、［**手ブレ補正**］（📖160）の設定を確認し、カメラをしっかり持ってください。

フラッシュ	発光禁止	セルフタイマー	OFF※	フォーカス	マクロAF	露出補正	0.0※

※ 変更できます。

🏛 ミュージアム



フラッシュ撮影が禁止されている美術館など、フラッシュを発光させたくない場所で撮影するときに使います。
- 画面中央でピントを合わせます。
- BSS（ベストショットセレクター）（📖86）を使って撮影できます。
- 手ブレしやすいため、［**手ブレ補正**］（📖160）の設定を確認し、カメラをしっかり持ってください。
- AF 補助光（📖163）は点灯しません。

フラッシュ	発光禁止	セルフタイマー	OFF※1	フォーカス	AF※2	露出補正	0.0※1

※1 変更できます。

※2 🌷（マクロAF）に変更できます。

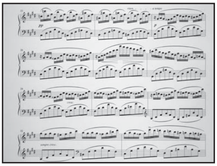
打ち上げ花火



スローシャッターで、打ち上げ花火を撮影します。
- 遠景にピントが固定されます。シャッターボタンを半押しすると、常にAF表示(□8)が緑色に点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- 電子ズームは使えません。
- AF 補助光（□163）は点灯しません。

フラッシュ	発光禁止	セルフタイマー	OFF	フォーカス	無限遠	露出補正	0.0

モノクロコピー



ホワイトボードや印刷物などの文字を、シャープに撮影したいときに使います。
- 画面中央でピントを合わせます。
- 近くのものを撮影するときは、フォーカスモード（□38）の（マクロ AF）を併用してください。
- 赤色、青色などの被写体を撮影すると、文字などが薄くなることがあります。

フラッシュ	発光禁止※1	セルフタイマー	OFF※1	フォーカス	AF※2	露出補正	0.0※1

※1 変更できます。
※2 （マクロAF）に変更できます。

逆光



逆光状態での撮影に使います。内蔵フラッシュが常に発光し、人物が影にならずに撮影できます。
- 内蔵フラッシュをポップアップしてから撮影してください。
- 画面中央でピントを合わせます。

フラッシュ	強制発光	セルフタイマー	OFF※	フォーカス	AF	露出補正	0.0※

※変更できます。

（三脚）：（三脚）がついたシーンモードでは、三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、［**手ブレ補正**］（□160）を［**OFF**］にしてください。
NR：NRがついたシーンモードでは、ノイズ低減機能が自動的に作動して、画像の記録時間が通常より長くなることがあります。

逆光HDR



明暗差の大きい風景撮影に適しています。シャッターボタンを全押しすると、高速で連写した画像を合成して、以下の2コマを記録します。

- アクティブD-ライティング（95）処理した画像
- HDR（ハイダイナミックレンジ）合成した画像

- 記録画像の 2 コマ目が HDR 合成した画像になります。記録可能コマ数が 1 コマの場合は、アクティブ D- ライティング処理した画像のみを記録します。
- 画面中央でピントを合わせます。
- 画面左上の アイコンは、明暗の差が大きいと緑色になります。
- シャッターボタンを全押ししたあとに静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。
  撮影後の画像の記録に時間がかかります。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を OFF にしないでください。
- 保存される画像の画角(写る範囲)は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 電子ズームは使えません。

フラッシュ	発光禁止	セルフタイマー	OFF※	マクロ	AF	露出補正	0.0※

※変更できます。

パノラマアシスト NR



撮影した複数の画像をつなげて、パノラマ写真に合成したいときに使います。撮影した画像は、付属のソフトウェア「Panorama Maker」を使ってパソコンでパノラマ写真に合成します。詳しくは「パノラマアシストを使った撮影方法」（53）をご覧ください。

フラッシュ	発光禁止※1	セルフタイマー	OFF※1	マクロ	AF※2	露出補正	0.0※1

※1 変更できます。
※2 （マクロAF）または（遠景AF）に変更できます。

NR：NRがついたシーンモードでは、ノイズ低減機能が自動的に作動して、画像の記録時間が通常より長くなることがあります。

パノラマアシストを使った撮影方法

画面中央でピントを合わせます。三脚を使うと、構図を合わせやすくなります。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□152）の［**手ブレ補正**］（□160）を［**OFF**］にしてください。

1 シーンメニューからマルチセレクターで ⌘［パノラマアシスト］を選び、OK ボタンを押す（□45）

- パノラマ方向（画像をつなげる方向）を示す▷マークが表示されます。



2 マルチセレクターでパノラマ方向を選び、OK ボタンを押す

- 右方向につなげるときは▷、左方向は◁、上方向は△、下方向は▽を選びます。
- 選んだ方向に黄色い▷▷マークが移動し、OK ボタンを押すと方向を決定します。決定した方向の▷（白色）が表示されます。

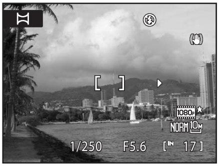


- フラッシュモード（□34）、セルフタイマー（□37）、フォーカスモード（□38）、露出補正（□41）を設定したいときは、ここで設定してください。
- もう一度OKボタンを押すと、パノラマ方向を選び直せます。

3 一番端の被写体に構図を合わせ、1コマ目を撮影する

- 撮影した画像が、画面の約 1/3 の部分に半透明で表示されます。





4 2コマ目以降を撮影する

- 次の被写体の 1/3 が前の絵柄に重なるように構図を合わせて、シャッターボタンを押してください。
- この手順を繰り返して、必要な画像を撮影してください。





5 必要な画像を撮影し終わったら、Ⓚボタンを押す

- 手順2の状態に戻ります。



パノラマアシストについてのご注意

- フラッシュモード、セルフタイマー、フォーカスモード、露出補正は、1コマ目のシャッターをきる前に設定してください。1コマ目を撮影した後は変更できません。1コマ目を撮影した後は、［**画質**］（□75）、［**画像サイズ**］（□76）の変更やズーム操作、画像の削除もできません。
- 撮影中にオートパワーオフ（□165）による待機状態になると撮影が終了します。オートパワーオフの時間を長めに設定しておくことをおすすめします。

AE/AF-L表示について

パノラマアシストモードでは、パノラマ写真を構成するすべての画像を、1コマ目と同じ露出、ホワイトバランスおよびピントで撮影します。
1コマ目を撮影すると、露出、ホワイトバランスとピントをロック（固定）したことを示すAE/AF-Lが画面に表示されます。



Panorama Maker について

Panorama Maker は、付属のSoftware Suite CD-ROMを使ってパソコンにインストールできます。
撮影した画像をパソコンに転送して（□140）、Panorama Maker でパノラマ写真に合成してください（□144）。

関連ページ

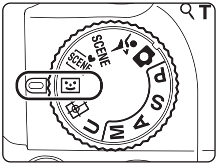
記録データのファイル名とフォルダー名→□181

笑顔を撮影する（ベストフェイスモード）

初期設定では、顔認識した人物の笑顔を検出して自動でシャッターをきることができます（笑顔自動シャッター）。美肌機能で人物の顔の肌をなめらかにできます。

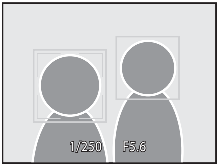
1 モードダイヤルを☺（ベストフェイス）に合わせる

- ベストフェイスモードになります。



2 構図を決める

- カメラを被写体に向けます。
- カメラが人物の顔を認識すると、顔が黄色い二重枠のAFエリア表示で囲まれ、ピントが合うと二重枠が一瞬緑色になりピントが固定されます。
- 最大3人の顔を認識します。複数の顔を認識したときは、最も画面の中央に近い顔が二重枠のAFエリア表示で囲まれ、他の顔が一重枠で囲まれます。



- 複数の顔を認識しているときにⓀボタンを押すと、ピントを合わせる人物を選べます。マルチセレクターの◀ ▶を押してピントを合わせる顔を選び、Ⓚボタンを押してください。

3 自動的にシャッターがきれる

- ［**笑顔自動シャッター**］（□57）により、カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出すると、自動的にシャッターがきれます。
  フラッシュが発光しないときは、撮影のたびに5回シャッターをきり、より笑顔の人物が多い画像を優先して1コマだけ記録します。
  セルフタイマーランプ（□4）は、カメラが顔を認識すると点滅し、シャッターがきれた直後は速く点滅します。シャッターがきれるたびに、顔認識と笑顔検出による自動撮影を繰り返します。
- シャッターボタンを押してもシャッターがきれます。顔認識していないときは、画面中央の被写体にピントが合います。
- シャッターがきれると、人物の顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します（［**美肌効果**］（□57））。

4 撮影を終了する

- 笑顔検出による自動撮影を終了するときは、電源をOFFにするか、［**笑顔自動シャッター**］を［**OFF**］にするか、モードダイヤルを回して他の撮影モードに切り換えてください。

ベストフェイスモードについてのご注意

- 電子ズームは使えません。
- 撮影条件などによっては、適切に顔の認識や笑顔の検出ができないことがあります。
- 「顔認識についてのご注意」→📖92

美肌効果についてのご注意

- 美肌効果を使って撮影する場合は、画像の記録時間が通常より長くなることがあります。
- 撮影条件によっては、撮影時の画面でカメラが顔を認識していても、美肌の効果が表れないことや、顔以外の部分が画像処理されることがあります。望ましい効果が得られない場合は、［**美肌効果**］を［**OFF**］にして撮影し直してください。
- シーンモードの［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］では、美肌効果の度合いは設定できません。
- 撮影後にも、記録した画像に美肌の編集ができます（📖122）。

笑顔自動シャッター使用時の節電機能について

［**笑顔自動シャッター**］が［**ON**］のときは、カメラを操作しないまま以下の状態が続くと、オートパワーオフ（📖165）が作動して、電源がOFFになります。

- カメラが顔を認識しない。
- カメラが顔を認識していても、笑顔を検出できない。

ベストフェイスモードで使える機能

- フラッシュは、［**目つぶり軽減**］が［**ON**］のときは使えません。［**目つぶり軽減**］が［**OFF**］のときは、フラッシュモード（📖34）が⚡AUTO（自動発光）になります（変更できます）。
- 露出補正（📖41）の設定ができます。
- ［**笑顔自動シャッター**］を［**OFF**］にすると、セルフタイマー（📖37）の設定ができます。
- フォーカスモードは、AF（通常AF）に固定されます。
- MENUボタンを押して、☺（ベストフェイス）メニューを表示すると、［**画質**］、［**画像サイズ**］、［**美肌効果**］、［**笑顔自動シャッター**］または［**目つぶり軽減**］の設定ができます。

関連ページ

オートフォーカスが苦手な被写体→📖31

ベストフェイスメニューを使う

MENU ボタン（□13）を押してベストフェイスメニューを表示し、マルチセレクター（□12）で設定してください。以下の項目を設定できます。
ベストフェイスメニューが表示されないときは、☺タブに切り換えます（□13）。

- ［**笑顔自動シャッター**］と［**目つぶり軽減**］は同時に使えません。

画質

［**画質**］（□75）を設定できます。他の撮影モードでも同じ画質の設定になります（スポーツ連写モード、撮影モード**U**を除く）。

画像サイズ

［**画像サイズ**］（□76）を設定できます。他の撮影モードでも同じ画像サイズの設定になります（スポーツ連写モード、撮影モード**U**を除く）。

美肌効果

美肌の効果を設定します。シャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し（最大3人）、画像処理で顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します。効果の度合いを［**強め**］、［**標準**］（初期設定）、［**弱め**］から選べます。［**OFF**］を選ぶと、美肌機能はOFFになります。

- 美肌効果の設定は、撮影画面のアイコン表示で確認できます（□8）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。また、撮影画面の被写体では、効果の度合いは確認できません。撮影後に画像を再生して確認してください。

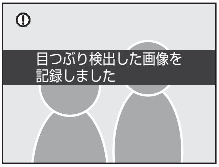
笑顔自動シャッター

- ［**ON**］（初期設定）：顔認識した人物の笑顔を検出するたびに、カメラが自動でシャッターをきります。フラッシュが発光しないときは、撮影のたびに 5 回シャッターをきり、より笑顔の人物が多い画像を優先して 1 コマだけ記録します。
- ［**OFF**］：笑顔検出による自動シャッターを OFF にして、シャッターボタンのみでシャッターをきります。
- 笑顔自動シャッターの設定は、撮影時の画面で確認できます（□8）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

目つぶり軽減

［**ON**］のときは、シャッターボタンを1回全押しすると5回シャッターをきり、人物が目をつぶっていない画像を優先して1コマだけ記録します。

- 目をつぶっている可能性のある画像を記録したときは、右のメッセージが数秒間表示されます。
- ［**目つぶり軽減**］を［**ON**］にすると、［**笑顔自動シャッター**］は［**OFF**］になります。シャッターボタンを押してシャッターをきります。
- ［**ON**］にすると、フラッシュは使えません。

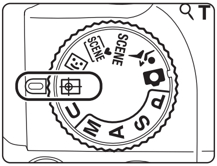


- 初期設定は［**OFF**］です。
- 目つぶり軽減の設定は、撮影時の画面で確認できます（📖8）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

動く被写体にピントを合わせて撮影する（ターゲット追尾モード）

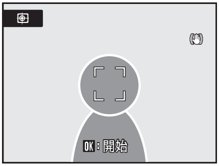
動きのある被写体を撮影するときに使います。ピントを合わせたい被写体を登録するとターゲット追尾が始まり、AFエリアが被写体を追いかけて移動します。

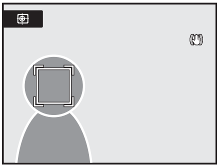
1 モードダイヤルを（ターゲット追尾）に合わせる



- ターゲット追尾モードになり、画面中央に白色の枠が表示されます。

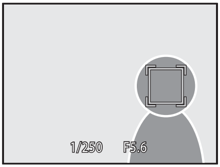
2 被写体を登録する





- ピントを合わせたい被写体に画面中央の枠を合わせ、OKボタンを押します。
  - 被写体が登録されます。
  - 枠が赤色で表示されたときは、被写体にピントを合わせられません。構図を変えて、もう一度被写体を登録してください。
- 被写体が登録されると、黄色いAFエリア表示で囲まれ、ターゲット追尾が始まります。
- ターゲットを変えたいときは、OKボタンを押して現在の登録を解除してください。
- カメラがターゲットを見失って AF エリア表示が消えたときは、もう一度被写体を登録してください。

3 シャッターボタンを押して撮影する



- シャッターボタンを半押しして、AFエリアでピントが合うと、AFエリア表示が緑色になり、ピントが固定されます。
- AFエリア表示が点滅したときは、被写体にピントが合っていません。もう一度シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせてください。
- AF エリアが表示されていない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央にピントが合います。
- シャッターボタンを全押しするとシャッターがきれます。

ターゲット追尾モードについてのご注意

- 電子ズームは使えません。
- ズーム位置、フラッシュモード、露出補正またはメニューは、被写体を登録する前に設定してください。被写体を登録した後に設定を変更すると、被写体の登録が解除されます。
- 被写体の動きが速いときや手ブレが大きいとき、類似した被写体がある場合など、撮影条件によっては、被写体をターゲットに登録できないことや追尾できないこと、または別の被写体を追尾することがあります。被写体の大きさや明るさなどによっても、適切にターゲット追尾できないことがあります。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（□31）の撮影では、AFエリア表示が緑色になっていても、まれにピントが合わないことがあります。ピントが合わないときは、オート撮影モードにするか、撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**、**U**で［**AFエリア選択**］（□90）を［**マニュアル**］か［**中央**］に切り換え、同距離にある別の被写体でピントを合わせるフォーカスロック撮影（□31）をお試しください。

ターゲット追尾モードで使える機能

- フラッシュモード（□34）の変更、および露出補正（□41）の設定ができます。
- セルフタイマーは使えません。
- フォーカスモードは、AF（通常AF）に固定されます。
- MENUボタンを押して、⊕（ターゲット追尾）メニューを表示すると、［**画質**］、［**画像サイズ**］または［**AFモード**］の設定ができます（□61）。

ターゲット追尾メニューを使う

MENUボタン（□13）を押してターゲット追尾メニューを表示し、マルチセレクター（□12）で設定してください。以下の項目を設定できます。
ターゲット追尾メニューが表示されないときは、⊕タブに切り換えます（□13）。

画質

［**画質**］（□75）を設定できます。他の撮影モードでも同じ画質の設定になります（スポーツ連写モード、撮影モード**U**を除く）。

画像サイズ

［**画像サイズ**］（□76）を設定できます。他の撮影モードでも同じ画像サイズの設定になります（スポーツ連写モード、撮影モード**U**を除く）。

AFモード

ターゲット追尾モードを使用するときの［**AFモード**］（□93）を設定できます（初期設定［**常時AF**］）。
ターゲット追尾モードの場合、［**常時AF**］に設定すると、シャッターボタンの半押しでピントを固定するまで、ピント合わせを自動的に繰り返します。ピントを合わせる動作音がします。
ターゲット追尾モードでAFモードの設定を変更しても、撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**、**U**のAFモードの設定は変更されません。ターゲット追尾モードのAFモードの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

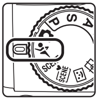
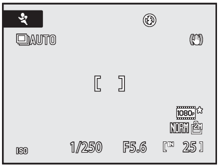
高速で連続撮影する（スポーツ連写モード）

スポーツ連写モードでは、高速で移動する被写体の一瞬の動きを連写でとらえることができます。

- 画像サイズは、［**1600×1200**］または［**1280×960**］に固定されます（64）。
- ISO感度は、160から3200の範囲で自動的に設定されます。
- ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマと同じ条件に固定されます。

1 モードダイヤルを（スポーツ連写）に合わせる

- スポーツ連写モードになります。

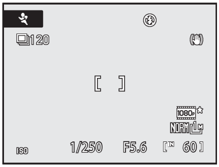
2 MENUボタンを押して、スポーツ連写メニューの設定を確認または変更する

- スポーツ連写メニュー →64
- スポーツ連写メニューが表示されないときは、タブに切り換えます（13）。
- 設定したらMENUボタンを押して、撮影画面に戻ります。シャッターボタンを押しても撮影画面に戻ります。



3 構図を決めて撮影する

- 画面中央でピントを合わせます。シャッターボタンを半押しすると、ピントと露出が固定されます。
- ［**高速連写設定**］のときは、シャッターボタンを全押しすると、設定に応じたコマ数を一度に連写します。シャッターボタンを押し続ける必要はありません。
- ［**先取り撮影**］のときは、シャッターボタンの全押しを続けて連写します（最大25コマ）。
- 撮影終了後、撮影画面に戻ります。マークが表示された場合は、カメラの電源をOFFにしないでください。



スポーツ連写についてのご注意

- 撮影後の画像の記録に時間がかかります。記録が終了するまでの時間は、撮影コマ数、画質、SDカードへの書き込み速度などによって異なります。
- ISO感度が上がって、撮影した画像がざらつくことがあります。
- 晴天下では適正な露出が得られない（露出オーバーになる）ことがあります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で明滅する照明下では、画像に横帯が発生したり、画面の明るさや色合いにばらつきが発生することがあります。

スポーツ連写モードで使える機能

- フラッシュ、セルフタイマーは使えません。
- 露出補正（□41）の設定ができます。
- フォーカスモード（□38）の設定ができます。スポーツ連写モードでAF（通常AF）（初期設定）または🌷（マクロAF）にすると、常時AF（□93）になります。
- AF補助光（□163）は点灯しません。
- MENUボタンを押して、🏃（スポーツ連写）メニューを表示すると、［**高速連写設定**］、［**先取り撮影**］または［**画質**］の設定ができます（□64）。

関連ページ

- オートフォーカスが苦手な被写体→□31
- 連写で撮影した画像の再生（連写グループについて）→□102

スポーツ連写メニューを使う

MENU ボタン（□13）を押してスポーツ連写メニューを表示し、マルチセレクター（□12）で設定してください。以下の項目を設定できます。
スポーツ連写メニューが表示されないときは、タブに切り換えます（□13）。

- ［**高速連写設定**］と［**先取り撮影**］は同時に設定できません。

高速連写設定

スポーツ連写の種類を選びます。

種類	内容
高速連写オート（初期設定）	連写速度：最大60コマ/秒 連続撮影コマ数：25コマ 画像サイズ：［**1600×1200**］固定 • 撮影開始時の被写体の明るさによって、連写速度が変わります。暗いときは、シャッタースピードが遅くなり（最長1秒）、連写速度が遅くなります。
高速連写 120 fps	連写速度：約120コマ/秒 連続撮影コマ数：60コマ 画像サイズ：［**1280×960**］固定 • 約 1/120 秒以上の高速シャッタースピードで 60 コマ連写します。
高速連写 60 fps	連写速度：約60コマ/秒 連続撮影コマ数：25コマ 画像サイズ：［**1600×1200**］固定 • 約1/60秒以上の高速シャッタースピードで25コマ連写します。

先取り撮影

先取り撮影を使うと、シャッターチャンスを逃しにくくなります。
シャッターボタンを全押しする直前の画像も最大5コマまで記録します。
シャッターボタンの半押しで撮影を開始し、そのまま全押しを続けて連写します（□65）。
シャッターボタンから指をはなすか、25コマ連写すると、撮影を終了します。

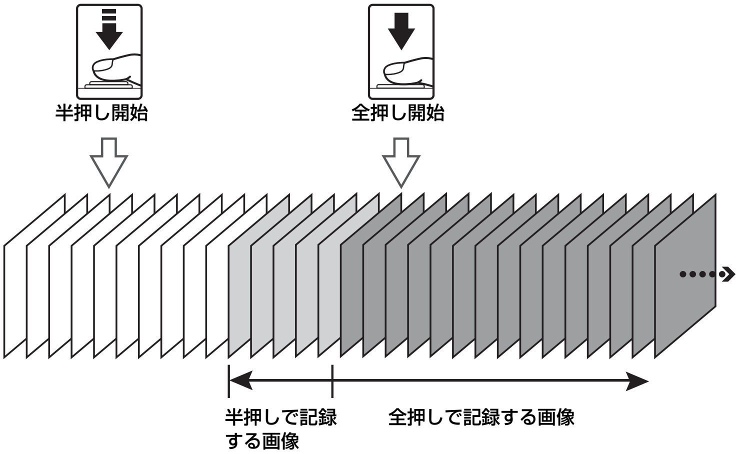
- 連写速度：最大 15 コマ / 秒
- 連続撮影コマ数：最大 25 コマ（先取り撮影の最大 5 コマを含む）
- 画像サイズ：［**1600 × 1200**］固定

画質

［**画質**］（□75）を設定できます。他の撮影モードの設定とは連動せずに独立して記憶されます。

先取り撮影について

先取り撮影が［**ON**］のときに、シャッターボタンを0.5秒以上半押しすると撮影を開始し、全押しする直前の画像も連続撮影コマ数の一部として記録できます。先取り撮影できる枚数は、5コマまでです。
先取り撮影の設定は、撮影時の画面で確認できます（🕮8）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。シャッターボタンの半押し中は、先取り撮影アイコンが緑色に変わります。



- 撮影前に記録可能コマ数をご確認ください。25 コマ以上残っているときに撮影するようおすすめします。記録可能コマ数が5コマ以下のときは、先取り撮影できません。

露出を設定して撮影する（P、S、A、Mモード）

P、S、A、Mモードについて

モードダイヤルを切り換えて、**P**（プログラムオート）、**S**（シャッター優先オート）、**A**（絞り優先オート）、**M**（マニュアル露出）の4種類の露出モードを使って撮影できます。シャッタースピードや絞りを自分で設定できるほか、撮影メニュー（🕮73）でISO感度やホワイトバランスなどを変更して、さらに高度な撮影を楽しめます。

露出モード		内容	こんなときに
P	**プログラムオート**（🕮68）	シャッタースピードと絞り値の両方をカメラが自動的にセットします。同じ露出でシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えるプログラムシフト（🕮68）もできます。	ほとんどの撮影状況に適しています。
S	**シャッター優先オート**（🕮69）	設定したシャッタースピードに合わせて、カメラが自動的に絞り値をセットします。	動きの速い被写体を速いシャッタースピードで撮影したり、遅いシャッタースピードで動きを強調するときなどに使います。
A	**絞り優先オート**（🕮70）	設定した絞り値に合わせて、カメラが自動的にシャッタースピードをセットします。	手前から奥まで鮮明に写したり、背景の描写をやわらげたいときなどに使います。
M	**マニュアル露出**（🕮71）	シャッタースピードも絞り値も撮影者が自由に設定できます。	撮影意図に合わせて、露出をコントロールしたいときに使います。

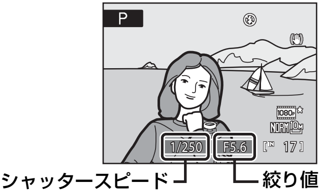
撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**でよく使う設定の組み合わせをモードダイヤル**U**に登録できます。モードダイヤルを**U**に合わせると、登録したよく使う設定の組み合わせで撮影ができます（🕮98）。

P、S、A、Mモードで使える機能

- フラッシュモード（🕮34）の変更、セルフタイマー（🕮37）、フォーカスモード（🕮38）、および露出補正（🕮41）の設定ができます。
- MENUボタンを押すと、撮影メニュー（🕮73）を設定できます。

露出について

シャッタースピードと絞り値を調整して、画像が意図した明るさ（露出）で撮影されるようにすることを「露出を合わせる」といいます。同じ露出の画像でも、シャッタースピードと絞りの組み合わせによって、撮影される画像の流動感や背景のぼかし具合などが変わってきます。ISO感度設定（□84）を変えると、適正露出を得られるシャッタースピードと絞り値の範囲も変化します。





速いシャッタースピードのとき
1/1000秒



遅いシャッタースピードのとき
1/30秒



絞りを開いたとき
（絞り値が小さいとき）
f/2.8

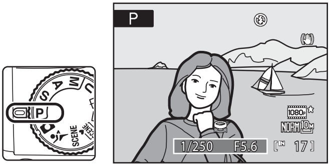


絞りを絞り込んだとき
（絞り値が大きいとき）
f/8.0

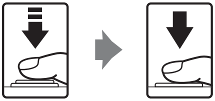
P（プログラムオート）

カメラが自動的にセットしたシャッタースピードと絞り値で撮影します。

1 モードダイヤルをPに合わせる

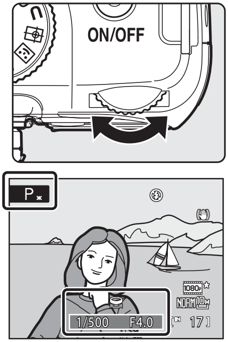


2 構図を決めて撮影する



- 初期設定では、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します（最大9カ所）（□90）。

プログラムシフトについて



P（プログラムオート）で撮影中にコマンドダイヤルを回すと、露出値を変えずにシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えられます。これを「プログラムシフト」といいます。プログラムシフト中は、液晶モニター左上の**P**表示の横にプログラムシフトマーク（✱）が表示されます。

- 背景をぼかしたい（絞り値を小さく設定したい）場合や、動きの速い被写体を撮影したい（速いシャッタースピードを設定したい）場合には、コマンドダイヤルを右に回してください。
- 近くから遠くまでピントの合った写真を撮影したい（絞り値を大きく設定したい）場合や被写体の動きを強調したい（遅いシャッタースピードを設定したい）場合には、コマンドダイヤルを左に回してください。
- プログラムシフトを解除するには、プログラムシフトマーク（✱）が消えるまでコマンドダイヤルを回してください。モードダイヤルを切り換えたり、電源をOFFにしても、プログラムシフトを解除できます。

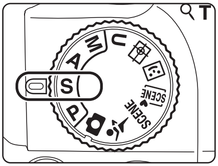
✔ シャッタースピードについてのご注意

- ISO感度（□84）がISO 3200のときは、シャッタースピードが最長1秒に制限されます。
- ［**連写**］の設定（□86）を［**マルチ連写**］にすると、シャッタースピードが最長 1/30 秒に制限されます。

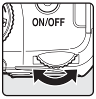
S（シャッター優先オート）

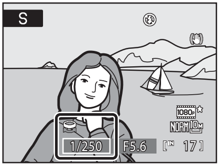
シャッタースピードを設定して撮影します。

1 モードダイヤルを**S**に合わせる



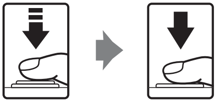
2 コマンドダイヤルを回して、シャッタースピード（1/2000～8秒）を設定する





3 ピントを合わせて撮影する

- 初期設定では、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAF エリアでピントが合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します（最大9カ所）（□90）。



S（シャッター優先オート）撮影時のご注意

- 被写体が暗すぎたり明るすぎたりすると、設定したシャッタースピードで撮影できないことがあります。このようなときは適切な露出が得られていないため、シャッターボタンを半押しすると、液晶モニターのシャッタースピード表示が点滅します。設定したシャッタースピードを変えてください。
- 1/4秒以上の低速シャッタースピードに設定すると、撮影画像にノイズが出ることがあります。このようなときは液晶モニターのシャッタースピード表示が赤色に点灯します。撮影メニューの［**ノイズ低減**］（□94）を［**ON**］にするようおすすめします。

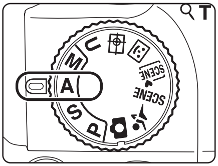
シャッタースピードについてのご注意

- ISO感度（□84）がISO 800のときは最長4秒、ISO 1600のときは最長2秒、ISO 3200のときは最長1秒にシャッタースピードが制限されます。
- ［**連写**］の設定（□86）を［**マルチ連写**］にすると、シャッタースピードが最長 1/30秒に制限されます。

A（絞り優先オート）

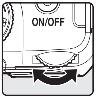
絞り値を設定して撮影します。

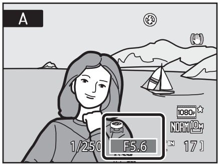
1 モードダイヤルをAに合わせる



2 コマンドダイヤルを回して、絞り値（開放絞り～最小絞り）を設定する

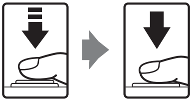
- 絞り値は、f/2.8～8.0（広角側）、f/5.0～8.0（望遠側）の範囲で設定できます。





3 ピントを合わせて撮影する

- 初期設定では、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します（最大9カ所）（📖90）。



A（絞り優先オート）撮影時のご注意

被写体が暗すぎたり明るすぎたりすると、設定した絞り値で撮影できないことがあります。このようなときは適切な露出が得られていないため、シャッターボタンを半押しすると、液晶モニターの絞り値表示が点滅します。設定した絞り値を変えてください。

シャッタースピードについてのご注意

- ISO感度（📖84）がISO 800のときは最長4秒、ISO 1600のときは最長2秒、ISO 3200のときは最長1秒にシャッタースピードが制限されます。
- ［**連写**］の設定（📖86）を［**マルチ連写**］にすると、シャッタースピードが最長 1/30秒に制限されます。

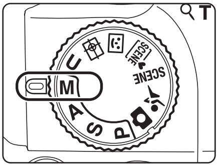
絞りとズームについて

絞り値（F値）とはレンズの明るさを示す値で、レンズの焦点距離を有効口径（レンズの中にある絞りとそこを通る光の関係を数値化したもの）で割った数値のことをいいます。この数値が小さくなるに従って明るくなり、大きくなるに従って暗くなります。また、そのレンズの絞りの一番小さい数値を開放絞り値といい、一番大きい数値を最小絞り値といいます。このカメラのレンズ（4.6-120mm f/2.8-5）はズーム位置によって絞り値が変化します。望遠側にズームすると絞り値が大きくなり、広角側にズームすると絞り値が小さくなります。

M（マニュアル露出）

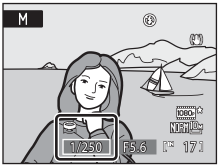
シャッタースピードと絞り値を設定して撮影します。

1 モードダイヤルをMに合わせる



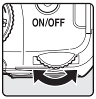
2 マルチセレクターの ▶ を押して、シャッタースピードを選ぶ

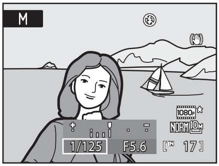
- マルチセレクターの▶を押すごとに、シャッタースピードと絞り値が交互に切り換わります。
- 1/4 秒以上の低速シャッタースピードの場合は、液晶モニターのシャッタースピード表示が赤色に点灯します（□69）。

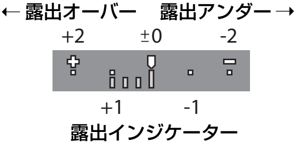


3 コマンドダイヤルを回して、シャッタースピード（1/2000～8秒）を設定する

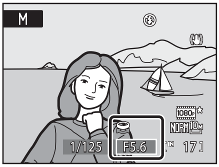
- 設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせによる露出値と、カメラが測定した適正露出値の差が液晶モニターの露出インジケーターに数秒間表示されます。
- 設定された露出値とカメラの測光した適正露出値の差は、露出インジケーターに－2 EVから+2 EVの範囲で1/3段ごとに表示されます。
図は露出が1段オーバーのときの例です。



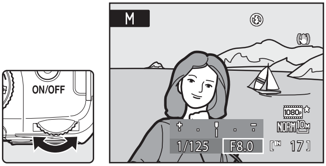




4 マルチセレクターの▶を押して、絞り値を選ぶ

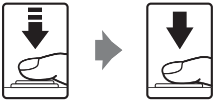


5 コマンドダイヤルを回して、絞り値を設定する



- 必要に応じて、手順2〜5を繰り返してシャッタースピードと絞り値を調整します。

6 ピントを合わせて撮影する



- 初期設定では、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します（最大9カ所）（📖90）。

シャッタースピードについてのご注意

- ISO感度（📖84）がISO 800のときは最長4秒、ISO 1600のときは最長2秒、ISO 3200のときは最長1秒にシャッタースピードが制限されます。
- ［**連写**］の設定（📖86）を［**マルチ連写**］にすると、シャッタースピードが最長 1/30秒に制限されます。

ISO感度についてのご注意

［**ISO感度設定**］（📖84）を［**オート**］（初期設定）、［**高感度オート**］または［**感度制限オート**］に設定していると、ISO感度はISO 160に固定されます。

撮影メニューを使う（P、S、A、Mモード）

撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**、**U**（□98）で撮影するときは、以下の撮影メニューを設定できます。

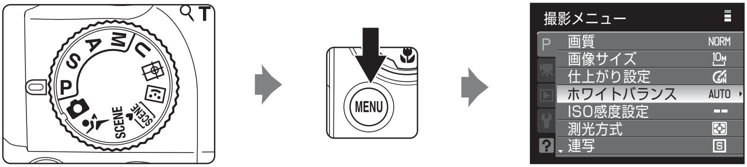
	画質	□75
	記録時の画質（画像の圧縮率）を選びます。他の撮影モードのメニューでも設定できます。	
	画像サイズ	□76
	記録時の画像の大きさを選びます。他の撮影モードのメニューでも設定できます（スポーツ連写モードを除く）。	
	仕上がり設定	□79
	撮影状況や好みに合わせて、画像の仕上がりを設定できます。	
WB	**ホワイトバランス**	□82
	画像を見た目に近い色で記録するように、光源に合わせてホワイトバランスを設定します。	
ISO	**ISO感度設定**	□84
	被写体の明るさなどに応じて、ISO感度を設定します。	
	測光方式	□85
	カメラが被写体の明るさを測る方式を設定します。	
	連写	□86
	連写（連続撮影）やBSS（ベストショットセレクター）などを設定できます。	
BKT	**ブラケティング**	□89
	露出を少しずつずらした連続撮影を設定します。	
	AFエリア選択	□90
	オートフォーカスでピント合わせをするエリアの決め方を設定します。	
	AFモード	□93
	ピントの合わせ方を設定します。	
	調光補正	□93
	フラッシュの発光量を補正します。	
NR	**ノイズ低減**	□94
	低速のシャッタースピードで撮影したときに画像に入るノイズを低減します。	
	ゆがみ補正	□94
	レンズの特性によって画像周辺部に生じるゆがみの補正を設定します。	
	Active D-ライティング	□95
	ハイライトの白とびを抑え、暗部の黒つぶれを軽減し、見た目のコントラストに近い画像で撮影します。	

U	User Setting 登録	□99
	変更した現在の設定内容をモードダイヤルUに登録します。	
U	User Setting リセット	□100
	モードダイヤルUに登録した設定内容を初期設定にリセットします。	

撮影メニューの表示方法

モードダイヤルを**P**（プログラムオート）、**S**（シャッター優先オート）、**A**（絞り優先オート）、**M**（マニュアル露出）または**U**（ユーザーセッティング）に合わせます。

MENUボタンを押して、**P**、**S**、**A**、**M**、または**U**タブに切り換え、撮影メニューを表示します（□13）。



- メニューの選択と設定には、マルチセレクターを使います（□12）。
- 撮影メニューを終了するには、MENUボタンを押します。

同時に設定できない機能について

複数の機能を同時に設定できないことがあります（□96）。

メニューの操作について

マルチセレクターの▲▼を押すかわりに、コマンドダイヤルを回してもメニュー項目を選べます。

画質

P、S、A、Mに設定 ➔ MENU ➔ P、S、A、M（撮影メニュー）（□74）➔ 画質

記録する画像の圧縮率を選びます。
画質を高くするほど、画像の細部の描写が保たれますが、ファイルサイズが大きくなるため、記録できるコマ数は少なくなります。

FINE	FINE
	［**NORMAL**］よりも精細な画質になります。画像を拡大するときや、プリンターで細かく表現したいときなどに適しています。圧縮率は1/4です。
NORM	NORMAL（**初期設定**）
	一般的な撮影に適した画質モードです。圧縮率は1/8です。
BASIC	BASIC
	画質は［**NORMAL**］よりも低くなりますが、電子メールの添付やホームページ掲載に適しています。圧縮率は1/16です。

画質の設定は、撮影時や再生時の画面で確認できます（□8～10）。

画質の設定について

- 画質の設定を変更すると、他の撮影モードでも同じ画質の設定になります（スポーツ連写モード、撮影モード**U**を除く）。
- スポーツ連写モードの画質設定は、スポーツ連写メニューで設定してください（□64）。

関連ページ

- 記録可能コマ数→□77
- 同時に設定できない機能→□96

画像サイズ

P、S、A、Mに設定 ➔ MENU ➔ **P、S、A、M**（撮影メニュー）（□74）➔ 画像サイズ

記録する画像の大きさ（ピクセル数）を設定します。
画像サイズを大きくするほど、大きくプリントするのに適していますが、ファイルサイズが大きくなるため、記録できるコマ数は少なくなります。
サイズの小さい画像は、電子メールの添付やホームページ掲載に適しています。ただし、サイズが小さい画像を大きくプリントしようとすると、粒子の粗い画像になります。

画像サイズ		内容
10M	3648×2736（初期設定）	8M［**3264×2448**］、5M［**2592×1944**］よりも精細な画像になります。
8M	3264×2448	ファイルサイズと画像のバランスが良く、一般的な撮影に適した画像サイズです。
5M	2592×1944	
3M	2048×1536	10M［**3648×2736**］、8M［**3264×2448**］、5M［**2592×1944**］よりも画像サイズが小さいため、より多く撮影できます。
2M	1600×1200	
1M	1280×960	
PC	1024×768	パソコンのモニターなどへの表示に適した画像サイズです。
VGA	640×480	電子メールへの添付や画面の縦横比が4:3のテレビへの表示に適しています。
3:2	3648×2432	35mm 判フィルムカメラで撮影したときと同じ縦横比（3:2）の画像になります。
16:9	3584×2016	ワイドテレビと同じ縦横比（16:9）の画像になります。
1:1	2736×2736	正方形の画像になります。

画像サイズの設定は、撮影時や再生時の画面で確認できます（□8〜10）。

画像サイズの設定について

- 画像サイズの設定を変更すると、他の撮影モードでも同じ画像サイズの設定になります（スポーツ連写モード、撮影モード**U**を除く）。
- スポーツ連写モードの場合、画像サイズは2M［**1600×1200**］または1M［**1280×960**］に固定されます（□64）。
- この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□96）

いろいろな撮影

記録可能コマ数

それぞれの［**画像サイズ**］（□76）と［**画質**］（□75）の組み合わせで、内蔵メモリーや4 GBのSDカードに記録できるおおよそのコマ数は以下のとおりです。ただし、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって記録可能コマ数は大きく異なります。同じ容量のSDカードでも、カードの種類によって、記録可能コマ数が異なることがあります。

画像サイズ	画質	内蔵メモリー（約43 MB）	SDカード※1（4 GB）	プリント時のサイズ※2
10M 3648×2736（初期設定）	FINE NORMAL BASIC	8コマ 17コマ 34コマ	約775コマ 約1545コマ 約3015コマ	約31×23 cm
8M 3264×2448	FINE NORMAL BASIC	11コマ 21コマ 42コマ	約970コマ 約1915コマ 約3655コマ	約28×21 cm
5M 2592×1944	FINE NORMAL BASIC	17コマ 33コマ 63コマ	約1525コマ 約2940コマ 約5485コマ	約22×16 cm
3M 2048×1536	FINE NORMAL BASIC	27コマ 52コマ 98コマ	約2410コマ 約4640コマ 約8620コマ	約17×13 cm
2M 1600×1200	FINE NORMAL BASIC	43コマ 83コマ 144コマ	約3770コマ 約7100コマ 約12000コマ	約14×10 cm
1M 1280×960	FINE NORMAL BASIC	65コマ 119コマ 196コマ	約5745コマ 約10000コマ 約17000コマ	約11×8 cm
PC 1024×768	FINE NORMAL BASIC	98コマ 171コマ 275コマ	約8620コマ 約15000コマ 約24000コマ	約9×7 cm
VGA 640×480	FINE NORMAL BASIC	196コマ 305コマ 458コマ	約17000コマ 約24000コマ 約40000コマ	約5×4 cm
3:2 3648×2432	FINE NORMAL BASIC	10コマ 19コマ 38コマ	約870コマ 約1720コマ 約3350コマ	約31×21 cm
16:9 3584×2016	FINE NORMAL BASIC	12コマ 24コマ 46コマ	約1065コマ 約2115コマ 約4020コマ	約30×17 cm
1:1 2736×2736	FINE NORMAL BASIC	11コマ 23コマ 45コマ	約1030コマ 約2045コマ 約3890コマ	約23×23 cm

※1 記録可能コマ数が10,000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。
※2 出力解像度を300 dpiに設定した場合のサイズです。
ピクセル数÷プリンター解像度（dpi）× 2.54 cm で計算しています。同じ画像サイズでも、高い解像度で印刷すると印刷サイズは小さくなり、低い解像度で印刷すると、印刷サイズは大きくなります。

画像サイズ1:1の画像をプリントするときのご注意

画像サイズを「1:1」にして撮影した画像をプリントするときは、プリンターの設定を「フチあり」にしてください。
プリンターによっては、画像を1:1の縦横比でプリントできない場合があります。
詳しくは、お使いのプリンターの使用説明書またはプリントサービス店などでご確認ください。

仕上がり設定

P、S、A、Mに設定 ➔ MENU ➔ P、S、A、M（撮影メニュー）（□74）➔ 仕上がり設定

撮影状況や好みに合わせて、画像の仕上がりを設定できます。輪郭強調の度合い、コントラスト、色の濃度（彩度）を細かく調整することもできます。

標準（初期設定）	標準的な画像に仕上げます。ほとんどの撮影状況に対応できます。
ソフトに	被写体の輪郭をソフトに再現します。人物の肌をなめらかに表現したいときや、撮影後にパソコン上で画像を加工したいときに適しています。
鮮やかに	彩度を高め、赤色と緑色を鮮やかに表現します。ややコントラストが高く、シャープな画像になります。
より鮮やかに	彩度とコントラストを高め、被写体の輪郭を強調した画像になります。
ポートレート	人物撮影に適しています。コントラストを抑え、肌の質感や立体感を自然に仕上げます。
カスタマイズ	仕上がりを自分で細かく設定できます（□80）。
白黒	白黒やセピアの写真を撮影したいときに使います（□81）。

仕上がり設定の設定は、撮影時の画面で確認できます（□8）。［**標準**］のときは、何も表示されません。

仕上がり設定についてのご注意

- 仕上がり設定が［**標準**］、［**ソフトに**］、［**鮮やかに**］、［**より鮮やかに**］、［**ポートレート**］または［**白黒**］の［**スタンダード**］の場合、同じような状況で撮影しても、被写体の位置や大きさ、露出によって仕上がり具合は変化します。一連の写真を写すときに同じような仕上がり具合にしたい場合は、［**カスタマイズ**］を選んで［**オート**］以外の項目を設定してください。
- この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□96）

仕上がり設定の［カスタマイズ］について

仕上がり設定で［**カスタマイズ**］を選ぶと、以下の項目を個別に設定できます。



コントラスト

画像の階調（コントラスト）を設定します。
コントラストを弱くすると軟調な画像になり、強くすると硬調な画像になります。晴天時の人物撮影や白とびが気になる場合などは弱めが、かすんだ遠景の撮影などには強めが適しています。
初期設定は［**オート**］です。



輪郭強調

画像の輪郭の強調度合い（シャープネス）を設定します。
強めにするとくっきりとした画像になり、弱めにするとソフトな画像になります。
初期設定は［**オート**］です。



彩度調整

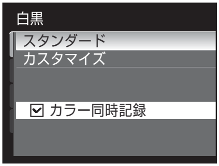
画像の色の鮮やかさを設定します。
弱めにすると鮮やかさが抑えられ、強めにするとより鮮やかになります。
初期設定は［**オート**］です。



✔ 輪郭強調についてのご注意

輪郭強調の効果は、撮影時の画面では確認できません。画像を再生して確認してください。

仕上がり設定の［白黒］について



仕上がり設定で［**白黒**］を選ぶと、以下の項目が設定できます。

- ［**スタンダード**］を選ぶと標準的な仕上がりになります。
- ［**カスタマイズ**］を選ぶと、さらに［**コントラスト**］、［**輪郭強調**］、［**モノクロフィルター**］の3種類の項目を個別に設定できます。
- ［**カラー同時記録**］チェックボックスをオン（✔）にすると、白黒画像と同時にカラー画像も記録します。

［**カスタマイズ**］では以下の項目を個別に設定できます。

コントラスト

［**仕上がり設定**］→［**カスタマイズ**］の［**コントラスト**］（📖80）と同じです。

輪郭強調

［**仕上がり設定**］→［**カスタマイズ**］の［**輪郭強調**］（📖80）と同じです。

モノクロフィルター



白黒写真用カラーフィルターを通して撮影したときのような効果が得られます。

- ［**黄**］、［**オレンジ**］、［**赤**］：
  コントラストを強調する効果があり、風景撮影で空の明るさを抑えたい場合などに使います。黄 → オレンジ → 赤の順にコントラストが強くなります。
- ［**緑**］：
  肌の色や唇などを落ち着いた感じに仕上げます。ポートレート撮影などに使います。
- ［**セピア**］：
  古い写真のようなセピア調に仕上げます。

カラー同時記録について

カラー同時記録で記録されるカラー画像は、仕上がり設定を［**標準**］に設定したときと同じ仕上がりになります。

WB　ホワイトバランス

P、S、A、Mに設定 ➔ MENU ➔ P、S、A、M（撮影メニュー）（□74）
➔ ホワイトバランス

人間の目には、晴天、曇り空、白熱電球や蛍光灯の室内など、光源の色に関係なく白い被写体は白く見えます。人間の目に白く見える色を、デジタルカメラで白く撮影するには、光源の色に合わせて調整が必要です。この調整を「ホワイトバランスを合わせる」といいます。
初期設定の［**オート**］でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせて設定を変更してください。

AUTO	**オート（初期設定）**
	カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。ほとんどの場合、この設定のままで撮影できます。
PRE	**プリセットマニュアル**
	特殊な照明の下などでの撮影に適しています。詳しくは「プリセットマニュアルの使い方」（□83）をご覧ください。
☀	**晴天**※
	晴天の屋外での撮影に適しています。
💡	**電球**※
	白熱電球の下での撮影に適しています。
蛍	**蛍光灯**
	蛍光灯の下での撮影に適しています。［**FL1**］（白色蛍光灯）、［**FL2**］（昼白色蛍光灯）、［**FL3**］（昼光色蛍光灯）のいずれかを選べます。
☁	**曇天**※
	曇り空の屋外での撮影に適しています。
⚡	**フラッシュ**※
	フラッシュを使う撮影に適しています。

※ 7段階の微調整ができます。「＋」方向で青味、「－」方向で赤味が増します。
ホワイトバランスの設定は、撮影時の画面で確認できます（□8）。［**オート**］のときは、何も表示されません。

ホワイトバランスについてのご注意

- ［**オート**］、［**フラッシュ**］以外のホワイトバランスを選んだときは、フラッシュを⊛（発光禁止）に設定してください（□34）。
- この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□96）

プリセットマニュアルの使い方

特殊な照明の下で撮影するときなど、［**オート**］や［**電球**］などのホワイトバランス設定では望ましい結果が得られない場合に使います（赤みがかった照明下で撮影した画像を、普通の照明下で撮影したように見せたいときなど）。

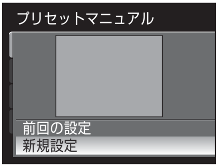
1 撮影する照明下で、白またはグレーの被写体を用意する

2 撮影メニューを表示し（□74）、マルチセレクターで［**ホワイトバランス**］の PRE［**プリセットマニュアル**］を選び、Ⓚボタンを押す



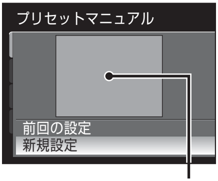
- レンズが光学ズームの中間位置になります。

3 ［**新規設定**］を選ぶ



- 前回プリセットしたホワイトバランスを使いたいときは、［**前回の設定**］を選んでⓀボタンを押してください。ホワイトバランスが前回のプリセット値に設定されます。

4 測定窓に、用意した白またはグレーの被写体を収める



測定窓

5 Ⓚボタンを押して、ホワイトバランス値を測定する

- シャッターがきれて、ホワイトバランスのプリセット値が新たに設定されます（画像は記録されません）。

✔ プリセットマニュアルについてのご注意

フラッシュ発光時のホワイトバランス値は測定できません。フラッシュ撮影時は、［**ホワイトバランス**］を［**オート**］または［**フラッシュ**］に設定してください。

ISO ISO感度設定

P、S、A、Mに設定 ➔ MENU ➔ P、S、A、M（撮影メニュー）（□74）➔ ISO感度設定

フィルムカメラで使うフィルムのISO感度に相当する数値を設定します。ISO感度を高くすると、暗い場所や動いている被写体の撮影に効果的ですが、撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

ISO感度設定

- ［**オート**］（初期設定）：明るい場所では ISO 160 になり、暗い場所では自動的に ISO 800 まで ISO 感度が高くなります。
- ［**高感度オート**］：被写体の明るさに応じて、ISO 160 から ISO 1600 までの範囲で ISO 感度が自動的に設定されます。
- ［**感度制限オート**］：カメラが自動的に ISO 感度を変更するときの範囲を［**ISO 160-200**］（初期設定）、［**ISO 160-400**］から選べます。選んだ範囲の上限値以上に ISO 感度は上がりません。ISO 感度の上限値を設定することで、画像のざらつきを抑える効果があります。
- ［**160**］、［**200**］、［**400**］、［**800**］、［**1600**］、［**3200**］：ISO 感度を選んだ値に固定します。

低速限界設定

撮影モードが**P**または**A**のときに［**ISO感度設定**］を［**オート**］、［**高感度オート**］、［**感度制限オート**］に設定した場合、ISO感度の自動制御が働き始めるシャッタースピード（1/125～1秒）を設定します。初期設定は［**OFF**］です。ここで設定したシャッタースピードでは露出不足となる場合、適正露出を得るためにISO感度を自動的に高くします。ISO感度が上がっても露出不足となる場合は、シャッタースピードが遅くなります。

ISO感度の設定は、撮影時の画面で確認できます（□8）。
- ［**オート**］に設定した場合、ISO 160　で撮影できるときは何も表示されず、ISO感度が自動的に上がったときにISOマークが表示されます（□36）。
- ［**高感度オート**］に設定したときはHI ISOマークが表示され、［**感度制限オート**］に設定したときはA ISOマークとISO感度の上限値が表示されます。

ISO感度設定についてのご注意

- **M**（マニュアル露出）モードのときに［**オート**］、［**高感度オート**］、［**感度制限オート**］に設定すると、ISO感度はISO 160に固定されます。
- シャッタースピードは、ISO 800のときは最長4秒、ISO 1600のときは最長2秒、ISO 3200のときは最長1秒に制限されます。
- この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□96）

いろいろな撮影

測光方式

P、S、A、Mに設定 ➔ MENU ➔ P、S、A、M（撮影メニュー）（74）➔ 測光方式

露出を合わせるため、被写体の明るさを測ることを「測光」といいます。
カメラが 測光する方式を設定します。

マルチパターン（初期設定）	
	さまざまな撮影状況で適正な露出が得られるマルチパターン測光になります。通常の撮影では、マルチパターン測光をおすすめします。
中央部重点	
	画面に表示されている中央部重点測光範囲に重点を置いて測光します。ポートレート撮影など、重点的に画面中央部に露出を合わせたいときなどに使います。露出を合わせたい部分が画面中央部にないときは、フォーカスロック（31）をお使いください。
スポット	
	画面中央部に表示されているスポット測光範囲で測光します。被写体と背景の明るさが著しく異なるときなどに使います。被写体がスポット測光範囲に入るように撮影してください。露出を合わせたい部分が画面中央部にないときは、フォーカスロック（31）をお使いください。
AFスポット	
	選択されているAFエリアを測光し、露出値を決定します。［**AFエリア選択**］（90）が［**中央**］以外のときに設定できます。

測光方式についてのご注意

- 電子ズームが1.2 ～ 1.8 倍のときは、［**測光方式**］は［**中央部重点**］になります。電子ズームが2.0 ～ 4.0倍のときは、［**スポット**］になります。ただし、電子ズームのときは、測光範囲は表示されません。
- この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（96）

測光方式表示について

［**測光方式**］を［**中央部重点**］または［**スポット**］に設定すると、測光範囲が液晶モニターに表示されます（8）。

連写

P、S、A、Mに設定 ➔ MENU ➔ P、S、A、M（撮影メニュー）（□74）➔ 連写

連写（連続撮影）やBSS（ベストショットセレクター）などを設定できます。

S 単写（初期設定）

1コマずつ撮影します。

連写 H

シャッターボタンを全押ししている間、約10コマ/秒で連写できます（画質が［**NORMAL**］、画像サイズが［**3648×2736**］のとき）。シャッターボタンから指をはなすか、6コマ連写すると、撮影を終了します。

連写 L

シャッターボタンを全押ししている間、最大約2.8コマ/秒で最大200コマまで連写できます（画質が［**NORMAL**］、画像サイズが ［**3648×2736**］のとき）。

- ［**ゆがみ補正**］（□94）を［**ON**］にすると、連写速度は遅くなります。

BSS BSS（ベストショットセレクター）

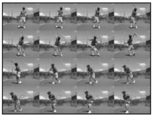
暗い場所でフラッシュを使わずに撮影するときや、望遠側で撮影するときなど、手ブレしやすい状況で撮影する場合に設定します。

シャッターボタンを全押ししている間、連写を続け（最大10コマ）、撮影した画像の中から最も鮮明に撮れている1コマをカメラが自動的に選んで記録します。

マルチ連写

シャッターボタンを1回全押しすると約30コマ/秒で16コマの連続写真を撮影し、1コマの画像として記録します。

- 記録される画質は［**NORMAL**］、画像サイズは （2560 × 1920 ピクセル）に固定されます。
- 電子ズームは使えません。



インターバル撮影

あらかじめ設定した撮影間隔（インターバル）で、静止画を自動的に連続撮影します（□87）。

連写の設定は、撮影時の画面で確認できます（□8）。［**単写**］のときは、何も表示されません。

いろいろな撮影

連写についてのご注意

- ［**連写 H**］、［**連写 L**］、［**BSS**］または［**マルチ連写**］で撮影するときは、フラッシュは使えません。ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマと同じ条件に固定されます。
- 画質や画像サイズ、SD カードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□96）
- ［**連写 H**］、［**連写 L**］または［**BSS**］に設定して、シャッターボタンを全押ししていても、内蔵フラッシュをポップアップまたは収納すると、撮影が中止されますのでご注意ください。

BSSについてのご注意

［**BSS**］は静止している被写体の撮影に効果的です。動いている被写体の撮影や、構図を変えながらの撮影では、望ましい結果が得られない場合があります。

マルチ連写についてのご注意

蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で明滅する照明下では、画像に横帯が発生したり、画像の明るさや色合いにばらつきが発生することがあります。

シャッタースピードについてのご注意

［**連写**］の設定を［**マルチ連写**］にすると、シャッタースピードが最長1/30 秒に制限されます。

［連写 H］または［連写 L］で撮影した画像について

［**連写 H**］または［**連写 L**］で撮影した画像は、撮影ごとに「連写グループ」として保存されます（□102）。

インターバル撮影を使った撮影方法

撮影間隔（インターバル）を決めて、静止画を自動的に連続撮影します。
撮影間隔は、［**30 秒**］、［**1 分**］、［**5 分**］または［**10 分**］に設定できます。

1 撮影メニューを表示し（□74）、マルチセレクターで［**連写**］設定の［**インターバル撮影**］を選び、OKボタンを押す



2 撮影間隔を選び、Ⓚボタンを押す

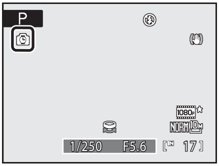


- インターバル撮影できる最大コマ数は、撮影間隔によって異なります。
  - ［**30 秒**］：600コマ
  - ［**1 分**］：300コマ
  - ［**5 分**］：60コマ
  - ［**10 分**］：30コマ

3 MENU ボタンを押す

- 撮影画面に戻ります。

4 シャッターボタンを全押しして、1コマ目の撮影を開始する



- 撮影の合間は、液晶モニターが消灯し、電源ランプが点滅します。
- 次のコマの撮影直前になると、自動的に液晶モニターが再点灯します。

5 もう一度シャッターボタンを全押しして、撮影を終了する

- 内蔵メモリー /SDカードの残量がなくなったとき、または撮影コマ数が上限に達すると、撮影が自動的に終了します。

インターバル撮影についてのご注意

- 途中で電源が切れないように、充分に残量のあるバッテリーをお使いください。
- 別売のACアダプター EH-62Aを使うと、家庭用コンセント（AC 100 V）からこのカメラへ電源を供給できます。EH-62A以外のACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。
- インターバル撮影中は、モードダイヤルを回さないでください。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□181

BKT　ブラケティング

P、S、Aに設定 ➔ MENU ➔ P、S、A（撮影メニュー）（□74）
➔ ブラケティング

露出を少しずつずらした連続撮影をカメラが自動的に行います。露出補正（□41）を行うのが難しいときに使用すると便利です。

±0.3	±0.3
	0、+0.3、−0.3 の順で自動的に露出をずらしながら、3コマの画像を撮影します。シャッターボタンを全押しすると、3コマを連続して撮影します。
±0.7	±0.7
	0、+0.7、−0.7 の順で自動的に露出をずらしながら、3コマの画像を撮影します。シャッターボタンを全押しすると、3コマを連続して撮影します。
±1.0	±1.0
	0、+1.0、−1.0 の順で自動的に露出をずらしながら、3コマの画像を撮影します。シャッターボタンを全押しすると、3コマを連続して撮影します。
OFF	OFF（初期設定）
	ブラケティングを行いません。

ブラケティングの設定は、撮影時の画面で確認できます（□8）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

ブラケティングについてのご注意

- **M**（マニュアル露出）モードの場合、［**ブラケティング**］は使えません。
- 露出補正（□41）と［**ブラケティング**］の［±**0.3**］、［±**0.7**］、［±**1.0**］のいずれかを同時に設定すると、補正量を加算します。
- この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□96）

関連ページ

連写で撮影した画像の再生（連写グループについて）→□102

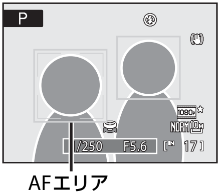
[+] AFエリア選択

P、S、A、Mに設定 ➔ MENU ➔ **P、S、A、M**（撮影メニュー）（□74）➔ AFエリア選択

オートフォーカスでピント合わせをするエリアの決め方を設定します。
電子ズーム使用時は、［**AFエリア選択**］の設定にかかわらず、画面中央でピント合わせを行います。

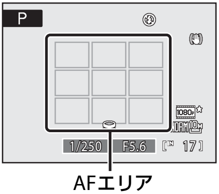
顔認識オート

カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について→□91）。複数の顔を認識したときは、最もカメラに近い顔にピントが合います。
人物以外の撮影や顔を認識できない構図では、AFエリア選択が［**オート**］になり、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。



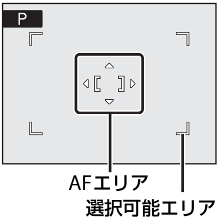
オート（初期設定）

9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。
シャッターボタンを半押しするまで、AFエリアは表示されません。
半押しすると、ピントが合ったAFエリアが画面に表示されます（最大9カ所）。



マニュアル

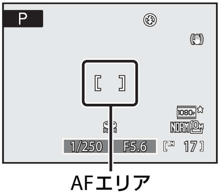
画面内の99カ所から、ピントを合わせたいエリアを自分で選びます。
比較的動きの少ない被写体が画面中央にない場合に適しています。マルチセレクターの▲▼◀▶を押して、画面に表示されているAFエリアを、ピントを合わせたい位置に動かしてから撮影します。
フラッシュモードやフォーカスモード、セルフタイマー、露出補正の設定を変更するには、Ⓚボタンを押していったんAFエリアが選べる状態を解除し、それぞれの設定を行います。もう一度Ⓚボタンを押すと、再びAFエリアを選べる状態になります。



- ［**画像サイズ**］（□76）が ［**2736 × 2736**］のときは、選べる AF エリアの位置は 81 カ所になります。

[▪] 中央

画面中央の被写体にピントが合います。
AFエリアが画面中央に常に表示されます。



関連ページ

- オートフォーカスが苦手な被写体→31
- 同時に設定できない機能→96

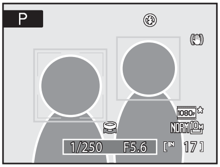
顔認識撮影について

人物の顔にカメラを向けると自動的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。以下の場合は、顔認識機能が働きます。

- AFエリア選択が［**顔認識オート**］のとき（90）
- シーンモードが［**ポートレート**］（46）または［**夜景ポートレート**］（47）のとき
- おまかせシーンモードのとき（43）
- ベストフェイスモードのとき（55）

1 構図を決める

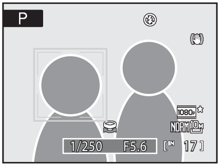
- カメラが人物の顔を認識すると、顔が黄色い二重枠のAFエリア表示で囲まれます。



- 複数の顔を認識したときは、撮影モードによって以下のように動作が変わります。

撮影モード	二重枠で囲まれる顔	認識する顔の数
P、**S**、**A**、**M**、**U**モード（［**顔認識オート**］）	カメラに最も近い顔 ※他の顔は一重枠	最大12人
シーンモードの［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］		
おまかせシーンモード		
ベストフェイスモード	画面中央に最も近い顔 ※他の顔は一重枠	最大3人

2 シャッターボタンを半押しする



- 二重枠で囲まれた顔にピントが合います。二重枠が緑色になりピントが固定されます。
- 二重枠が点滅しているときは、顔にピントが合っていません。もう一度シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせてください。
- シャッターボタンを全押しすると、シャッターがきれます。
- ベストフェイスモードの［**笑顔自動シャッター**］では、シャッターボタンを押さなくても、カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出すると、自動的にシャッターがきれます（□57）。

顔認識についてのご注意

- ［**顔認識オート**］では、顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、AFエリア選択は、［**オート**］になります。
- シーンモードの［**ポートレート**］または［**夜景ポートレート**］と、ベストフェイスモードでは、顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央にピントが合います。
- 顔の向きなど撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。また、以下のような場合は、顔を認識できません。
  - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
  - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている
- 複数の人物がいた場合、どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどによっても異なります。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（□31）の撮影では、二重枠が緑色になっていても、まれにピントが合わないことがあります。ピントが合わないときは、オート撮影モードにするか、撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**、**U**でAFエリア選択を［**マニュアル**］か［**中央**］に切り換え、同距離にある別の被写体でピントを合わせるフォーカスロック撮影（□31）をお試しください。
- 顔認識して撮影した画像は、1コマおよびサムネイル表示で再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます（［**連写**］（□86）または［**ブラケティング**］（□89）を設定して撮影した画像を除く）。

AFモード（オートフォーカスモード）

P、S、A、Mに設定 ➔ MENU ➔ **P、S、A、M**（撮影メニュー）（□74）➔ AFモード

ピントの合わせ方を設定します。

シングルAF（初期設定）

シャッターボタンを半押ししたときだけピントを合わせます。

常時AF

シャッターボタンを半押しするまで、常にピント合わせを繰り返します。動きのある被写体の撮影に適しています。常にピントを合わせる動作音がします。

AFモードについてのご注意

この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□96）

ターゲット追尾モードのAFモードについて

ターゲット追尾モードでも［**AFモード**］を設定できます（□61）。ターゲット追尾モードの初期設定は、［**常時AF**］です。ターゲット追尾モードの［**AFモード**］設定は、撮影モード**P、S、A、M**の［**AFモード**］とは連動せずに独立して記憶されます。

調光補正

P、S、A、Mに設定 ➔ MENU ➔ **P、S、A、M**（撮影メニュー）（□74）➔ 調光補正

背景に対する被写体の明るさを調整したいときなどに、フラッシュの発光量を補正できます。

－0.3～－2.0

－0.3～－2.0 EVまで、1/3段ごとにフラッシュの発光量が少なくなります。被写体に光が強く当たりすぎないよう発光量を少なくします。

0.0（初期設定）

調光補正を行いません。

+0.3～+2.0

0.3～2.0 EVまで、1/3段ごとにフラッシュの発光量が多くなります。構図の中心となる被写体をより明るく照らすように発光量を多くします。

調光補正の設定は、撮影時の画面で確認できます（□9）。［**0.0**］のときは、何も表示されません。

NR ノイズ低減

P、S、A、Mに設定 ➔ MENU ➔ **P、S、A、M**（撮影メニュー）（□74）➔ ノイズ低減

暗いところなどで撮影する場合、シャッタースピードが遅くなると、画像にノイズが入る場合があります。このノイズを低減する設定を行います。ノイズ低減処理が行われると、撮影開始から内蔵メモリー/SDカードへ画像が記録されるまでの時間が、通常より長くかかります。

AUTO	AUTO（初期設定）
	ノイズが発生するような遅いシャッタースピードになると、ノイズ低減を行います。
NR	ON
	1/4秒以上の低速シャッタースピードのときに必ずノイズ低減を行います。低速シャッタースピードで撮影するときは、［**ON**］にすることをおすすめします。

ノイズ低減が行われるときは、撮影時の画面でNRのマークが点灯します（□9）。

ノイズ低減についてのご注意

この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□96）

ゆがみ補正

P、S、A、Mに設定 ➔ MENU ➔ **P、S、A、M**（撮影メニュー）（□74）➔ ゆがみ補正

レンズの特性によって画像周辺部に生じるゆがみの補正を設定します。ゆがみを補正すると、ゆがみを補正しない場合に比べて、撮影範囲が狭くなります。

	ON
	ゆがみを補正します。
OFF	OFF（初期設定）
	ゆがみを補正しません。

ゆがみ補正の設定は、撮影時の画面で確認できます（□8）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

ゆがみ補正についてのご注意

この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□96）

Active D-ライティング（アクティブD-ライティング）

P、S、A、Mに設定 ➔ MENU ➔ P、S、A、M（撮影メニュー）（□74） ➔ Active D-ライティング

撮影の前にあらかじめ「アクティブ D-ライティング」を設定しておくと、ハイライトの白とびを抑え、暗部の黒つぶれを軽減する効果があります。撮影した画像は、見た目のコントラストに近い仕上がりになります。暗い室内から外の風景を撮ったり、直射日光の強い海辺など明暗差の激しい景色を撮影するときに効果的です。

強め、標準、弱め

撮影時に処理するアクティブD-ライティングの効果の度合いを設定します。

OFF（初期設定）

アクティブD-ライティング処理をしません。

アクティブD-ライティングの設定は、撮影時の画面で確認できます（□8）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

アクティブ D-ライティングについてのご注意

- アクティブ D-ライティングで撮影する場合は、記録に時間がかかります。
- アクティブ D-ライティングを設定した場合、設定しないで撮影した場合よりも露出をアンダー側に制御して撮影します。階調が適切な明るさになるように、ハイライト部やシャドー部および中間調を調整します。
- この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□96）

［Active D-ライティング］と［D-ライティング］の違い

［**Active D-ライティング**］は、撮影前に階調が適切に調整できるようにアンダー側に露出を制御して撮影します。一方、再生メニューの［**D-ライティング**］（□121）は、撮影した画像に対して階調を適切に再調整します。

同時に設定できない機能

撮影メニューには、他の機能と組み合わせて使えない設定があります。

制限される機能	設定	内容
フラッシュモード	フォーカスモード（🕮38）	▲（遠景AF）にして撮影するときは、フラッシュは使えません。
	連写（🕮86）	［**連写 H**］、［**連写 L**］、［**BSS**］、［**マルチ連写**］にして撮影するときは、フラッシュは使えません。
	ブラケティング（🕮89）	フラッシュは使えません。
画質/画像サイズ	連写（🕮86）	［**マルチ連写**］にして撮影するときは、［**画質**］は［**NORMAL**］、［**画像サイズ**］は5M（2560 × 1920ピクセル）に固定されます。
仕上がり設定	Active D-ライティング（🕮95）	［**Active D-ライティング**］を使って撮影するときは、［**仕上がり設定**］の［**カスタマイズ**］および、［**白黒**］の［**カスタマイズ**］の［**コントラスト**］は［**オート**］に固定されます。
ホワイトバランス	仕上がり設定（🕮79）	［**仕上がり設定**］を［**白黒**］にして撮影するときは、［**ホワイトバランス**］は［**オート**］に固定されます。
ISO感度設定	連写（🕮86）	• ［**マルチ連写**］で撮影するときは、撮影モードが **P**、**S**、**A** の場合、［**ISO 感度設定**］は明るさに応じて自動的に設定されます。撮影モードが **M** の場合、ISO 感度は 160 に固定されます。 • ［**連写 L**］で撮影するときは、［**3200**］は選べません。［**ISO 感度設定**］が［**3200**］のときに［**連写 L**］にすると、［**1600**］に変更されます。
測光方式	AFエリア選択（🕮90）	［**測光方式**］が［**AFスポット**］のときに［**AFエリア選択**］を［**中央**］にすると、［**測光方式**］は［**マルチパターン**］に変更されます。
	Active D-ライティング（🕮95）	［**Active D-ライティング**］を［**OFF**］以外にすると、［**測光方式**］は［**マルチパターン**］にリセットされます。
連写/ブラケティング	連写（🕮86）/ブラケティング（🕮89）	［**連写**］と［**ブラケティング**］は同時に使えません。 連写の設定を［**単写**］以外にすると、［**ブラケティング**］は［**OFF**］にリセットされます。 ［**ブラケティング**］を［**OFF**］以外にすると、連写の設定は［**単写**］にリセットされます。
	セルフタイマー（🕮37）	［**連写 H**］、［**連写 L**］、［**BSS**］、［**マルチ連写**］、［**インターバル撮影**］または［**ブラケティング**］とセルフタイマーは同時に使えません。

制限される機能	設定	内容
連写/ブラケティング	仕上がり設定（□79）	［**仕上がり設定**］を［**白黒**］にして［**カラー同時記録**］するときは、［**連写 H**］、［**連写 L**］、［**BSS**］、［**マルチ連写**］と［**ブラケティング**］は使えません。 ［**カラー同時記録**］のチェックボックスをオンにすると、連写の設定は［**単写**］、［**ブラケティング**］は［**OFF**］にリセットされます。［**インターバル撮影**］で白黒とカラーの同時記録をするときは、［**カラー同時記録**］をオンにしてから、［**インターバル撮影**］の設定をしてください。
	ノイズ低減（□94）	［**ノイズ低減**］を［**ON**］にして撮影するときは、［**連写 H**］、［**マルチ連写**］は使えません。
	ゆがみ補正（□94）	［**ゆがみ補正**］を［**ON**］にすると［**マルチ連写**］、［**インターバル撮影**］はできません。
AFエリア選択	電子ズーム（□164）	電子ズーム作動中はAFエリアが［**中央**］に固定されます。
	フォーカスモード（□38）	フォーカスモードを▲（遠景AF）にして撮影するときは、［**AFエリア選択**］の設定にかかわらず、遠景にピントが合います。
ノイズ低減	連写（□86）/ブラケティング（□89）/ゆがみ補正（□94）	• ［**連写 H**］または［**マルチ連写**］で撮影するときは、ノイズ低減機能は動作しません。 • ［**連写 L**］、［**BSS**］または［**ブラケティング**］で撮影するときに［**ゆがみ補正**］を［**ON**］にすると、ノイズ低減機能は動作しません。
ゆがみ補正	連写（□86）	［**マルチ連写**］、［**インターバル撮影**］で撮影するときは、ゆがみ補正が使えません。
アクティブ D-ライティング	ISO感度設定（□84）	［**ISO感度設定**］が［**高感度オート**］または［**1600**］以上のときは、［**Active D-ライティング**］は使えません。 ［**高感度オート**］または［**1600**］以上にすると、［**Active D-ライティング**］は［**OFF**］にリセットされます。
デート写し込み	連写（□86）	［**連写 H**］、［**連写 L**］、［**BSS**］にして撮影するときは、日付を写し込めません。
	ブラケティング（□89）	日付を写し込めません。
目つぶり検出設定	連写（□86）/ブラケティング（□89）	目つぶり検出しません。
電子ズーム	連写（□86）	［**マルチ連写**］にして撮影するときは、電子ズームは使えません。

関連ページ

電子ズームについてのご注意→□164

U（ユーザーセッティング）モードを使う

撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**でよく使う設定の組み合わせをモードダイヤルの**U**に登録できます。モードダイヤルを**U**に合わせると、登録した設定の組み合わせで撮影できます。

Uには、以下の設定内容を登録できます。

基本設定

撮影モード**P**/**S**/**A**/**M**（□66）※1	モニター表示（□14、15）	ズーム位置（□29）
フラッシュモード（□34）	フォーカスモード（□38）※2	露出補正（□41）

撮影メニュー

画質（□75）	画像サイズ（□76）	仕上がり設定（□79）
WB ホワイトバランス（□82）※3	ISO ISO感度設定（□84）	測光方式（□85）
連写（□86）	BKT ブラケティング（□89）	AFエリア選択（□90）※4
AFモード（□93）	調光補正（□93）	NR ノイズ低減（□94）
ゆがみ補正（□94）	Active D-ライティング（□95）	

※1 登録時のプログラムシフトの設定（**P**のとき）、シャッタースピード（**S**、**M**のとき）、絞り値（**A**、**M**のとき）も記憶します。

※2 フォーカスモードが MF（マニュアルフォーカス）のときは、登録時のフォーカスの距離も記憶します。

※3 プリセットマニュアルのプリセット値は、撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**、**U**で共通です。

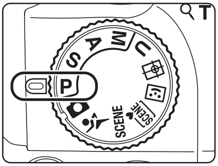
※4 AFエリア選択が［**マニュアル**］のときは、登録時のAFエリアの位置も記憶します。

時計用電池のご注意

内蔵の時計用電池（□156）が切れると、**U**に登録した設定内容がリセットされますのでご注意ください。重要な設定は、必要に応じてメモしておくことをおすすめします。

Uに設定内容を登録する

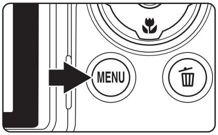
1 登録したい露出モードにモードダイヤルを合わせる



- **P**、**S**、**A**または**M**に合わせてください。
- **U**に合わせても登録できます（ご購入時は、撮影モード**P**の初期設定が登録されています）。

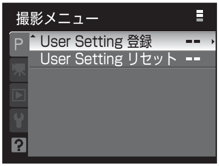
2 撮影時の設定をよく使う組み合わせに変更する

3 MENUボタンを押す



- 撮影メニューが表示されます。
- 撮影メニューが表示されないときは、**P**、**S**、**A**、**M**、**U**タブに切り換えます（□13）。

4 マルチセレクターで［**User Setting 登録**］を選んで、OKボタンを押す



- ［**登録終了**］画面が表示され、現在の設定内容が登録されます。

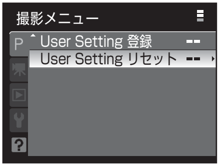
U（ユーザーセッティング）モードで撮影する

- モードダイヤルを**U**に合わせると、登録した設定内容で撮影ができます。
- 設定内容を変更できます。また、変更した内容を再登録することもできます。

登録した設定内容をリセットする

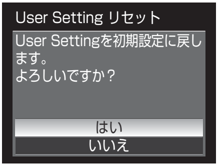
リセットすると、登録された設定内容は、撮影モード**P**の初期設定に戻ります。

1 撮影メニュー画面で［**User Setting リセット**］を選んで、Ⓚボタンを押す



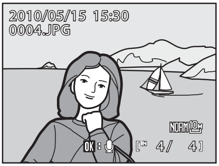
2 ［**はい**］を選んで、Ⓚボタンを押す

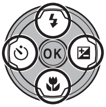
- 登録された設定内容がリセットされます。



1コマ表示中の操作方法

撮影モードのときに▶（再生）ボタンを押すと再生モードになり、撮影した画像を再生します（📖32）。1コマ表示では、以下の操作ができます。



機能	ボタン	内容	📖
画像を選ぶ		▲▼◀ ▶で前後の画像を表示します。▲▼◀ ▶を押し続けると早送りします。コマンドダイヤルを回しても画像を選べます。	12
サムネイル表示/カレンダー表示にする	W（⊞）	4コマ、9コマ、または16コマのサムネイル画像を表示します。16コマ表示でW（⊞）方向に回すとカレンダー表示になります。	104
画像を拡大する	T（Q）	最大約10倍までの倍率に拡大します。 Ⓚボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。	106
情報を表示/非表示にする	DISP	液晶モニターに表示される画像情報、撮影情報の表示/非表示を切り換えます。	15
モニターを切り換える	⎮◻⎮	液晶モニターと電子ビューファインダーのどちらで再生するかを切り換えます。	14
音声メモを録音/再生する	Ⓚ	最大20秒の音声を録音/再生します。	117
連写グループを連続再生する		連写グループの代表画像を表示中は、画像を連続再生します。	102
動画を再生する		表示中の動画を再生します。	137
画像を削除する	🗑	表示中の画像を削除します。連写グループ表示で押すと、連写グループの画像をまとめて削除できます。	32、103
メニューを表示する	MENU	再生メニューを表示します。	107
撮影モードに切り換える	▶ 	▶ボタンまたはシャッターボタンを押すと、モードダイヤルで選んでいるモードになります。●（動画撮影）ボタンを押しても、撮影モードに切り換わります。	32

✎ 画像の再生について

顔認識して撮影した画像（📖91）は、1コマ表示で再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます（［**連写**］（📖86）または［**ブラケティング**］（📖89）を設定して撮影した画像を除く）。

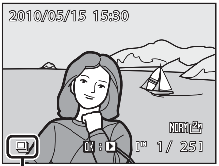
連写で撮影した画像の再生（連写グループについて）

以下の連写で撮影した画像は、撮影ごとに「連写グループ」として保存されます。

- ［**連写**］（□86）の［**連写 H**］、［**連写 L**］
- ［**ブラケティング**］（□89）
- スポーツ連写モード（□62）

再生モードの1コマ表示やサムネイル表示（□104）では、連写グループの1コマ目の画像が代表画像として表示されます。

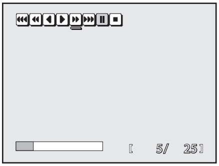
- 連写グループの画像には、モニター情報ON時（□15）に▣が表示されます。



連写グループ表示

連写グループの画像を連続再生する（連写グループ再生）

代表画像の1コマ表示中にⓀボタンを押すと、連写グループ内の画像を連続再生できます。再生中は、画面上部に操作パネルが表示されます。マルチセレクターの◀ ▶またはコマンドダイヤルで操作パネルのアイコンを選び、Ⓚボタンを押すと以下の操作ができます。



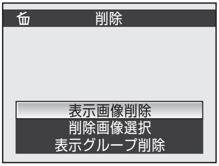
<table>
<tr><th>機能</th><th>アイコン</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td>巻き戻し</td><td>⏪/◀◀/◀</td><td colspan="2">◀→◀◀→⏪の順に巻き戻しの速度が早くなります。</td></tr>
<tr><td>早送り</td><td>▶/▶▶/⏩</td><td colspan="2">▶→▶▶→⏩の順に早送りの速度が早くなります。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">一時停止</td><td rowspan="6">⏸</td><td colspan="2">一時停止中に画面上部の操作パネルのアイコンで、以下の操作ができます。</td></tr>
<tr><td>◀II</td><td>1コマ戻ります。</td></tr>
<tr><td>II▶</td><td>1コマ進みます。</td></tr>
<tr><td>▶/▶▶/⏩</td><td>再生を再開します。</td></tr>
<tr><td>⏮</td><td>グループの先頭の画像を表示します。</td></tr>
<tr><td>⏭</td><td>グループの最後の画像を表示します。</td></tr>
<tr><td>再生終了</td><td>■</td><td colspan="2">1コマ表示に戻ります。</td></tr>
</table>

連写グループ内の画像を拡大表示する

一時停止中にズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、拡大表示ができます（□106）。

連写グループの画像を削除する

- 代表画像表示中に🗑ボタンを押すと、表示中の連写グループの画像をすべて削除できます。
- 連写グループ再生の一時停止中に🗑ボタンを押すと、削除方法を選べます。



  - [**表示画像削除**]：表示中の1コマを削除します（□32）。
  - [**削除画像選択**]：画像を選んで削除します（□111）。
  - [**表示グループ削除**]：再生中の連写グループの画像をすべて削除します。
  - 削除をやめるときは、MENUボタンを押します。

連写グループについてのご注意

COOLPIX P100以外で連写した画像は、連写グループとして表示できません。

連写グループで使える再生メニュー

代表画像表示中にMENUボタンを押すと、連写グループの画像を対象に以下のメニュー操作ができます。

- プリント指定 →□108
- スライドショー →□110
- 削除 →□111
- プロテクト設定 →□113
- 非表示設定 →□114
- 画像コピー →□115
- 連写グループ表示方法 →□116
- 連写の代表画像選択 →□116

また、連写グループ再生の一時停止中にMENUボタンを押すと、画像ごとに設定の変更や画像の編集ができます。

連写グループの画像を1コマずつ表示する

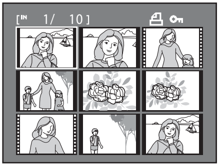
連写グループを代表画像ではなく、1コマずつ展開して表示できます。1コマずつ表示しているときは、画像ごとに編集（□118）や、音声メモ（□117）の録音などができます。1コマずつ表示するには、再生メニューの［**連写グループ表示方法**］（□116）を［**1枚ずつ**］に変更します。

連写グループの代表画像を変更する

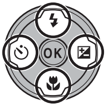
代表画像は、再生メニューの［**連写の代表画像選択**］（□116）で変更できます。

複数の画像を一覧表示する（サムネイル表示）

再生モードの1コマ表示（📖32、101）でズームレバーを**W**（▦）方向に回すと、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。

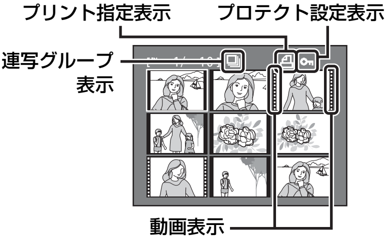


サムネイル表示では、以下の操作ができます。

機能	ボタン	内容	📖
画像を選ぶ		マルチセレクターの▲▼◀ ▶を押します。	12
		コマンドダイヤルを回します。	11
表示コマ数を増やす/カレンダーを表示する	**W**（▦）	ズームレバーを**W**（▦）方向に回すと、4コマ→9コマ→16コマ→カレンダー表示に切り換わります。 「カレンダー表示」にすると、撮影日単位で画像の選択を移動できます（📖105）。 **T**（Q）方向に回すと、サムネイル表示に戻ります。	–
表示コマ数を減らす	**T**（Q）	ズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、16コマ→9コマ→4コマに切り換わります。 4コマ表示で**T**（Q）方向に回すと、1コマ表示に戻ります。	
1コマ表示に戻る	ⓚ	ⓚボタンを押します。	32、101
撮影モードに切り換える	▶ 	▶ボタンまたはシャッターボタンを押すと、モードダイヤルで選んでいるモードになります。●（動画撮影）ボタンを押しても、撮影モードに切り換わります。	32

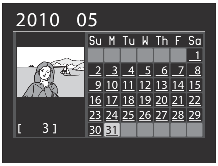
サムネイルに表示されるマーク

［**プリント指定**］（□108）や［**プロテクト設定**］（□113）をした画像の選択中は右のマークが表示されます。
連写グループ（□102）の画像を選択中は右のマークが表示されます。
動画は、映画フィルムの 1 コマのように表示されます。

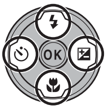


カレンダー表示

再生モードのサムネイル表示を16コマ表示にした後（□104）、さらにズームレバーを**W**（▦）方向に回すと「カレンダー表示」になります。
撮影日単位で画像の選択を移動できます。撮影画像のある日付には、黄色の下線が表示されます。



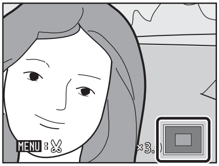
カレンダー表示では、以下の操作ができます。

機能	ボタン	内容	□
日付を選ぶ		マルチセレクターの▲▼◀ ▶を押します。	12
		コマンドダイヤルを回します。	11
1コマ表示に戻る	ⓀOK	選んだ日の最初に撮影した画像の1コマ表示に移動します。	32、101
サムネイル表示に戻る	**T**（Q）	ズームレバーを**T**（Q）方向に回します。	–

カレンダー表示についてのご注意

- 日時を設定せずに撮影した画像は、カレンダー表示で「2010年1月1日」の画像として扱われます。
- カレンダー表示中は、MENUボタンおよび🗑ボタンは使えません。

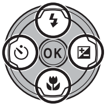
画像を拡大表示する



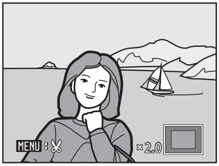
再生モードの1コマ表示（□32）でズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、表示中の画像の中央部が拡大表示されます。

- 画面右下のガイドは、画像のどの部分を表示しているかを示しています。

拡大表示では、以下の操作ができます。

機能	ボタン	内容	□
拡大倍率を上げる	**T**（Q）	ズームレバーを**T**（Q）方向に回します。約10倍まで拡大できます。コマンドダイヤルを右に回しても拡大倍率が上がります。	–
拡大倍率を下げる	**W**（▦）	ズームレバーを**W**（▦）方向に回します。倍率が1倍になると、1コマ表示に戻ります。コマンドダイヤルを左に回しても拡大倍率が下がります。	–
表示範囲を移動する		マルチセレクターの▲▼◀▶を押して、表示範囲を移動します。	12
1コマ表示に戻る	Ⓚ	Ⓚボタンを押します。	32、101
画像の一部を切り抜く（トリミング）	MENU	拡大表示した部分だけを別画像として保存します。	126
撮影モードに切り換える	▶ 	▶ボタンまたはシャッターボタンを押すと、モードダイヤルで選んでいるモードになります。●（動画撮影）ボタンを押しても、撮影モードに切り換わります。	32

顔認識して撮影した画像の場合



顔認識（□91）して撮影した画像は、1コマ表示でズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示されます（［**連写**］（□86）または［**ブラケティング**］（□89）を設定して撮影した画像を除く）。

- 複数の顔を認識していたときは、ピント合わせを行った顔を中心に拡大表示され、マルチセレクターの▲▼◀▶を押すと表示する顔が切り換わります。
- さらに**T**（Q）方向または**W**（▦）方向に回すと拡大率が変わり、通常の拡大表示になります。

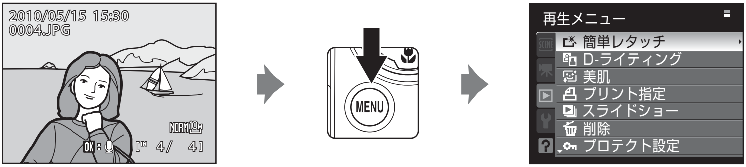
再生メニューを使う

再生メニューでは、以下の機能が使えます。

	簡単レタッチ	🕮120
	コントラストと色の鮮やかさを高めた画像を簡単に作成します。	
	D-ライティング	🕮121
	撮影した画像の暗い部分を明るく補正します。	
	美肌	🕮122
	人物の顔の肌をなめらかにします。	
	プリント指定	🕮108
	プリンターでプリントする画像や、その枚数などを設定します。	
	スライドショー	🕮110
	内蔵メモリー /SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。	
	削除	🕮111
	画像を削除します。複数の画像をまとめて削除できます。	
	プロテクト設定	🕮113
	大切な画像を誤って削除しないように、プロテクト（保護）します。	
	画像回転	🕮114
	撮影した画像の向きを変更します。	
	非表示設定	🕮114
	撮影した画像をカメラで再生できないようにします。	
	スモールピクチャー	🕮124
	撮影した画像から、サイズの小さい画像を作成します。	
	画像コピー	🕮115
	内蔵メモリーとSDカードの間で画像をコピーします。	
	黒フレーム	🕮125
	撮影した画像に黒い枠を付けた画像を新しく作ります。	
	連写グループ表示方法	🕮116
	連写した画像を1コマずつ表示するか、代表画像のみの表示に戻すかを設定します。	
	連写の代表画像選択	🕮116
	連写した一連の画像（連写グループ、🕮102）の代表画像を変更します。	

再生メニューの表示方法

MENUボタンを押して▶タブに切り替え、再生メニューを表示します（🕮13）。



- メニューの選択と設定にはマルチセレクターを使います（🕮12）。
- 再生メニューを終了するには、MENUボタンを押します。

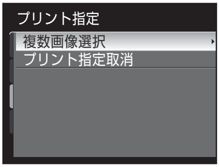
凸 プリント指定（プリントする画像や枚数の設定）

MENUボタンを押す ➔ ▶（再生メニュー）（□107）➔ 凸プリント指定

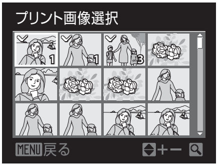
SDカードに記録した画像を以下の方法でプリントする場合、どの画像を何枚プリントするかを、あらかじめSDカードに設定できます。

- カードスロットが付いたDPOF対応（□198）のプリンターでプリントする。
- DPOF対応のプリントサービス店にプリントを依頼する。
- カメラを PictBridge 対応（□198）のプリンターに接続してプリントする（□146）（カメラからSDカードを取り外すと、内蔵メモリーに記録した画像にもプリント指定できます）。

1 ［複数画像選択］を選び、Ⓚボタンを押す



2 プリントする画像（最大99コマまで）と、それぞれのプリント枚数（各9枚まで）を設定する



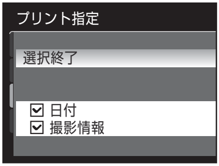
- マルチセレクターの◀▶を押して画像を選び、▲▼を押してプリント枚数を設定します。
- コマンドダイヤルを回しても画像を選べます。
- プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、その画像の選択を解除できます。
- ズームレバーを **T**（Q）方向に回すと1コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと12コマ表示に切り換わります。
- 設定が終了したらⓀボタンを押します。

関連ページ

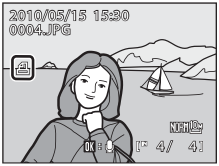
画像サイズ1:1の画像をプリントするときのご注意→□78

3 日付と撮影情報を画像に入れてプリントするかどうかを設定する

- ［**日付**］を選んで Ⓚ ボタンを押すと、すべての画像に撮影日を印字します。
- ［**撮影情報**］を選んで Ⓚ ボタンを押すと、すべての画像に撮影情報（シャッタースピードと絞り値）を印字します。
- ［**選択終了**］を選んでⓀボタンを押し、設定を有効にします。



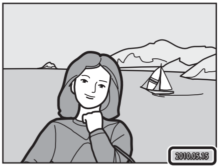
プリント指定を行った画像は、再生時の画面で確認できます。



日付と撮影情報を入れてプリントするときのご注意

プリント指定で設定した［**日付**］と［**撮影情報**］は、「日付」や「撮影情報」が印字可能なDPOF対応プリンター（□198）で印字できます。

- 付属のUSBケーブルでカメラをプリンターに接続して「DPOFプリント」（□151）するときは、「撮影情報」は印字できません。
- プリント指定を行った後、再び［**プリント指定**］を表示すると、［**日付**］と［**撮影情報**］の設定はリセットされますのでご注意ください。
- プリントされる日付は、撮影時点でカメラに設定されている日時です。撮影後にセットアップメニューの［**日時設定**］を変更してもプリントされる日付には反映されません。



プリント指定をすべて取り消すには

プリント指定の手順1（□108）で［**プリント指定取消**］を選んでⓀボタンを押すと、すべての画像に対するプリント指定を取り消しできます。

［デート写し込み］について

セットアップメニューの［**デート写し込み**］（□159）を使うと、撮影時に日時を画像に写し込んで記録できます。日付の印字に対応していないプリンターでも日付入りの画像をプリントできます。
デート写し込みした画像は、［**プリント指定**］で日付の印字を設定しても、デート写し込みした日付のみがプリントに表示されます。

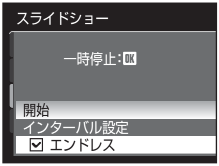
いろいろな再生

スライドショー

MENUボタンを押す ➔ ▶（再生メニュー）（□107）➔ スライドショー

内蔵メモリー /SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。

1 マルチセレクターで［**開始**］を選び、OK ボタンを押す



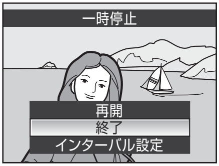
- 画像の表示時間を変更するには、［**開始**］を選ぶ前に［**インターバル設定**］を選んでOKボタンを押し、画像の表示時間を選びます。
- 繰り返し再生するには、［**開始**］を選ぶ前に［**エンドレス**］を選んでOKボタンを押し、チェックボックスをオン［✔］にします。

2 スライドショーが始まる



- 再生中にマルチセレクターの ▶ を押すと次の画像、◀を押すと前の画像を表示します（ボタンを押し続けると早送り/早戻しになります）。
- 再生中にOKボタンを押すと一時停止します。

3 終了または再開する



- スライドショー終了時や一時停止中に［**終了**］を選び、OK ボタンを押すと再生メニューに戻ります。［**再開**］を選ぶとスライドショーを再開します。

スライドショーについてのご注意

- 動画（□137）は1フレーム目だけを表示します。
- 代表画像のみで表示している連写グループ（□102）は、代表画像だけを表示します。
- スライドショーを連続再生できる時間は、［**エンドレス**］に設定している場合も含め、最大約30分です（□165）。

🗑 削除（複数画像の削除）

MENUボタンを押す ➔ ▶（再生メニュー）（📖107）➔ 🗑 削除

画像を削除します。複数の画像をまとめて削除できます。

削除画像選択
画像選択の画面で、画像を選んで削除します。→「画像選択画面の操作方法」（📖112） ・代表画像のみで表示している連写グループ（📖102）を選ぶと、表示中の連写グループの画像をすべて削除します。 ・連写グループ再生（📖102）の一時停止中に［**削除**］を選んだときは、連写グループ内の画像のみ選べます。

全画像削除
すべての画像を削除します。 ・連写グループ再生の一時停止中に［**削除**］を選んだときは、表示されません。

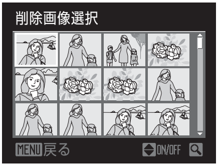
表示グループ削除
連写グループ再生の一時停止中に［**削除**］を選ぶと、表示されます。再生中の連写グループの画像をすべて削除します。

✔ 画像削除についてのご注意

- 削除した画像はもとに戻せないため、ご注意ください。残しておきたい画像はパソコンに転送して保存することをおすすめします。
- 🔑 マークが表示されている画像は、プロテクト（保護）されているので削除されません（📖113）。

画像選択画面の操作方法

以下のメニューでは、画像選択時に右のような画面が表示されます。



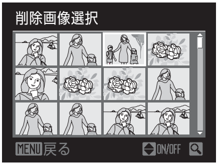
- **再生メニュー**：簡単レタッチ※(□120)、
  D-ライティング※(□121)、
  美肌※(□122)、
  プリント指定の[**複数画像選択**](□108)、
  削除の[**削除画像選択**](□111)、
  プロテクト設定(□113)、
  画像回転(□114)、
  非表示設定(□114)、
  スモールピクチャー※(□124)、
  画像コピーの[**選択画像コピー**](□115)、
  黒フレーム※(□125)、
  連写の代表画像選択(□116)
- **セットアップメニュー**：オープニング画面(□154)

※ 再生モード以外で再生メニューを表示したとき（□13）にメニュー項目を選ぶと表示されます。

以下の手順で画像を選びます。

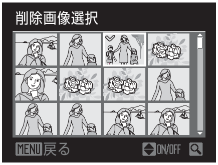
---

1 マルチセレクターの◀ ▶を押して、画像を選ぶ



- マルチセレクターの ◀ ▶ を押すかわりに、コマンドダイヤルを回しても画像を選べます。
- [**簡単レタッチ**]、[**D-ライティング**]、[**美肌**]、[**画像回転**]、[**スモールピクチャー**]、[**黒フレーム**]、[**連写の代表画像選択**] と [**オープニング画面**] の画像選択では、1画像しか選べません。→手順3へ
- ズームレバーを **T**（Q）方向に回すと1コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと12コマ表示に切り換わります。

2 ▲▼を押してON/OFF（またはプリント枚数）を設定する



- ON にすると、選択画像にチェックマークが表示されます。複数の画像に設定したいときは、手順1と2を繰り返します。

3 Ⓚボタンを押して画像選択を決定する

- ［**削除画像選択**］などでは、確認画面になります。画面の表示に従って操作してください。

プロテクト設定

MENUボタンを押す ➔ ▶（再生メニュー）（□107）➔ プロテクト設定

大切な画像を誤って削除しないように、画像にプロテクト（保護）を設定できます。
画像選択の画面で、画像を選んでプロテクトの設定または解除をします。→「画像選択画面の操作方法」（□112）
ただし、内蔵メモリー /SDカードを初期化（フォーマット、□166）すると、プロテクト設定した画像も削除されますので、ご注意ください。

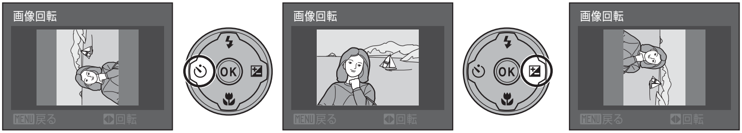
プロテクト設定した画像は、カメラでの再生時にマーク（□10、105）が表示されます。

画像回転

MENUボタンを押す ➔ ▶（再生メニュー）（📖107）➔ 画像回転

撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き（縦横位置）を設定します。静止画を時計方向に90度、または反時計方向に90度回転できます。
撮影時に縦位置で記録された画像は、時計回り/反時計回りのどちらか一方向に180度まで回転できます。

画像選択の画面で回転する画像を選ぶと（📖112）、画像回転の画面が表示されます。マルチセレクターの◀または▶を押すと90度回転します。



反時計方向に 90度回転

時計方向に 90度回転

OKボタンを押すと、表示している方向で決定し、画像に縦横位置情報が記録されます。

非表示設定

MENUボタンを押す ➔ ▶（再生メニュー）（📖107）➔ 非表示設定

撮影した画像をカメラで再生できないようにします。
画像選択の画面で、画像を選んで非表示の設定または解除をします。→「画像選択画面の操作方法」（📖112）
非表示設定した画像は［**削除**］では削除されません。ただし、内蔵メモリー/SDカードを初期化（フォーマット、📖166）すると、非表示設定した画像も削除されますので、ご注意ください。

画像コピー（内蔵メモリーとSDカード間のコピー）

MENUボタンを押す ➔ ▶（再生メニュー）（□107）➔ 画像コピー

内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。

1 マルチセレクターでコピーする方向を選び、OKボタンを押す



- IN➔SD：内蔵メモリーからSDカードへコピーします。
- SD➔IN：SDカードから内蔵メモリーへコピーします。

2 コピーの方法を選び、OKボタンを押す



- ［**選択画像コピー**］：画像選択の画面（□112）で、画像を選んでコピーします。代表画像のみで表示している連写グループ（□102）を選ぶと、表示中の連写グループの画像をすべてコピーします。連写グループ再生（□102）の一時停止中に［**画像コピー**］を選んだときは、連写グループ内の画像のみ選べます。
- ［**全画像コピー**］：すべての画像をコピーします。連写グループ再生の一時停止中に［**画像コピー**］を選んだときは、表示されません。
- ［**表示グループコピー**］：連写グループ再生の一時停止中に［**画像コピー**］を選ぶと、表示されます。再生中の連写グループの画像をすべてコピーします。

画像コピーについてのご注意

- コピーできるファイルの形式は、JPEG、MOV、WAVです。これ以外の形式のファイルはコピーできません。
- 画像コピーでは、画像に付けた「音声メモ」（□117）も画像と同時にコピーします。
- 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像のコピーは動作を保証していません。
- ［**プリント指定**］（□108）した画像をコピーしても、プリント指定の設定内容はコピーされません。［**プロテクト設定**］（□113）した画像をコピーすると、コピー先の画像もプロテクトされます。
- ［**非表示設定**］（□114）した画像はコピーできません。
- 連写グループ再生（□102）の一時停止中は、SD➔IN（SDカードから内蔵メモリー）方向のみ画像コピーできます。

［撮影画像がありません］のメッセージについて

SDカードに画像が記録されていないときに再生モードに切り換えると、［**撮影画像がありません**］と表示されますが、MENUボタンを押すと画像コピー画面が表示され、内蔵メモリー内の画像をSDカードにコピーできます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□181

連写グループ表示方法

MENUボタンを押す ➔ ▶（再生メニュー）（□107）➔ 連写グループ表示方法

連写した一連の画像（連写グループ、□102）を再生モードの1コマ表示（□101）またはサムネイル表示（□104）で表示する方法を設定します。

- 設定するときはMENUボタンを押す前に、1コマ表示またはサムネイル表示で、設定したい連写グループ（連写グループ表示（□10、105）のある画像）を選びます。

1枚ずつ

連写した画像を、1コマずつに展開して表示します。
- 展開した状態では、連写グループ再生（□102）はできません。

代表画像のみ

1コマずつに展開した連写グループを、代表画像のみの表示に戻します。

連写の代表画像選択

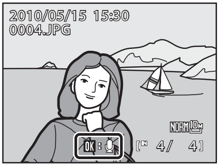
MENUボタンを押す ➔ ▶（再生メニュー）（□107）➔ 連写の代表画像選択

［**連写グループ表示方法**］を［**代表画像のみ**］にしたときに、再生モードの1コマ表示やサムネイル表示で表示する代表画像を、連写グループごとに変更します。

- 設定するときはMENUボタンを押す前に、1コマ表示またはサムネイル表示で、設定したい連写グループを選びます。
- 代表画像の選択画面が表示されたら、画像を選びます。→「画像選択画面の操作方法」（□112）

画像に音声メモを付ける

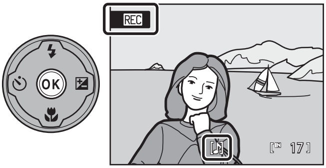
再生モードの1コマ表示（□32）でOK：🎙マーク（音声メモ録音ガイド）が表示されている画像に、カメラのマイクを使って音声によるメモが付けられます。



音声メモを録音する

OKボタンを押している間、約20秒まで音声メモを録音できます。

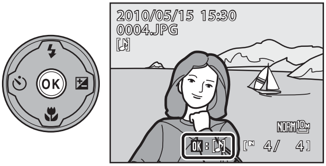
- 録音中は、カメラのマイクに触れないようにご注意ください。
- 録音中はRECと♪が点滅します。



音声メモを再生する

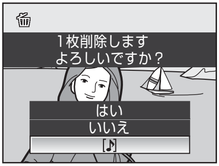
音声メモを録音した画像を1コマ表示して、OKボタンを押すと音声メモが再生されます。再生が終わるか、もう一度OKボタンを押すと再生が終了します。

- 音声メモ付きの画像には、OK：♪（音声メモ再生ガイド）が表示されます。
- 再生中は、ズームレバー **T**/**W** で音量を調節できます。



音声メモを削除する

音声メモ付き画像を選んで🗑ボタンを押します。マルチセレクターで［♪］を選んでOKボタンを押すと、音声メモだけを削除します。



音声メモについてのご注意

- 音声メモが付いた画像を削除すると、その画像に付けた音声メモも削除されます。
- すでに音声メモが録音されている画像には、音声メモを録音できません。録音内容を変更するときは、いったん音声メモだけを削除してから、もう一度音声メモを録音してください。
- COOLPIX P100以外で撮影した画像には、このカメラで音声メモを付けられません。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□181

画像編集の種類

このカメラでは以下の機能を使って画像を簡単に編集できます。編集した画像は元画像とは別に、異なるファイル名で保存されます（□181）。

編集の種類	用途
簡単レタッチ（□120）	コントラストと色の鮮やかさを高めた画像を簡単に作成します。
D-ライティング（□121）	逆光やフラッシュの光量不足で暗くなった部分を明るく補正します。
美肌（□122）	人物の顔の肌をなめらかにします。
スモールピクチャー（□124）	サイズの小さい画像を作成します。電子メールに添付して送信するときなどに使います。
黒フレーム（□125）	画像の周りに黒い枠を付けます。画像に境界線を付けたいときなどに使います。
トリミング（□126）	画像の一部を切り抜きます。被写体をクローズアップしたいときや構図に手を加えたいときなどに使います。

画像編集についてのご注意

- ［**画像サイズ**］（□76）を［**3648×2432**］、［**3584×2016**］、［**2736×2736**］にして撮影した画像は、黒フレーム以外の編集ができません。
- COOLPIX P100以外で撮影した画像は、このカメラで編集できません。
- COOLPIX P100以外のデジタルカメラでは、このカメラで編集した画像の正常な表示やパソコンへの転送ができないことがあります。
- 内蔵メモリー /SDカードに充分な空き容量がないときは、編集できません。
- 代表画像のみで表示している連写グループ（□102）は、以下のいずれかの操作をしてから、編集してください。
  - 連写グループ再生（□102）の一時停止中に画像を選ぶ
  - ［**連写グループ表示方法**］（□116）を［**1 枚ずつ**］に設定し、1 コマずつに展開してから、画像を選ぶ

画像編集の制限

編集で作成した画像に別の編集を追加するときには、以下の制限があります。

編集に使った機能	追加できる編集機能
簡単レタッチ D-ライティング	美肌、スモールピクチャーまたはトリミングができます。簡単レタッチとD-ライティングを組み合わせることはできません。
美肌	簡単レタッチ、D-ライティング、スモールピクチャーまたはトリミングができます。
スモールピクチャー トリミング	追加編集できません。
黒フレーム	追加編集できません。別の編集機能で作成した画像に黒フレームを付けることもできません。

- 編集で作成した画像に同じ種類の編集を繰り返すことはできません。
- スモールピクチャーまたはトリミングと別の編集機能を組み合わせるときは、スモールピクチャーまたはトリミングは最後に編集してください。
- 撮影時に美肌機能を使って撮影した画像にも、美肌の編集ができます。

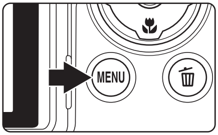
元画像と編集画像の関係について

- 編集で作成した画像は、元画像を削除しても削除されません。また、編集で作成した画像を削除しても、元画像は削除されません。
- 編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。
- ［**プリント指定**］（□108）や［**プロテクト設定**］（□113）した画像を編集しても、これらの設定内容は編集で作成した画像に反映されません。

簡単レタッチ（コントラストと鮮やかさを高める）

コントラストと色の鮮やかさを高めた画像を、簡単に作成できます。作成した画像は、元画像とは別に保存されます。

1 再生モードの1コマ表示（□32）またはサムネイル表示（□104）で画像を選び、MENUボタンを押す



- 再生メニューが表示されます。
- 再生メニューが表示されないときは、▶タブに切り換えます（□13）。

2 マルチセレクターで［簡単レタッチ］を選び、OKボタンを押す



- 補正前（左側）と補正後（右側）の見本が表示されます。
- 再生モード以外で再生メニューを表示したときは、［**簡単レタッチ**］を選ぶと画像選択画面（□112）が表示されます。編集する画像を選び、OKボタンを押します。

3 ▲▼を押して効果の度合いを選び、OKボタンを押す



- レタッチした画像が作成されます。
- 中止するときは、MENUボタンを押します。

- 簡単レタッチで作成した画像は、再生画面でが表示されます。



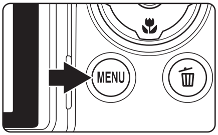
関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□181

D-ライティング（画像の暗い部分を明るく補正する）

逆光やフラッシュの光量不足などで暗くなった被写体を、明るく補正できます。補正した画像は、元画像とは別に保存されます。

1 再生モードの1コマ表示（32）またはサムネイル表示（104）で画像を選び、MENUボタンを押す



- 再生メニューが表示されます。
- 再生メニューが表示されないときは、▶タブに切り換えます（13）。

2 マルチセレクターで [D-ライティング] を選び、OKボタンを押す



- 補正前（左側）と補正後（右側）の見本が表示されます。
- 再生モード以外で再生メニューを表示したときは、[**D-ライティング**] を選ぶと画像選択画面（112）が表示されます。編集する画像を選び、OKボタンを押します。

3 ▲▼を押して効果の度合いを選び、OKボタンを押す



- 補正した画像が作成されます。
- 中止するときは、MENUボタンを押します。

- D-ライティングで作成した画像は、再生画面でが表示されます。



関連ページ

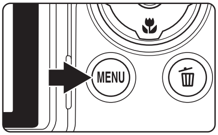
記録データのファイル名とフォルダー名→181

画像の編集

美肌（肌をなめらかにする）

撮影した画像から人物の顔を検出して、顔の肌をなめらかにします。作成した画像は、元画像とは別に保存されます。

1 再生モードの1コマ表示（🕮32）またはサムネイル表示（🕮104）で画像を選び、MENUボタンを押す



- 再生メニューが表示されます。
- 再生メニューが表示されないときは、▶タブに切り換えます（🕮13）。

2 マルチセレクターで［美肌］を選び、Ⓚボタンを押す



- 効果の度合いを設定する画面が表示されます。
- 画像から人物の顔を検出できないときは、警告メッセージが表示され、再生メニューに戻ります。
- 再生モード以外で再生メニューを表示したときは、［**美肌**］を選ぶと画像選択画面（🕮112）が表示されます。編集する画像を選び、Ⓚボタンを押します。

3 ▲▼を押して効果の度合いを選び、Ⓚボタンを押す



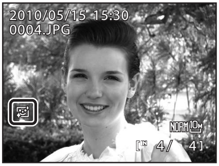
- 確認画面になり、美肌編集した顔が拡大表示されます。
- 中止するときは、MENUボタンを押します。

画像の編集

4 効果を確認する

- 最も画面の中央に近い順に、最大12人の肌を編集します。
- 美肌編集した顔が複数あるときは、マルチセレクターの◀ ▶を押すと顔の切り換えができます。
- 効果の度合いを変えたいときは、MENUボタンを押して、手順3に戻ります。
- ⓚボタンを押すと、美肌編集した画像が作成されます。
- 美肌編集で作成した画像は、再生画面で が表示されます。





美肌についてのご注意

顔の向きや明るさなど、画像によっては、適切に顔を検出できないことや望ましい効果が得られないことがあります。

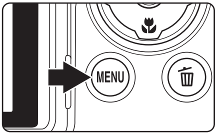
関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□181

スモールピクチャー（小さいサイズの画像を作成する）

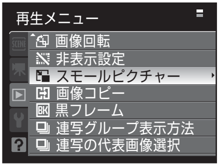
撮影した画像から、サイズの小さい画像を作成します。ホームページで使ったり、電子メールへ添付したりするのに便利です。サイズは［640×480］、［320×240］または［160×120］から選べます。スモールピクチャーは、元の画像とは別の画像（圧縮率約1/16）として保存されます。

1 再生モードの1コマ表示（32）またはサムネイル表示（104）で画像を選び、MENU ボタンを押す



- 再生メニューが表示されます。
- 再生メニューが表示されないときは、▶タブに切り換えます（13）。

2 マルチセレクターで [スモールピクチャー] を選び、ボタンを押す

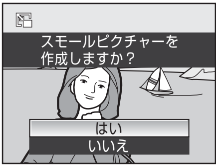


- 再生モード以外で再生メニューを表示したときは、［**スモールピクチャー**］を選ぶと画像選択画面（112）が表示されます。編集する画像を選び、ボタンを押します。

3 スモールピクチャーのサイズを選び、 ボタンを押す



4 ［はい］を選び、ボタンを押す



- スモールピクチャーが作成されます。
- 中止するときは、［**いいえ**］を選び、 ボタンを押します。
- スモールピクチャーで作成した画像は、グレーの枠で囲まれて表示されます。

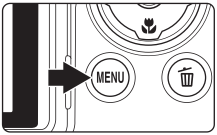
関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→181

黒フレーム（画像の周りに黒い枠を付ける）

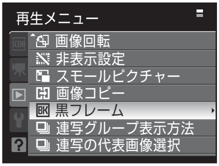
撮影した画像の周りに黒い枠を付けます。枠の太さは、［**細**］、［**中**］、［**太**］から選べます。作成した画像は、元画像とは別に保存されます。

1 再生モードの1コマ表示（□32）またはサムネイル表示（□104）で画像を選び、MENUボタンを押す



- 再生メニューが表示されます。
- 再生メニューが表示されないときは、▶タブに切り換えます（□13）。

2 マルチセレクターで［黒フレーム］を選び、OKボタンを押す

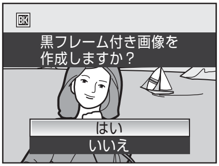


- 再生モード以外で再生メニューを表示したときは、［**黒フレーム**］を選ぶと画像選択画面（□112）が表示されます。編集する画像を選び、OKボタンを押します。

3 枠の太さを選び、OKボタンを押す



4 ［はい］を選び、OKボタンを押す



- 黒い枠を付けた画像が作成されます。
- 中止するときは、［**いいえ**］を選び、OK ボタンを押します。

黒フレームについてのご注意

- 黒い枠は画像の上に重ねられるため、黒い枠の太さに応じて画像が削られます。
- 黒い枠を付けた画像をフチなしでプリントすると、黒い枠がプリントされないことがあります。

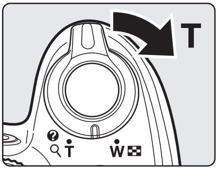
関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□181

✂ トリミング（画像の一部を切り抜く）

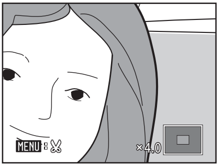
拡大表示（□106）中に MENU：✂ マークが表示されている画像は、液晶モニターに表示している部分だけにトリミング（切り抜き）できます。トリミングした画像は、元画像とは別に保存されます。

1 再生モードの1コマ表示（□32）でズームレバーを**T**（🔍）方向に回して、画像を拡大表示する



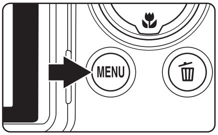
- 縦位置画像は、左右の黒い帯が見えなくなるまで画像を拡大するとトリミングできますが、トリミング画像は横位置になります。縦位置のトリミング画像を作るには［**画像回転**］（□114）で横位置にしてからトリミングし、再度トリミング画像を縦位置に戻します。

2 切り抜きたい部分だけが表示されるように調節する



- ズームレバーを**T**（🔍）または**W**（⊞）方向に回して拡大率を調節します。
- マルチセレクターの▲▼◀▶を押して表示範囲を移動します。

3 MENUボタンを押す



4 マルチセレクターで［はい］を選び、OK ボタンを押す



- トリミング画像が作成されます。
- 中止するときは、［**いいえ**］を選び、OK ボタンを押します。

画像サイズについて

切り抜く範囲が狭くなるほど、トリミングで作成した画像の画像サイズ（ピクセル数）は小さくなります。トリミングして画像サイズが 320×240または 160×120になった画像は、再生時にグレーの枠で囲まれ、画面左側にスモールピクチャーの □ または □ アイコンが表示されます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□181

動画を撮影する

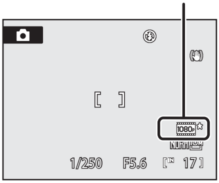
ハイビジョンの動画（音声付き）を撮影できます。

- 1 回の撮影で記録可能な時間は、SD カードの残量が多いときでも最大 29 分です。

1 電源をONにして、撮影画面を表示する

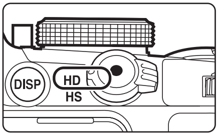
- 動画は、どの撮影モード（□42）を選んでいても撮影できます。
- 動画設定は、撮影する動画の種類を表します。初期設定は、［**HD 1080p★（1920×1080）**］です（□133）。

動画設定

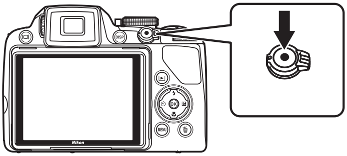


2 動画モードスイッチをHDに合わせる

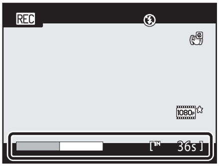
- 内蔵フラッシュは閉じてください。上がっていると録音の妨げになる場合があります。



3 ●（動画撮影）ボタンを押して、動画の撮影を開始する



- 液晶モニターが一度消灯した後、動画撮影が開始します。
- ピントは画面中央で合います。動画の撮影中は、AFエリアは表示されません。
- ハイビジョンまたはフルハイビジョンで撮影する場合、撮影画面の縦横比が16:9に切り換わります（右の画面の範囲で記録されます）。



- 撮影中は、記録可能な残り時間の目安を液晶モニターで確認できます。残り時間が無くなると、撮影が自動的に終了します。

4 ●（動画撮影）ボタンを押して、撮影を終了する

動画撮影についてのご注意

- 動画をSDカードに記録するときは、SDスピードクラスがClass 6以上のSDカードをおすすめします（□180）。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- 動画の撮影時は、画角（写る範囲）が静止画に比べて狭くなります。
- 電子ズームを使うと、画質は劣化します。電子ズームを使わずに動画撮影を開始したときは、ズームレバーを**T**方向に回し続けると、光学ズームの最大倍率でズームが止まります。いったんズームレバーから指をはなして、もう一度**T**方向に回すと電子ズームが作動します。
  電子ズームは、動画撮影を終了するとキャンセルされます。
- ズームレバーなどの操作音やズーム、オートフォーカスの動作音が録音されることがあります。
- 動画撮影中の液晶モニターの表示に、以下のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
  - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画像に横帯が発生する
  - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体がゆがむ
  - カメラを左右に動かした場合、画面全体がゆがむ
  - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する

オートフォーカスについてのご注意

- 動画メニューの［**AFモード**］が AF-S［**シングルAF**］（初期設定）の場合、●（動画撮影）ボタンで撮影を開始したときに、ピントは固定されます（□135）。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（□31）では、ピント合わせができないことがあります。このような被写体を動画で撮影するときは、以下の方法をお試しください。
  1. 撮影前に動画メニューの［**AFモード**］を AF-S［**シングルAF**］（初期設定）にする。
  2. 同じ距離にある別の被写体を画面中央に配置して●（動画撮影）ボタンを押し、動画撮影を開始してから構図を変える。

動画の保存についてのご注意

撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、動画の保存は終了していません。**バッテリー / SDカードカバーを開けないでください。**保存が終了する前にSDカードやバッテリーを取り出すと、動画が記録されないことや、撮影した動画やカメラ、SDカードが壊れることがあります。

動画撮影で使える機能

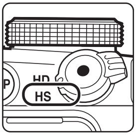
- 動画は、どの撮影モード（□42）を選んでいても、◘（オート撮影）モードと同じ色合いで記録されます。シーンモードの色合いや、撮影メニュー（□73）の［**仕上がり設定**］、［**ホワイトバランス**］などは、動画に反映されません。
- 撮影モードが**P**、**S**、**A**、**M**または**U**の場合、［**測光方式**］（□85）の設定は、動画撮影にも反映されます（［**AFスポット**］を除く）。
- フォーカスモードと露出補正の設定も撮影する動画に反映します。動画の撮影を開始する前に設定を確認してください。
- セルフタイマー（□37）を使えます。セルフタイマーを設定し、●（動画撮影）ボタンを押すと、10秒または2秒経過後にピントを合わせてから動画撮影が開始します。
- フラッシュは発光しません。
- 動画の撮影を開始する前にMENUボタンを押して、🎥（動画）タブに切り換えると動画メニューの設定ができます（□132）。
- 動画撮影時の手ブレ補正は、動画メニューの［**電子式手ブレ補正**］（□136）で設定します。

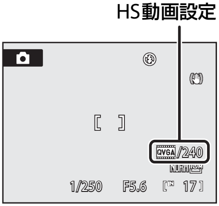
スローモーション動画または早送り動画を撮影する（HS動画）

動画モードスイッチをHSに合わせて撮影を開始し、撮影中にⓀボタンを押すとハイスピード（HS）撮影に切り換わります（HS動画撮影）。HS動画で撮影した部分は、通常再生の1/8～1/2の速度のスローモーション再生や2倍の早送り再生が可能になります。

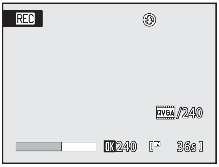
1 電源をONにして、動画モードスイッチをHSに合わせる

- HS動画設定は、撮影するHS動画の種類を表します（□134）。
- 内蔵フラッシュは閉じてください。上がっていると録音の妨げになる場合があります。



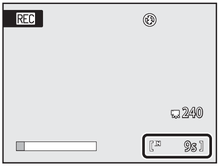


2 ●（動画撮影）ボタンを押して、動画の撮影を開始する



- 液晶モニターが一度消灯した後、動画撮影が開始します。
- ピントは画面中央で合います。動画の撮影中は、AFエリアは表示されません。
- 初期設定では、解像度320×240ピクセルの動画を撮影します。

3 HS動画を撮影したい場面でⓀボタンを押す



- HS動画の撮影が始まります。
- 初期設定では、速度が1/8のスローモーション再生になる動画を、最長10秒撮影します。
- 残り時間の表示は、HS動画撮影の残り時間に変わります。残り時間が無くなると、撮影は自動的に終了します。
- HS動画撮影を開始すると、通常速度の動画撮影に切り換えることはできません。

4 ●（動画撮影）ボタンを押して、撮影を終了する

HS動画についてのご注意

- スローモーションまたは早送り再生になる部分に、音声は記録されません。
- 動画モードスイッチを HS にして動画撮影するときは、手ブレ補正機能を使えません。ズーム位置、ピント、露出、ホワイトバランスは、●（動画撮影）ボタンで撮影を開始したときに固定されます。

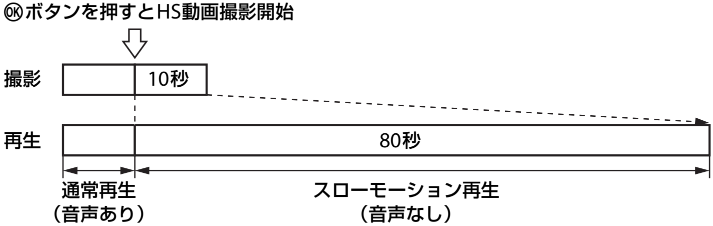
HS動画について

［**HS動画設定**］（🕮134）を［**240 fps**］、［**120 fps**］または［**60 fps**］に設定すると、スローモーション再生が可能な動画を撮影できます。［**15 fps**］に設定すると、2倍の早送り再生が可能な動画を撮影できます。

- ⓀボタンBを押す前の撮影フレーム数は、30フレーム/秒（fps）です。
- 撮影した動画は、HS動画で撮影した部分を含めて、30フレーム/秒で再生されます。

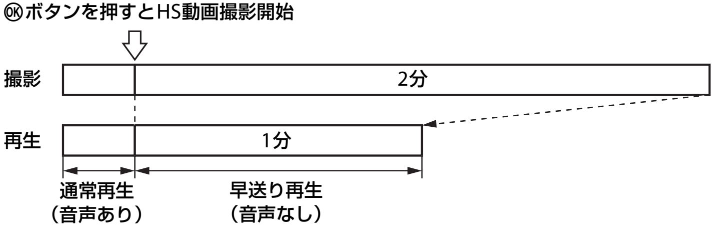
［240 fps］に設定して撮影する場合：

撮影時に最長10秒間をハイスピードで記録します。ハイスピードで記録した部分は、8倍の時間をかけてスローモーションで再生されます。



［15 fps］に設定して撮影する場合：

撮影時に最長2分間を早送り再生用に記録します。再生すると2倍の速さの早送りになります。



HS動画で撮影を開始する

［**HS動画設定**］の［**HS動画で記録開始**］チェックボックスをオン［✔］にすると、動画撮影開始と同時にHS動画撮影を開始できます。

動画の撮影と再生

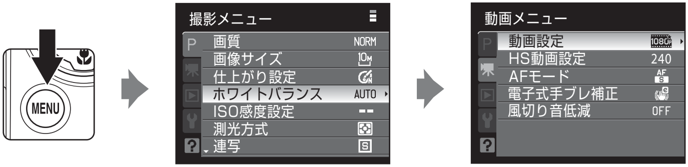
動画メニューを使う

動画メニューで以下の項目を設定できます。

	動画設定	□133
	動画モードスイッチをHDに合わせたときに撮影する動画の種類を選びます。	
	HS動画設定	□134
	動画モードスイッチをHSに合わせたときに撮影する動画の種類を選びます。	
	AFモード	□135
	動画モードスイッチをHDに合わせて動画を撮影するときのピントの合わせ方を選びます。	
	電子式手ブレ補正	□136
	動画モードスイッチをHDに合わせて動画を撮影するときの電子式手ブレ補正を設定します。	
	風切り音低減	□136
	動画の撮影時に風切り音を低減するかどうかを設定します。	

動画メニューの表示方法

MENUボタンを押してメニュー画面を表示し、タブに切り換えます（□13）。



- メニューの選択と設定には、マルチセレクターを使います（□12）。
- 動画メニューを終了するには、MENUボタンを押します。

🎥 動画設定

MENUボタンを押す ➔ 🎥（動画メニュー）（📖132）➔ 動画設定

動画モードスイッチをHDに合わせたときに撮影する動画の種類を選びます。解像度が高く、ビットレートが大きいほど高画質になりますが、ファイルサイズは大きくなります。

種類	内容
1080p★ HD 1080p★（1920×1080）**（初期設定）**	フルハイビジョン画質で縦横比16:9の動画を記録します。フルハイビジョンに対応したワイドテレビで再生するのに適しています。 • 解像度：1920 × 1080 ピクセル • ビットレート：約 14 Mbps
1080p HD 1080p（1920×1080）	フルハイビジョン画質で縦横比16:9の動画を記録します。フルハイビジョンに対応したワイドテレビで再生するのに適しています。 • 解像度：1920 × 1080 ピクセル • ビットレート：約 12 Mbps
720p HD 720p（1280×720）	ハイビジョン画質で縦横比16:9の動画を記録します。ワイドテレビで再生するのに適しています。 • 解像度：1280 × 720 ピクセル • ビットレート：約 9 Mbps
VGA VGA (640×480)	縦横比4:3の動画を記録します。 • 解像度：640 × 480 ピクセル • ビットレート：約 3 Mbps
QVGA QVGA (320×240)	縦横比4:3の動画を記録します。 • 解像度：320 × 240 ピクセル • ビットレート：約 640 kbps

- ビットレートとは、1秒間あたりの動画のデータ量です。撮影する被写体により、ビットレートが自動的に変わる「VBR記録方式」を採用しています。動きの多い被写体を記録した場合は、ファイルサイズが大きくなります。
- 撮影フレーム数は、いずれの設定も約30フレーム/秒です。

関連ページ

動画の記録可能時間→📖135

HS動画設定

MENUボタンを押す ➔ 🎥（動画メニュー）（🕮132）➔ HS動画設定

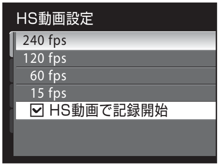
動画モードスイッチをHSに合わせたときに撮影する動画の種類を選びます。

種類	内容
240 fps（初期設定）	縦横比4:3で1/8の速度のスローモーション動画を撮影します。 • 最長撮影時間※：10 秒（再生時間：80 秒） • 解像度：320 × 240 ピクセル • ビットレート：約 640 kbps
120 fps	縦横比4:3で1/4の速度のスローモーション動画を撮影します。 • 最長撮影時間※：10 秒（再生時間：40 秒） • 解像度：640 × 480 ピクセル • ビットレート：約 3 Mbps
60 fps	縦横比16:9で1/2の速度のスローモーション動画を撮影します。 • 最長撮影時間※：30 秒（再生時間：1 分） • 解像度：1280 × 720 ピクセル • ビットレート：約 9 Mbps
15 fps	縦横比16:9で2倍の速度の早送り動画を撮影します。 • 最長撮影時間※：2 分（再生時間：1 分） • 解像度：1920 × 1080 ピクセル • ビットレート：約 12 Mbps

※ 最長撮影時間は、スローモーションまたは早送り再生になる部分だけの撮影時間です。

［HS動画で記録開始］チェックボックスについて

［**HS 動画で記録開始**］を選び、Ⓚ ボタンを押してチェックボックスをオン［✔］にすると、動画撮影開始と同時にHS動画の撮影を開始します。初期設定はオフです。



動画の記録可能時間

種類	内蔵メモリー（約43 MB）	SDカード（4 GB）※
HD 1080p★（1920×1080）（初期設定）	23秒	約34分
HD 1080p (1920×1080)	26秒	約39分25秒
HD 720p (1280×720)	34秒	約50分
VGA (640×480)	1分37秒	約2時間5分
QVGA (320×240)	4分34秒	約4時間45分

数値はおおよその目安です。同じ容量でもSDカードの種類や撮影した動画のビットレートによって記録可能時間は異なります。

※ このカメラで記録できる動画1ファイルの記録時間は最長29分です。29分以上記録できるSDカードを使用しても、カメラは最長29分までの記録可能時間を表示します。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□181

AFモード

MENUボタンを押す ➔ 動画（動画メニュー）（□132）➔ AFモード

動画モードスイッチをHDに合わせて動画を撮影するときのピントの合わせ方を選びます。

設定	内容
シングルAF（初期設定）	●（動画撮影）ボタンで撮影を開始したときのピントに固定します。撮影中に被写体との距離があまり変化しない撮影に適しています。
常時AF	動画撮影中、ピント合わせを繰り返します。 撮影中に被写体との距離が変化する撮影に適しています。ピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、［**シングルAF**］での撮影をおすすめします。

動画撮影中のAFモードについて

- シーンモードが［**打ち上げ花火**］のときは、遠景にピントが固定されます。
- フォーカスモードが MF（マニュアルフォーカス）のときは、動画撮影を開始する前のピントに固定されます。

電子式手ブレ補正

MENUボタンを押す ➔ 🎥（動画メニュー）（□132）➔ 電子式手ブレ補正

動画モードスイッチをHDに合わせて動画を撮影するときの電子式手ブレ補正を設定します。

種類	内容
ON（**初期設定**）	動画撮影時に手ブレの影響を軽減します。
OFF	電子式手ブレ補正を行いません。

電子式手ブレ補正を［**ON**］にすると、動画撮影開始時に、画面にが表示されます（□8）。

電子式手ブレ補正についてのご注意

HS動画を撮影するときは、手ブレ補正機能を使えません。

風切り音低減

MENUボタンを押す ➔ 🎥（動画メニュー）（□132）➔ 風切り音低減

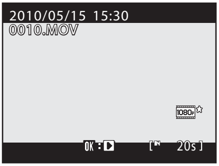
動画の撮影時に風切り音を低減するかどうかを設定します。

種類	内容
ON	マイクに吹き付ける風の音を抑えて記録します。強風時の撮影に適しています。再生時に風切り音以外の音が聞こえにくくなることがあります。
OFF（**初期設定**）	風切り音を低減しません。

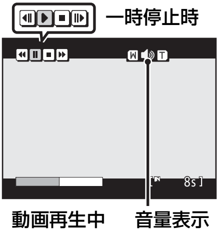
風切り音低減の設定は、撮影時の画面で確認できます（□8）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

動画を再生する

1コマ表示（□32）で動画設定（□133）のアイコンが表示されている画像が動画です。OKボタンを押すと、再生できます。



再生中は、ズームレバー**T**/**W**で音量を調節できます。画面上部には操作パネルが表示されます。マルチセレクターの◀ ▶で操作パネルのアイコンを選び、OKボタンを押すと以下の操作ができます。



機能	アイコン	内容	
巻き戻し	⏪	OKボタンを押している間、巻き戻します。	
早送り	⏩	OKボタンを押している間、早送りします。	
一時停止	⏸	一時停止中に画面上部の操作パネルのアイコンで以下の操作ができます。	
		◀‖	1コマ戻ります。OKボタンを押し続けると、連続してコマ戻しします。※
		‖▶	1コマ進みます。OKボタンを押し続けると、連続してコマ送りします。※
		▶	再生を再開します。
再生終了	■	1コマ表示に戻ります。	

※ コマンドダイヤルを回してもコマ送り/コマ戻しできます。

動画を削除する

1コマ表示（□32）やサムネイル表示（□104）で動画を選んで🗑ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。［**はい**］を選んでOKボタンを押し、動画ファイルを削除します。削除をやめるときは、［**いいえ**］を選びます。



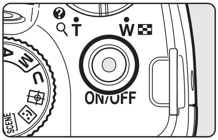
✔ 動画再生についてのご注意

COOLPIX P100以外で撮影した動画は、再生できません。

テレビに接続する

カメラをテレビに接続すると、撮影した画像をテレビ画面で再生できます。HDMI端子が付いたテレビをお持ちの場合は、市販のHDMIケーブルで接続すると、ハイビジョン画質で楽しめます。

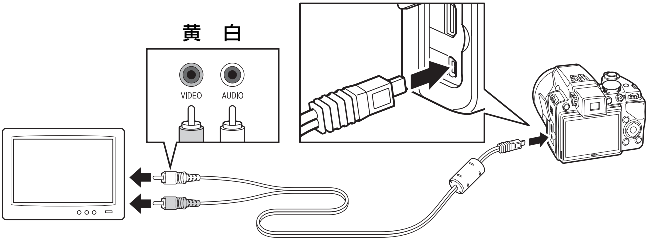
1 カメラの電源をOFFにする



2 カメラとテレビを接続する

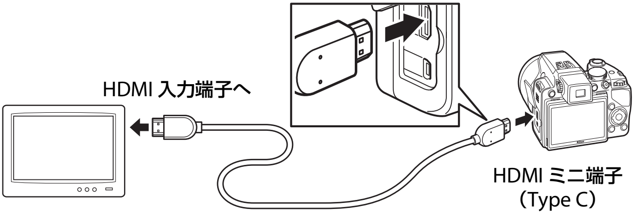
付属のオーディオビデオケーブル（AVケーブル）で接続する場合

- AVケーブルの黄色のプラグをテレビの映像入力端子に、白色のプラグを音声入力端子に接続してください。



市販のHDMIケーブルで接続する場合

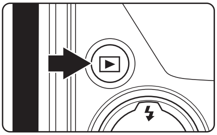
- テレビのHDMI入力端子に接続してください。



3 テレビの入力をビデオ入力（外部入力）に切り換える

- 詳しくはお使いのテレビの使用説明書をご覧ください。

4 カメラの ▶ ボタンを押し続けて電源を ON にする



- カメラは再生モードになり、撮影した画像がテレビに表示されます。
- テレビとの接続中は、カメラの液晶モニターは消灯したままになります。

HDMI接続についてのご注意

- HDMIケーブルは付属していません。市販のものをご用意ください。カメラのHDMI出力端子は、HDMIミニ端子（Type C）です。HDMIケーブルご購入時は、ケーブルの片方がHDMIミニ端子のものをお選びください。
- HDMI端子が付いたテレビにカメラを接続し、ハイビジョン画質で再生して楽しむには、静止画の場合は［**画像サイズ**］を 3M［**2048×1536**］以上に、動画の場合は［**動画設定**］を 720p［**HD 720p (1280×720)**］以上にして撮影することをおすすめします。

ケーブル接続時のご注意

- ケーブルは、端子の挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。
- カメラにオーディオビデオケーブルとHDMIケーブルを同時に接続しないでください。
- カメラにHDMIケーブルとUSBケーブルを同時に接続しないでください。

画像がテレビに映らないときは

セットアップメニュー（□152）の［**TV出力設定**］（□167）がお使いのテレビに合っているか確認してください。

パソコンに接続する

付属のUSBケーブルでカメラをパソコンに接続すると、ソフトウェア「Nikon Transfer」を使って、撮影した画像をパソコンに転送して保存できます。

カメラとパソコンを接続する前に

ソフトウェアをインストールする

カメラとパソコンを接続する前に、付属の Software Suite CD-ROMを使って、パソコンに「Nikon Transfer」や転送した画像を表示する「ViewNX」、パノラマ写真を作成する「Panorama Maker」などのソフトウェアをインストールします。
ソフトウェアのインストール方法は、簡単スタートガイドをご覧ください。

対応OS

Windows

- Windows 7 Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate
- Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate (Service Pack 2)
- 32 bit版のWindows XP Home Edition/Professional (Service Pack 3)

Macintosh

- Mac OS X（version 10.4.11、10.5.8、10.6）

ハイビジョンまたはフルハイビジョン画質の動画再生条件については、ViewNXのヘルプ(動作環境→HD動画再生について)をご覧ください(□144)。
対応OSに関する最新情報は、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

パソコンに接続するときのご注意

市販のUSB充電器など、他のUSB機器はパソコンから取り外してください。
USB機器によっては、同時に接続すると動作に不具合が発生することや、パソコンからの供給電力が過大になり、同時に接続したカメラ、SDカードなどが壊れるおそれがあります。お使いのUSB機器の説明書もご確認ください。

電源についてのご注意

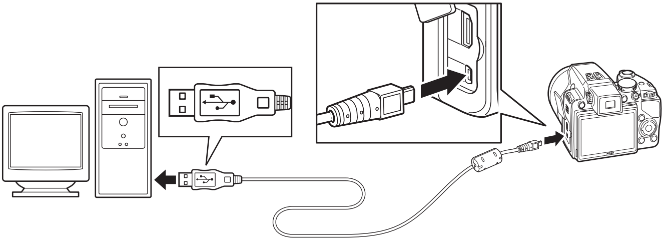
- パソコンと接続して画像を転送するときは、途中で電源が切れないように、充分に残量のあるバッテリーをお使いください。
- カメラのセットアップメニューの［**パソコン接続充電**］が［**AUTO**］（初期設定）のときは、起動済みのパソコンとカメラを付属のUSBケーブルで接続すると、パソコンからの電力供給状態に応じて、カメラ内のバッテリーを自動的に充電できます（□145、168）。充電しながら画像を転送できます。
- 別売のACアダプター EH-62Aを使うと、家庭用コンセント（AC 100 V）からこのカメラへ電源を供給できます。EH-62A以外のACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

カメラからパソコンに画像を転送する

1 Nikon Transferがインストール済みのパソコンを起動する

2 カメラの電源をOFFにする

3 付属のUSBケーブルで、カメラとパソコンを接続する



- カメラの電源が自動的に　ON　になり、電源ランプが点灯または点滅します（□145）。カメラの液晶モニターは消灯したままになります。

ケーブル接続時のご注意

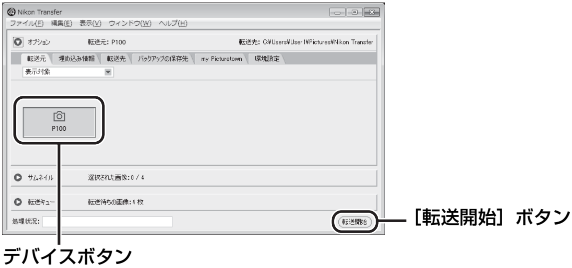
- ケーブルは、端子の挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。
- USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

4 パソコンでNikon Transferを起動する

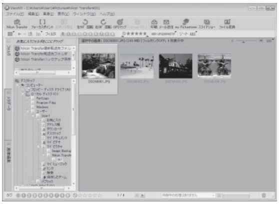
- **Windows 7 の場合：**
  ［**デバイスとプリンター ▶P100**］画面が表示されたら、［**画像とビデオのインポート**］の下の［**プログラムの変更**］をクリックします。［**プログラムの変更**］ダイアログで［**コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする**］を選び、［**OK**］をクリックします。
  ［**デバイスとプリンター ▶P100**］画面で［**コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする**］をダブルクリックします。
- **Windows Vista の場合：**
  ［**自動再生**］ダイアログが表示されたら、［**コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする－Nikon Transfer 使用**］をクリックします。
- **Windows XP の場合：**
  起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面が表示されたら、［**Nikon Transfer コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする**］を選び、［**OK**］をクリックします。
- **Mac OS Xの場合：**
  Nikon Transferのインストールで、［**自動起動の設定**］を［**はい**］にした場合は、カメラを接続するとNikon Transferが自動起動します。

- カメラ内のバッテリー残量が少ないときは、パソコンでカメラを認識できず、画像を転送できないことがあります。パソコンからの電力でカメラ内のバッテリー充電が始まったときは、バッテリー残量が増えるまでお待ちください。
- SDカード内に大量の画像があると、Nikon Transferの起動に時間がかかる場合があります。

5 オプションエリアの［**転送元**］パネル内に、接続したカメラ名のデバイスボタンが表示されていることを確認し、[**転送開始**] ボタンをクリックする



- 記録されているすべての画像がパソコンに転送されます（Nikon Transferの初期設定）。
- 転送が終わると、ViewNXが自動的に起動します（Nikon Transferの初期設定）。転送した画像を確認できます。



- Nikon TransferまたはViewNXの操作方法については、Nikon TransferまたはViewNXのヘルプをご覧ください（□144）。

カメラとパソコンの接続を外すときは

- 転送中は、電源をOFFにしたり、カメラとパソコンの接続を外したりしないでください。
- 接続を外すときは、カメラの電源をOFFにしてから、USBケーブルを外してください。
- USBケーブルを接続したまま、パソコンとの通信が無い状態が30分続くと、カメラの電源は自動的にOFFになります。

バッテリーの充電について

カメラの電源ランプが、オレンジ色でゆっくり点滅しているときは、カメラ内のバッテリーを充電中です（□145）。

カードリーダーを使う

Nikon Transferは、パソコンのカードリーダーなどの機器に入れたSDカード内の画像も転送できます。

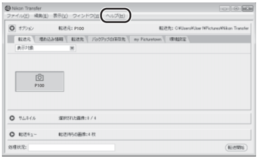
- 2 GB以上のSDカードやSDHC規格のSDカードをお使いの場合は、カードリーダーなどの機器がそれらのSDカードに対応している必要があります。
- カードリーダーなどにSDカードを挿入し、手順4（📖142）以降を参照して、画像を転送してください。
- 内蔵メモリーのデータは、カメラでSDカードにコピーしてから（📖115）転送してください。

Nikon TransferまたはViewNXを手動で起動するには

- **Windows**：［**スタート**］から［**すべてのプログラム**］→［**Nikon Transfer**］→［**Nikon Transfer**］（または［**すべてのプログラム**］→［**ViewNX**］→［**ViewNX**］）の順にクリックします。デスクトップの［**Nikon Transfer**］または［**ViewNX**］のショートカットアイコンをダブルクリックしても起動できます。
- **Mac OS X**：［**アプリケーション**］フォルダーを開き、［**Nikon Software**］→［**Nikon Transfer**］→［**Nikon Transfer**］（または［**Nikon Software**］→［**ViewNX**］→［**ViewNX**］）をダブルクリックします。Dockの［**Nikon Transfer**］または［**ViewNX**］アイコンをクリックしても起動できます。

Nikon TransferまたはViewNXの詳しい使い方（ヘルプ）を見るには

Nikon TransferまたはViewNXを起動して、メニューバーの［**ヘルプ**］→［**Nikon Transferヘルプ**］または［**ViewNXヘルプ**］を選ぶと、ヘルプ画面を表示して詳しい使い方を見ることができます。



パノラマ写真に合成するには（Panorama Maker）

- シーンモードの［**パノラマアシスト**］機能（📖52）を使って撮影した画像を、Panorama Makerを使ってパノラマ写真に合成できます。
- Panorama Makerは、付属のSoftware Suite CD-ROMでインストールできます。
- Panorama Makerをインストールしたら、以下のように起動します。
  Windows：［**スタート**］から［**すべてのプログラム**］→［**ArcSoft Panorama Maker 5**］→［**Panorama Maker 5**］の順にクリックしてください。
  Macintosh：［**アプリケーション**］フォルダーを開き、［**Panorama Maker 5**］をダブルクリックしてください。
- Panorama Makerの使い方は、Panorama Makerの操作画面やヘルプをご覧ください。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→📖181

パソコン接続時の充電について

カメラのセットアップメニューの［**パソコン接続充電**］（□168）が［**AUTO**］（初期設定）のときは、起動済みのパソコンとカメラを付属のUSBケーブルで接続すると、パソコンからの電力供給状態に応じて、カメラ内のバッテリーを自動的に充電できます。
カメラをパソコンに接続する方法は、「カメラとパソコンを接続する前に」（□140）、「カメラからパソコンに画像を転送する」（□141）をご覧ください。

電源ランプについて

パソコンに接続しているときのカメラの電源ランプの状態と意味は以下のとおりです。

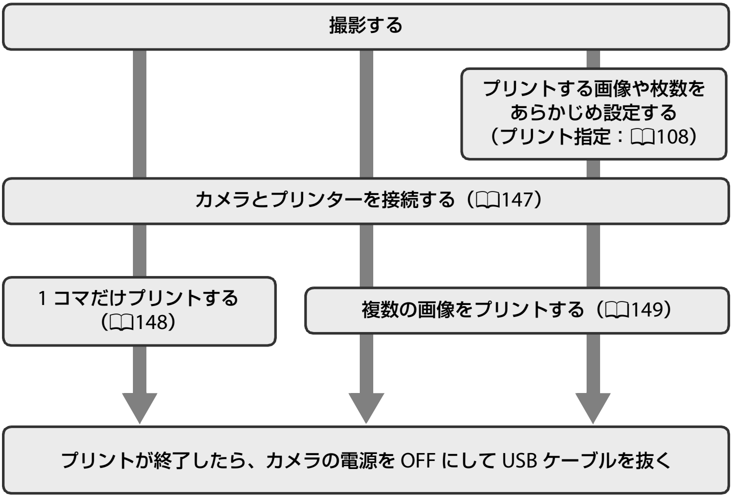
状態	意味
ゆっくり点滅（オレンジ色）	充電中です。
点灯（緑色）	充電していません。ゆっくりした点滅（オレンジ色）から点灯（緑色）に変わると、充電の完了です。
速い点滅（オレンジ色）	• 使用可能な温度ではありません。周囲の温度が 5 ～ 35 ℃の室内で充電してください。 • USB ケーブルが正しく接続されていないか、バッテリーの異常です。正しく接続し直すか、バッテリーを交換してください。 • パソコンが休止状態（スリープ状態）で電力を供給していません。パソコンを復帰してください。 • パソコンの仕様または設定がカメラへの電力供給に対応していないため充電できません。

パソコンに接続して充電するときのご注意

- パソコンに接続しても、ご購入後にカメラの表示言語と日時（□22）を設定していないときは、充電やデータの転送はできません。また、時計用電池（□156）が切れて日時がリセットされたまま再設定していないときも、充電やデータの転送はできません。本体充電ACアダプター EH-68Pでバッテリーを充電し（□18）、カメラの日時を設定してください。
- カメラの電源をOFFにすると、バッテリーの充電も中止されます。
- 充電中にパソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止され、カメラの電源がOFFになることがあります。
- カメラとパソコンの接続を外すときは、カメラの電源をOFFにしてから、USBケーブルを外してください。
- 残量がないバッテリーの場合、フル充電までの時間は約6時間です。また、画像を転送しながら充電すると、充電に時間がかかります。
- 充電だけをしたいときに、カメラをパソコンに接続して、パソコンでNikon Transferなどが起動した場合は、これらの画面を閉じてください。
- 充電が完了し、パソコンとの通信が無い状態が 30 分続くと、カメラの電源は自動的にOFFになります。
- パソコンの仕様、設定または状態によっては、カメラ内のバッテリーを充電できないことがあります。

プリンターに接続する

PictBridge（□198）対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントできます（ダイレクトプリント）。ダイレクトプリントの手順は、以下のとおりです。



電源についてのご注意

- プリンターと接続するときは、途中で電源が切れないように、充分に残量のあるバッテリーをお使いください。
- 別売のACアダプター EH-62Aを使うと、家庭用コンセント（AC 100 V）から、このカメラへ電源を供給できます。EH-62A以外のACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

画像のプリント方法について

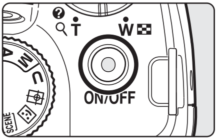
SDカードに記録した画像は、パソコンに転送したり、カメラをプリンターに接続してプリントする他に以下の方法でプリントできます。

- カードスロットが付いたDPOF対応プリンターでプリントする。
- プリントサービス店にプリントを依頼する。

これらの方法でプリントするときは、プリントする画像やプリント枚数などを、再生メニューの［**プリント指定**］を使って、あらかじめSDカードに設定できます（□108）。

カメラとプリンターを接続する

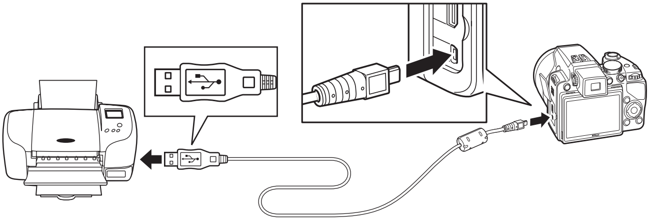
1 カメラの電源をOFFにする



2 プリンターの電源をONにする

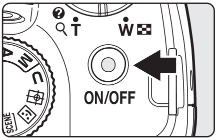
- プリンターの設定を確認してください。

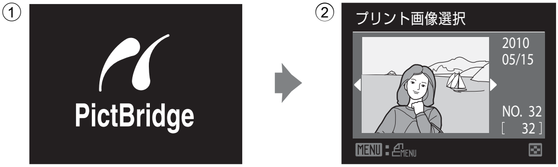
3 付属のUSBケーブルで、カメラとプリンターを接続する



4 カメラの電源が自動的にONになる

- 正しく接続されると、カメラの液晶モニターに［**PictBridge**］画面（①）が表示された後、［**プリント画像選択**］画面（②）が表示されます。





✓ ケーブル接続時のご注意

ケーブルは、端子の挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。

✓ ［PictBridge］画面が表示されないときは

カメラの電源をいったんOFFにしてUSBケーブルを外してください。カメラのセットアップメニューの［**パソコン接続充電**］（□168）を［**OFF**］に設定してから、接続をやり直してください。

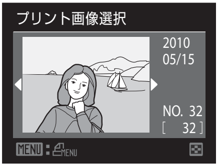
関連ページ

画像サイズ1:1の画像をプリントするときのご注意→□78

1コマだけプリントする

カメラとプリンターを正しく接続してから（□147）、以下の手順でプリントしてください。

1 マルチセレクターでプリントする画像を選び、OKボタンを押す

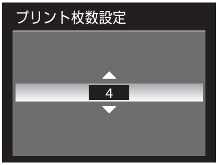


- コマンドダイヤルを回しても画像を選べます。
- ズームレバーを**W**（▦）方向に回すと12コマ表示に、**T**（Q）方向に回すと1コマ表示に切り換わります。

2 ［**プリント枚数設定**］を選び、OKボタンを押す



3 プリント枚数（9枚まで）を設定し、OKボタンを押す

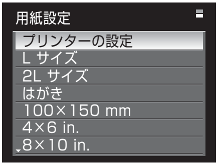


4 ［**用紙設定**］を選び、OKボタンを押す

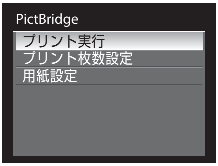


5 用紙サイズを選び、OKボタンを押す

- プリンターの設定を優先したいときは、［**プリンターの設定**］を選びます。

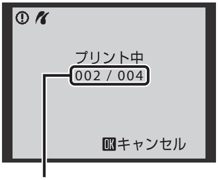


6 ［**プリント実行**］を選び、OKボタンを押す



7 プリントが始まる

- プリントが終わると、手順1の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは、OKボタンを押します。



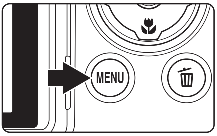
プリント中の枚数/総枚数

複数の画像をプリントする

カメラとプリンターを正しく接続してから（□147）、以下の手順でプリントしてください。

1 ［**プリント画像選択**］画面が表示されたら、MENUボタンを押す

- ［**プリントメニュー**］画面が表示されます。



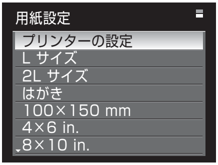
2 マルチセレクターで［**用紙設定**］を選び、OK ボタンを押す

- プリントメニューを終了したいときは、MENUボタンを押します。



3 用紙サイズを選び、Ⓚボタンを押す

- プリンターの設定を優先したいときは、［**プリンターの設定**］を選びます。



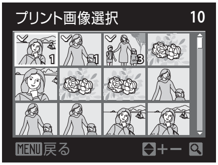
4 ［**プリント選択**］、［**全画像プリント**］または［**DPOFプリント**］を選んで、Ⓚボタンを押す



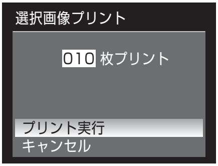
プリント選択

プリントする画像（最大99コマまで）と、それぞれのプリント枚数（各9枚まで）を設定できます。

- マルチセレクターの ◀ ▶ を押して画像を選び、▲▼ を押してプリント枚数を設定します。
- コマンドダイヤルを回しても画像を選べます。



- プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を 0 にすると、その画像の選択を解除できます。
- ズームレバーを **T**（Q）方向に回すと 1 コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと12コマ表示に切り換わります。
- 設定が終了したら Ⓚ ボタンを押します。
- 右の画面が表示されたら、［**プリント実行**］を選び、Ⓚ ボタンを押すと画像のプリントが始まります。
- ［**キャンセル**］を選んで Ⓚ ボタンを押すと、プリントメニューに戻ります。

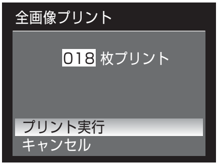


テレビやパソコン、プリンターに接続する

全画像プリント

SDカードまたは内蔵メモリー内のすべての画像を1枚ずつプリントできます。

- 右の画面が表示されたら、[**プリント実行**]を選び、🆗 ボタンを押すと画像のプリントが始まります。
- [**キャンセル**] を選んで 🆗 ボタンを押すと、プリントメニューに戻ります。

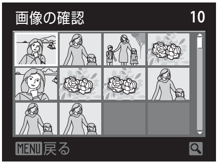


DPOFプリント

[**プリント指定**]（📖108）であらかじめ指定しておいた画像をプリントできます。

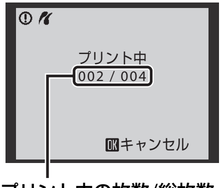
- 右の画面が表示されたら、[**プリント実行**]を選び、🆗 ボタンを押すと画像のプリントが始まります。
- [**キャンセル**] を選んで 🆗 ボタンを押すと、プリントメニューに戻ります。
- [**画像の確認**] を選んで 🆗 ボタンを押すと、どの画像をプリント指定したか確認できます。もう一度 🆗 ボタンを押すと、画像のプリントが始まります。





5 プリントが始まる

- プリントが終わると、手順2の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは、🆗ボタンを押します。



プリント中の枚数/総枚数

🖉 用紙設定について

用紙設定画面では、[**プリンターの設定**] 以外に、[**L サイズ**]、[**2L サイズ**]、[**はがき**]、[**100×150 mm**]、[**4×6 in.**]、[**8×10 in.**]、[**Letter**]、[**A3 サイズ**]、[**A4 サイズ**] のうち、プリンターが対応している用紙サイズを表示します。

セットアップメニューを使う

セットアップメニューで以下の設定ができます。

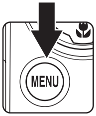
	オープニング画面	154
	カメラの電源をONにしたときに、液晶モニターにオープニング画面を表示するかどうかを設定します。	
	日時設定	155
	内蔵時計を合わせます。	
	モニター設定	158
	撮影後の画像表示や画面の明るさを設定します。	
DATE	**デート写し込み**	159
	撮影日時を画像に写し込む設定ができます。	
	手ブレ補正	160
	静止画を撮影するときの手ブレ補正を設定します。	
	モーション検知	162
	静止画を撮影するときに被写体ブレや手ブレを軽減する「モーション検知」機能を設定します。	
	AF補助光	163
	AF補助光の点灯/非点灯を設定します。	
	赤目軽減プリ発光	163
	フラッシュモード が赤目軽減自動発光のときの赤目軽減方式を選びます。	
	電子ズーム	164
	電子ズームの動作を設定します。	
	操作音	165
	操作音について設定します。	
	オートパワーオフ	165
	節電のために待機状態に入るまでの時間を設定します。	
IN/	**メモリーの初期化/カードの初期化（フォーマット）**	166
	内蔵メモリー /SDカードを初期化します。	
	言語/Language	167
	画面に表示する言語を設定します。	
	TV出力設定	167
	テレビとの接続に必要な設定をします。	
	パソコン接続充電	168
	USBケーブルでパソコンに接続したときに、バッテリーを充電するかどうかを設定します。	
	目つぶり検出設定	169
	顔認識撮影したときに、目つぶりを検出するかどうかを設定します。	
C	**設定クリアー**	171
	各種設定を初期設定に戻します。	

R	**連番リセット**		174
	ファイル番号の連番をリセットします。		
Ver.	**バージョン情報**		174
	ファームウェアの情報を表示します。		

セットアップメニューの表示方法

メニュー画面を表示して、Y（セットアップ）タブに切り換えます。

1 MENU ボタンを押してメニュー画面を表示する





2 マルチセレクターの◀を押す

- タブが選べるようになります。
- マルチセレクターの使い方→12



3 ▲▼を押してYタブを選ぶ



4 ▶またはⓀボタンを押す

- セットアップメニューの項目が選べるようになります。
- メニューの選択と設定には、マルチセレクターを使います（12）。
- セットアップメニューを終了するには、MENU ボタンを押すか、◀を押して他のタブに切り換えます。



オープニング画面

MENUボタンを押す ➔ （セットアップメニュー）（153）➔ オープニング画面

カメラの電源をONにしたときに、液晶モニターにオープニング画面を表示するかどうかを設定します。

なし（初期設定）

オープニング画面を表示しないで、撮影または再生画面を表示します。

COOLPIX

オープニング画面を表示してから、撮影または再生画面を表示します。

撮影した画像

撮影した画像をオープニング画面として表示します。画像選択の画面が表示されたら画像を選び（112）、ボタンを押して登録します。

- 登録した画像はカメラに記憶されるため、元画像を削除しても、オープニング画面に残ります。
- ［**画像サイズ**］（76）を 3:2［**3648 × 2432**］、16:9［**3584 × 2016**］、1:1［**2736 × 2736**］にして撮影した画像は登録できません。
- スモールピクチャー（124）やトリミング（126）で作成した画像サイズ 160 × 120 以下の画像は登録できません。

日時設定

MENU ボタンを押す ➔ （セットアップメニュー）（153）➔ 日時設定

カメラに内蔵された時計を設定します。

日時
内蔵時計の日付と時刻を設定します。 表示される設定画面で、マルチセレクターを使って設定します。 • 項目（年、月、日、時、分、年月日の並び順）を移動する：◀ ▶ を押す。 • 項目の内容を合わせる：▲▼ を押す。 • 設定を完了する：年月日の並び順を選んで OK ボタンを押す（23）。
タイムゾーン
自宅（⌂）のタイムゾーン（地域）や夏時間（サマータイム）を設定します。また、訪問先（✈）のタイムゾーンを登録すると、自宅（⌂）との時差（157）を自動的に計算し、撮影日時を現地時間で記録できます。海外旅行などに便利です。

時差のある地域で使うには

1 マルチセレクターで［**タイムゾーン**］を選び、OK ボタンを押す

• ［**タイムゾーン**］画面が表示されます。



2 ✈［**訪問先**］を選び、OK ボタンを押す

• 訪問先の時計に切り換わります。



3 ▶を押す

- 地域の設定画面が表示されます。



4 ◀または▶を押して訪問先の地域（タイムゾーン）を選ぶ

- 夏時間（サマータイム）が現在実施されている地域で使うときは、▲を押して夏時間の設定をオンにします。設定をオンにすると、画面上部に☀マークが表示され、時計が1時間進みます。オフにするときは、▼を押してください。
- Ⓚボタンを押して、訪問先を決定します。
- 訪問先の時計に設定しているときは、撮影時の画面に✈マークが表示されます。





時計用電池について

カメラの内蔵時計は、カメラに入れるバッテリーとは別の時計用電池で動いています。カメラにバッテリーを入れるかACアダプターを接続すると、時計用電池が約10時間で充電され、数日間、設定した日時を記憶できます。

⌂（自宅）の設定について

- 自宅のタイムゾーンに戻すには、手順2で⌂[**自宅**]を選び、Ⓚボタンを押してください。
- 自宅のタイムゾーンを変更するには、手順2で⌂［**自宅**］を選び、✈［**訪問先**］と同様の手順でタイムゾーンを変更してください。

夏時間の設定について

夏時間（サマータイム）が始まったときや終わったときは、手順4の地域設定画面で、夏時間のオンとオフを切り換えてください。

日付を画像に写し込むには

日時を設定した後に、セットアップメニューの［**デート写し込み**］（🕮159）で設定します。[**デート写し込み**]を設定して撮影すると、撮影日時を画像に写し込んで記録できます。

タイムゾーンについて

時差とタイムゾーンの関係は以下の表をご覧ください。
この表にない時差は、正しい時刻を［**日時設定**］で合わせてください。

時差 +/–	タイムゾーン	時差 +/–	タイムゾーン
–20	Midway, Samoa（ミッドウェー、サモア）	–8	Madrid, Paris, Berlin（マドリード、パリ、ベルリン）
–19	Hawaii, Tahiti（ハワイ、タヒチ）	–7	Athens, Helsinki, Ankara（アテネ、ヘルシンキ、アンカラ）
–18	Alaska, Anchorage（アラスカ、アンカレッジ）	–6	Moscow, Nairobi, Riyadh, Kuwait, Manama（モスクワ、ナイロビ、リヤド、クウェート、マナマ）
–17	PST (PDT): Los Angeles, Seattle, Vancouver（ロサンゼルス、シアトル、バンクーバー）	–5	Abu Dhabi, Dubai（アブダビ、ドバイ）
–16	MST (MDT): Denver, Phoenix（デンバー、フェニックス）	–4	Islamabad, Karachi（イスラマバード、カラチ）
–15	CST (CDT): Chicago, Houston, Mexico City（シカゴ、ヒューストン、メキシコシティー）	–3.5	New Delhi（ニューデリー）
–14	EST (EDT): New York, Toronto, Lima（ニューヨーク、トロント、リマ）	–3	Colombo, Dhaka（コロンボ、ダッカ）
–13.5	Caracas（カラカス）	–2	Bangkok, Jakarta（バンコク、ジャカルタ）
–13	Manaus（マナウス）	–1	Beijing, Hong Kong, Singapore（北京、香港、シンガポール）
–12	Buenos Aires, Sao Paulo（ブエノスアイレス、サンパウロ）	±0	Tokyo, Seoul（東京、ソウル）
–11	Fernando de Noronha（フェルナンド・デ・ノローニャ）	+1	Sydney, Guam（シドニー、グアム）
–10	Azores（アゾレス）	+2	New Caledonia（ニューカレドニア）
–9	London, Casablanca（ロンドン、カサブランカ）	+3	Auckland, Fiji（オークランド、フィジー）

モニター設定

MENUボタンを押す ➔ ¥（セットアップメニュー）（□153）➔ モニター設定

以下の項目を設定します。

撮影後の画像表示

［**ON**］（初期設定）：撮影直後に、撮影した画像を表示してから撮影画面に戻ります。

［**OFF**］：撮影直後に、撮影した画像を表示しません。

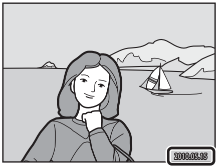
画面の明るさ

画面の明るさを5段階で調節できます。初期設定は［**3**］です。

DATE デート写し込み（日付の写し込み）

MENUボタンを押す ➔ ▼（セットアップメニュー）（□153）➔ デート写し込み

撮影時に日時を画像に写し込んで記録できます。日付の印字（□109）に対応していないプリンターでも日付入りの画像をプリントできます。



OFF（初期設定）

日付、時刻のどちらも写し込みません。

年・月・日

画像に日付を写し込みます。

年・月・日・時刻

画像に日付と時刻を写し込みます。

デート写し込みの設定は、撮影時の画面で確認できます（□8）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

✔ デート写し込みについてのご注意

- 一度写し込まれた日時を画像から消したり、撮影した後で日時を写し込むことはできません。
- 以下の場合は日時を写し込めません。
  - シーンモードの［**夜景**］、［**ミュージアム**］、［**逆光HDR**］または［**パノラマアシスト**］にしたとき
  - ［**連写**］の設定（□86）が［**連写 H**］、［**連写 L**］または［**BSS**］のとき
  - ［**ブラケティング**］（□89）を使うとき
  - ベストフェイスモードで［**笑顔自動シャッター**］または［**目つぶり軽減**］（□58）が［**ON**］のとき
  - スポーツ連写モードのとき
  - 動画撮影のとき
- ［**画像サイズ**］（□76）が VGA［**640×480**］の画像にデート写し込みを行うと、写し込んだ日付が読みづらいことがあります。画像サイズは PC［**1024×768**］以上に設定してください。
- 年月日の並びは、［**日時設定**］（□22、155）での設定と同じになります。

「デート写し込み」と「プリント指定」について

日付や撮影情報の印刷が可能なDPOF対応のプリンターでプリントするときは、［**デート写し込み**］で日時を写し込んでいない画像でも、［**プリント指定**］（□108）で撮影日時や撮影情報をプリントするように設定できます。

手ブレ補正

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）（□153）➔ 手ブレ補正

静止画を撮影するときの手ブレ補正を設定します。望遠側での撮影やスローシャッターでの撮影時に起こりがちな手ブレを補正します。
三脚などでカメラを固定して静止画を撮影するときは、手ブレ補正を［**OFF**］にしてください。

ON (ハイブリッド)

イメージセンサーシフト方式で静止画撮影時の手ブレを光学的に補正し、さらに以下の条件になると、画像処理による電子式手ブレ補正を加えて記録します。

- フラッシュを発光しないとき
- シャッタースピードが 1/60 秒より低速のとき
- セルフタイマーが OFF のとき
- ［**連写**］の設定が［**単写**］のとき
- ［**ブラケティング**］の設定が［**OFF**］のとき
- ISO 感度が 200 以下のとき

ON（初期設定）

イメージセンサーシフト方式で静止画撮影時の手ブレを補正します。また、流し撮りでは、カメラが流し撮りの方向を自動的に検出し、手ブレによる揺れのみを補正します。
たとえば、横方向に流し撮りするときには縦方向の手ブレだけが、縦方向に流し撮りするときには横方向の手ブレだけが補正されます。

OFF

手ブレ補正をしません。

手ブレ補正の設定は、撮影時の画面で確認できます（□8、27）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

動画の手ブレ補正について

動画撮影時の手ブレ補正は、動画メニュー（□132）の［**電子式手ブレ補正**］（□136）で設定します。

手ブレ補正についてのご注意

- カメラの電源をONにした直後、または再生モードから撮影モードに切り換えた直後は、液晶モニターの画像が安定してから撮影してください。
- 手ブレ補正の原理上、撮影直後に液晶モニターの画像がずれて見えることがあります。
- 手ブレ補正機能を設定しても、撮影状況によっては手ブレを完全に補正できないことがあります。
- ブレが極端に小さいときや大きいときは、［**ON (ハイブリッド)**］に設定しても電子式手ブレ補正で画像補正できないことがあります。
- シャッタースピードが速いとき、または極端に遅いときは、［**ON (ハイブリッド)**］に設定しても電子式手ブレ補正は作動しません。
- ［**ON (ハイブリッド)**］で電子式手ブレ補正が作動するときは、撮影すると自動的にシャッターを2回きって画像補正をするため、通常よりも画像の記録に時間がかかります。［**シャッター音**］（📖165）が鳴るのは1回目のみです。記録する画像は1コマです。

モーション検知

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）（□153）➔ モーション検知

静止画を撮影するときに被写体ブレや手ブレを軽減する「モーション検知」機能を設定します。

AUTO

カメラが被写体の動きや手ブレを検知すると、ブレを軽減するためにISO感度を上げてシャッタースピードを速くします。
ただし、以下の場合はモーション検知は作動しません。

- フラッシュが強制発光のとき
- 以下のシーンモードのとき
  - ［**夜景ポートレート**］
  - ［**トワイライト**］
  - ［**夜景**］
  - ［**ミュージアム**］
  - ［**打ち上げ花火**］
  - ［**逆光**］
- 撮影モード **P**、**S**、**A**、**M**、**U** のとき
- ターゲット追尾モードのとき
- スポーツ連写モードのとき

OFF（初期設定）

モーション検知をしません。

モーション検知の設定は、撮影時の画面で確認できます（□8）。
カメラがブレを検知してシャッタースピードを速くしたときは、モーション検知表示は緑色に変わります。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

モーション検知のご注意

- モーション検知を設定しても、撮影状況によっては手ブレや被写体ブレを完全に軽減できないことがあります。
- 極端にブレているときや暗すぎるときは、モーション検知が作動しないことがあります。
- 撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

AF補助光

MENUボタンを押す ➔ (セットアップメニュー)(153) ➔ AF補助光

暗い場所などでオートフォーカスによるピント合わせを補助するAF補助光の点灯/非点灯を設定します。

AUTO(初期設定)

暗い場所などで自動的にAF補助光が点灯します。AF補助光が届く距離は、広角側で約10 m、望遠側で約3.5 mです。ただし、[**AUTO**]に設定していても、AFエリアの位置やシーンモードによっては点灯しない場合があります。

OFF

AF補助光は点灯しません。暗い場所などでピントが合いにくくなることがあります。

赤目軽減プリ発光

MENUボタンを押す ➔ (セットアップメニュー)(153) ➔ 赤目軽減プリ発光

フラッシュモード(34)が(赤目軽減自動発光)のときの赤目軽減方式を選びます。

ON(初期設定)

フラッシュが本発光する前に、小光量で数回発光する「プリ発光」で赤目現象の発生を軽減してから、画像補正による赤目軽減処理をします。
シャッターボタンを押してから、シャッターがきれるまでに、通常よりも時間がかかります。

OFF

プリ発光しません。シャッターボタンの全押しですぐにシャッターをきり、画像補正による赤目軽減処理をします。

回 電子ズーム

MENUボタンを押す ➔ 🔧（セットアップメニュー）（□153）➔ 電子ズーム

電子ズームの動作を設定します。

ON（初期設定）	
	光学ズームが最も望遠側にある状態でズームレバーを**T**（🔍）方向に回すと、電子ズーム（□29）が作動します。
クロップ	
	ズーム倍率をズーム表示の凸マークの位置までに制限します（動画撮影中を除く）。撮影する静止画の画質が電子ズームで劣化しない範囲にズーム倍率を制限します。 画像サイズが10M［**3648×2736**］、8M［**3264×2448**］、3:2［**3648×2432**］、16:9［**3584×2016**］、1:1［**2736×2736**］のときは、電子ズームが使えません。
OFF	
	電子ズームは作動しません（動画撮影中を除く）。

✔ 電子ズームについてのご注意

- 電子ズームの作動中はAFエリア（□90）が［**中央**］に固定されます。
- 以下の場合は電子ズームは使えません。
  - フォーカスモード（□38）がMF（マニュアルフォーカス）のとき
  - シーンモードが［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］、［**夜景**］、［**打ち上げ花火**］または［**逆光HDR**］のとき
  - おまかせシーンモードのとき
  - ベストフェイスモードのとき
  - ターゲット追尾モードのとき
  - ［**連写**］（□86）の設定が［**マルチ連写**］のとき
- 電子ズームが1.2～1.8倍のときには、［**測光方式**］は［**中央部重点**］に、2.0～4.0倍のときには［**スポット**］になります。

操作音

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）（□153）➔ 操作音

操作音について設定します。

設定音

設定音（電子音1回：設定完了時など）、合焦音（電子音2回：ピントが合ったとき）、警告音（電子音3回：禁止動作を行ったときなど）およびオープニング音の［**ON**］（初期設定）/［**OFF**］を設定します。

シャッター音

シャッターをきったときのシャッター音の［**ON**］（初期設定）/［**OFF**］を設定します。

- 連写時または動画の撮影時は、［**ON**］に設定しても、シャッター音は鳴りません。

オートパワーオフ

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）（□153）➔ オートパワーオフ

電源をONにしたまま何も操作しないで一定時間が過ぎると、カメラはバッテリーの消耗を抑えるために液晶モニターを消灯し、待機状態（□21）に入ります。待機状態になると、電源ランプが点滅します。何も操作しないでさらに約3分経過すると、電源がOFFになります。
このメニューでは、カメラの無操作時に待機状態に入るまでの時間を［**30 秒**］、［**1 分**］（初期設定）、［**5 分**］、または［**30 分**］から選べます。

待機状態の解除

以下のボタンを押すと、待機状態を解除できます。

- 電源スイッチ
- シャッターボタン
- ▶ボタン

モードダイヤルを回しても、待機状態を解除できます。

オートパワーオフについてのご注意

以下の場合、待機状態に入るまでの時間は固定です。

- メニュー表示中：3分
- スライドショー再生中：最大30分
- ACアダプター EH-62A接続中：30分

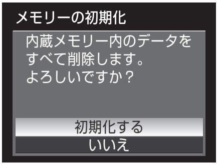
/ メモリー/カードの初期化（フォーマット）

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）（□153）
➔ メモリーの初期化/カードの初期化

内蔵メモリーまたはSDカードを初期化（フォーマット）します。

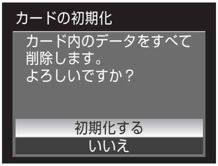
内蔵メモリーの初期化

内蔵メモリーを初期化するときは、SDカードを取り出してください。セットアップメニューの項目に［**メモリーの初期化**］が表示されます。



SDカードの初期化

SDカードをカメラに入れると、SDカードを初期化できます。セットアップメニューの項目に［**カードの初期化**］が表示されます。



初期化についてのご注意

- **内蔵メモリー/SDカードを初期化すると、内蔵メモリー/SDカード内のデータはすべて削除されます。**必要なデータは初期化する前にパソコンなどに転送してください。
- 初期化中は、電源をOFFにしたり、バッテリー/SDカードカバーを開けたりしないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラで初めて使うときは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。

言語/Language

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）（□153）➔ 言語/Language

画面に表示する言語を、日本語（初期設定）または英語に設定します。

TV出力設定

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）（□153）➔ TV出力設定

テレビとの接続に必要な設定をします。

ビデオ出力	
	ビデオの出力方式を［**NTSC**］と［**PAL**］から選べます。 ［**NTSC**］と［**PAL**］はいずれも、アナログカラーテレビ放送の規格です。日本ではNTSC方式が、欧州ではPAL方式が主流です。
HDMI	
	HDMI出力時の画像の解像度を［**オート**］（初期設定）、［**480p**］、［**720p**］または［**1080i**］から選べます。［**オート**］にすると、接続するハイビジョンテレビに対応した解像度を［**480p**］、［**720p**］または［**1080i**］から自動で選んで出力します。

パソコン接続充電

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）（□153）➔ パソコン接続充電

カメラをパソコンにUSBケーブルで接続したときに、カメラ内のバッテリーを充電するかどうかを設定します（□145）。

AUTO（初期設定）	
	カメラを起動済みのパソコンに接続したときに、パソコンからの電力供給状態に応じて、カメラ内のバッテリーを充電します。
OFF	
	カメラをパソコンに接続しても、カメラ内のバッテリーを充電しません。

カメラとプリンターを接続してプリントするときのご注意

- カメラをPictBridge対応プリンターに接続しても、バッテリーの充電はできません。
- プリンターによっては、［**パソコン接続充電**］を［**AUTO**］にするとプリントできない場合があります。プリンターに接続して電源がONになってもカメラに［**PictBridge**］画面が表示されないときは、カメラの電源をいったんOFFにしてUSBケーブルを外し、［**パソコン接続充電**］を［**OFF**］に設定してから、接続をやり直してください。

目つぶり検出設定

MENUボタンを押す ➔ ¥（セットアップメニュー）（□153）➔ 目つぶり検出設定

以下の撮影モードで顔認識撮影（□91）したときに、目つぶりを検出するかどうかを設定します。

- おまかせシーンモード（□43）
- シーンモードの［**ポートレート**］（□46）または［**夜景ポートレート**］（□47）
- 撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**、**U**（AFエリア選択が［**顔認識オート**］（□90）のとき）

ON

顔認識して撮影した直後に、被写体の人物が目を閉じて写っている可能性があるとカメラが検出したときは、液晶モニターに［**目つぶり確認**］画面を表示します。
目を閉じて写っている可能性のある人物の顔が黄色い枠で囲まれます。撮影した画像を見て、撮り直すかどうかを確認できます。
→「［目つぶり確認］画面の操作方法」（□170）

OFF（初期設定）

目つぶり検出をしません。

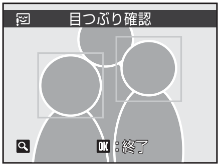
カメラに関する基本設定

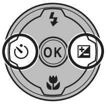
目つぶり検出設定についてのご注意

［**連写**］（□86）の設定が［**単写**］以外のときは、目つぶり検出をしません。

[目つぶり確認] 画面の操作方法

[**目つぶり確認**] 画面が表示されたときは、以下の操作ができます。
何も操作しないまま数秒経過すると、自動的に撮影画面に戻ります。



機能	ボタン	内容
目つぶり検出した顔を拡大表示する	**T**（Q）	ズームレバーを**T**（Q）方向に回します。
1コマ表示に戻る	**W**（▦）	ズームレバーを**W**（▦）方向に回します。
表示する顔を切り換える		複数の人物の目つぶりを検出した場合、拡大表示中に▲▼◀ ▶を押すと、拡大表示する顔が切り換わります。
撮影した画像を削除する	🗑	🗑ボタンを押します。
撮影画面に戻る	OK 	OK ボタンまたはシャッターボタンを押します。

C 設定クリアー

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）（□153）➔ 設定クリアー

［**はい**］を選ぶと、カメラの設定が初期設定にリセットされます。

撮影の基本機能

項目	初期設定
フラッシュモード（□34）	自動発光
セルフタイマー（□37）	OFF
フォーカスモード（□38）	通常AF
露出補正（□41）	0.0

シーンモード

項目	初期設定
シーンメニュー（□45）	ポートレート
料理モードの色合い（□50）	中央

ベストフェイスメニュー

項目	初期設定
美肌効果（□57）	標準
笑顔自動シャッター（□57）	ON
目つぶり軽減（□58）	OFF

ターゲット追尾メニュー

項目	初期設定
AFモード（□61）	常時AF

スポーツ連写メニュー

項目	初期設定
高速連写設定（□64）	高速連写オート
先取り撮影（□64）	OFF
画質（□64）	NORMAL

動画メニュー

項目	初期設定
動画設定（□133）	HD1080p★（1920×1080）
HS動画設定（□134）	240 fps
AFモード（□135）	シングルAF
電子式手ブレ補正（□136）	ON
風切り音低減（□136）	OFF

撮影メニュー

項目	初期設定
画質（□75）	NORMAL
画像サイズ（□76）	10M 3648×2736
仕上がり設定（□79）	標準
仕上がり設定のカスタマイズ（□80）	コントラスト：オート 輪郭強調：オート 彩度調整：オート
仕上がり設定の白黒のカスタマイズ（□81）	コントラスト：オート 輪郭強調：オート モノクロフィルター：OFF カラー同時記録：OFF
ホワイトバランス（□82）	オート
ISO感度設定（□84）	オート
感度制限オート（□84）	ISO 160-200
低速限界設定（□84）	OFF
測光方式（□85）	マルチパターン
連写（□86）	単写
インターバル撮影（□87）	30 秒
ブラケティング（□89）	OFF
AFエリア選択（□90）	オート
AFモード（□93）	シングルAF
調光補正（□93）	0.0
ノイズ低減（□94）	AUTO
ゆがみ補正（□94）	OFF
Active D-ライティング（□95）	OFF

セットアップメニュー

項目	初期設定
オープニング画面（□154）	なし
撮影後の画像表示（□158）	ON
画面の明るさ（□158）	3
デート写し込み（□159）	OFF
手ブレ補正（□160）	ON
モーション検知（□162）	OFF
AF補助光（□163）	AUTO
赤目軽減プリ発光（□163）	ON
電子ズーム（□164）	ON
設定音（□165）	ON
シャッター音（□165）	ON
オートパワーオフ（□165）	1 分
HDMI（□167）	オート
パソコン接続充電（□168）	AUTO
目つぶり検出設定（□169）	OFF

その他

項目	初期設定
用紙設定（□148、149）	プリンターの設定
スライドショーのインターバル設定（□110）	3 秒

- ［**設定クリアー**］を行うと、ファイル番号の連番（□181）もクリアーされます。クリアー後に撮影した画像には、内蔵メモリー /SDカード内の最大ファイル番号の次の番号から連番が付けられます。内蔵メモリー/SDカード内の画像をすべて削除（□111）してから、［**設定クリアー**］をすると、次に撮影する画像の連番は「0001」から始まります。
- 以下の項目は、［**設定クリアー**］を行っても初期設定には戻りません。
  撮影メニュー：［**ホワイトバランス**］のプリセットマニュアルデータ（□83）
  再生メニュー：［**連写グループ表示方法**］（□116）、［**連写の代表画像選択**］（□116）
  セットアップメニュー：［**日時設定**］（□155）、［**言語/Language**］（□167）、［**TV出力設定**］の［**ビデオ出力**］（□167）
- モードダイヤル**U**に登録したユーザーセッティングの内容は、［**設定クリアー**］では初期設定に戻りません。［**User Setting リセット**］（□100）で初期設定に戻してください。

R 連番リセット

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）（□153）➔ 連番リセット

［**はい**］を選ぶと、ファイル番号の連番（□181）をリセットします。リセットすると新しい記録フォルダーが作られ、次に撮影する画像の連番は、「0001」から始まります。

✔ 連番リセットのご注意

- シーンモードが［**パノラマアシスト**］のとき、または撮影モードが **P**、**S**、**A**、**M**、**U** で、［**連写**］の設定が［**インターバル撮影**］のときは［**連番リセット**］ができません。［**パノラマアシスト**］または［**インターバル撮影**］では、撮影のたびに新しいフォルダーが作られ、ファイル番号「0001」から始まる一連の画像が保存されます（□181、182）。
- フォルダー番号が999に達し、そのフォルダー内にファイルがあるときは、［**連番リセット**］ができません。SDカードを交換するか、内蔵メモリー/SDカードを初期化（□166）する必要があります。

Ver. バージョン情報

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）（□153）➔ バージョン情報

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。



カメラのお手入れ方法

クリーニングについて

レンズ/電子ビューファインダー

レンズや電子ビューファインダーのガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないように注意してください。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布などでガラス部分の中央から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。汚れが取れないときは、乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。硬いもので拭くと傷が付くことがありますのでご注意ください。

液晶モニター

ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やセーム革などで軽く拭き取ってください。強く拭くと破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。

カメラボディー

ゴミやホコリをブロアーで吹き払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。
ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

保管について

長期間カメラをお使いにならないときは、バッテリーを取り出してください。バッテリーを取り出す前に、電源がOFFになっていることをご確認ください。
以下の場所にカメラを保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50 ℃以上、または－10 ℃以下の場所
- 湿度が60 %を超える場所

取り扱い上のご注意

カメラについて

● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 水に濡らさないでください

カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えないでください

極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。カメラをバックやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は撮像素子の褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際撮影された画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● 保管する際には

カメラを長期間お使いにならないときは、必ずバッテリーを取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、月に一度を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。

● バッテリーやACアダプターを取り外すときは必ず電源をOFFにしてください

電源がONの状態で、バッテリーやACアダプターを取り外すと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

● 液晶モニターについて

- 液晶モニターの特性上、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。記録される画像には影響はありません。
- 屋外では日差しの加減で液晶モニターが見えにくいことがあります。
- 液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因になります。ホコリやゴミなどが付着したときは、ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革などで軽く拭き取ってください。万一、液晶モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますので充分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

バッテリーについて

● 使用上のご注意

- 長時間お使いになったバッテリーは、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 周囲の温度が 0～40 ℃ の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。バッテリーの性能劣化や故障の原因となります。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたときは、すぐに使用を中止して、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、必ず付属の端子カバーを付けてください。

● 充電について

撮影の前に、充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されておりませんので、ご注意ください。

- 周囲の温度が 5～35 ℃ の室内で充電してください。
- このカメラを本体充電ACアダプター EH-68Pまたはパソコンに接続して充電する場合、バッテリーの温度が45～60 ℃のときは、充電できる容量が少なくなることがあります。バッテリーの温度が 0 ℃ 以下、60 ℃ 以上のときは、充電をしません。
- 充電が完了したバッテリーを、続けて再充電しないでください。バッテリー性能が劣化します。
- 充電直後にバッテリーの温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。
- カメラの使用直後など、バッテリー内部の温度が高くなっているときは、バッテリーの温度が下がるのを待ってから充電してください。バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になるばかりでなく、バッテリーの性能が劣化する原因となります。

● 予備バッテリーを用意する

撮影の際は、予備バッテリーをご用意ください。特に、日本国外の地域によっては入手が困難な場合がありますので、ご注意ください。

● 低温時のバッテリーについて

バッテリーは一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温時にお使いになるときは、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。

● 低温時には容量の充分なバッテリーを使い、予備のバッテリーを用意する

消耗したバッテリーを低温時に使うと、カメラが作動しないことがあります。低温時の撮影には充分に充電したバッテリーと予備のバッテリーを用意してください。予備のバッテリーは保温し、交互にあたためながらお使いください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使える場合があります。

● バッテリー接点について

バッテリーの接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがありますので、ご注意ください。汚れた接点は、乾いた布できれいに拭いてからお使いください。

● 残量について

残量のなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなったバッテリーは、充電してからお使いください。

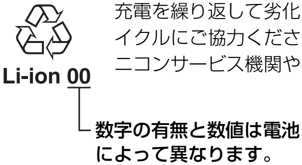
● 保管について

- バッテリーをお使いにならないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。カメラやバッテリーチャージャーに取り付けたままにしておくと、電源が切れていても微小電流が流れ続けることで過放電になり、使えなくなるおそれがあります。
- バッテリーは、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。
- バッテリーは付属の端子カバーを付けて、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15～25 ℃くらいの乾燥したところをおすすめします。暑いところや極端に寒いところは避けてください。

● 寿命について

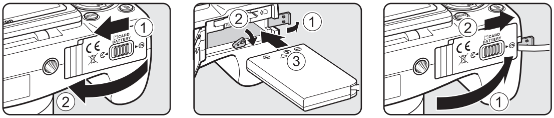
充分に充電したにもかかわらず、バッテリーの使用期間が極端に短くなってきたときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

● リサイクルについて



充電を繰り返して劣化し、使えなくなったバッテリーは、廃棄しないでリサイクルにご協力ください。接点部にテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。

別売アクセサリー

充電式バッテリー	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL5
本体充電AC アダプター	本体充電ACアダプター EH-68P※1
充電器	バッテリーチャージャー MH-61※2
ACアダプター	ACアダプター EH-62A※2 ＜EH-62Aの取り付け方＞ 1 2 3  バッテリー/SDカードカバーを閉める前に、ACアダプターのコードをバッテリー室の溝に奥まで入れてください。コードが溝からはみ出していると、カバーを閉めたときにカバーやコードを破損するおそれがあります。
USBケーブル	USBケーブル UC-E6
AVケーブル	オーディオビデオケーブル EG-CP14
レンズキャップ	レンズキャップ LC-CP21

※1 日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめのうえ、お買い求めください。

※2 日本国内専用電源コード（AC 100 V 対応）付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。
また、オンラインショップ（ニコンダイレクト）http://shop.nikon-image.com/ でもお求めいただけます。

推奨SDカード

以下のSDカードの動作を確認しています。

- 動画の撮影には、SDスピードクラス※1がClass 6以上のSDカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。

SanDisk	2 GB※2、4 GB※3、8 GB※3、16 GB※3、32 GB※3
TOSHIBA	2 GB※2、4 GB※3、8 GB※3、16 GB※3、32 GB※3
Panasonic	2 GB※2、4 GB※3、8 GB※3、12 GB※3、16 GB※3、32 GB※3
Lexar	2 GB※2、4 GB※3、8 GB※3

※1 SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードの読み出し/書き込み時の転送速度の規格です。

※2 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2 GBのSDカードに対応している必要があります。

※3 SDHC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。

上記カードの機能、動作の詳細については、各カードメーカーにお問い合わせください。最新の動作確認済みSDカードについては、当社ホームページのサポート情報をご覧ください。

記録データのファイル名とフォルダー名

このカメラで撮影した静止画、動画、および音声メモには、以下のようにファイル名が付けられます。

DSCN0001.JPG

識別子
（カメラの画面には表示されません）

編集していない静止画および付随する音声メモ、動画	DSCN
スモールピクチャー画像および付随する音声メモ	SSCN
トリミング画像および付随する音声メモ	RSCN
トリミングとスモールピクチャー以外の画像編集で作成した画像および付随する音声メモ	FSCN

ファイル番号
（0001からの連番で付けられます）

拡張子
（ファイルの種類を示します）

静止画	.JPG
動画	.MOV
音声メモ	.WAV

- ファイルを保存するフォルダーは、「フォルダー番号 ＋ NIKON」（例：100NIKON）という名前で、自動的に作られます。フォルダー内のファイル数が200に達すると、新しいフォルダーが作られます（例：100NIKON→101NIKON）。フォルダー内のファイル番号が9999に達したときや［**連番リセット**］（□174）したときも新しいフォルダーが作られ、ファイル番号は0001に戻ります。
  フォルダー内にファイルがないときは、［**連番リセット**］をしても新しいフォルダーは作られません。
- 音声メモのファイル名は、音声メモを録音した画像と同じ識別子とファイル番号になります。
- パノラマアシストモード（□53）では、撮影のたびに「フォルダー番号＋P_XXX」という名前のフォルダー（例：101P_001）が作られ、ファイル番号0001から始まる一連の画像が保存されます。
- インターバル撮影（□87）では撮影のたびに「フォルダー番号 ＋ INTVL」という名前のフォルダー（例：101INTVL）が作られ、ファイル番号0001から始まる一連の画像が保存されます。

記録データのファイル名とフォルダー名

- 内蔵メモリーとSDカードの間で記録データをコピーする場合(□115)、ファイル名は以下のようになります。
  - 「選択画像コピー」:
    使用中のフォルダー(または次回の撮影で使われるフォルダー)に、データがコピーされます。コピーされたデータのファイル名は、「内蔵メモリーおよびSDカード内の最大ファイル番号+1」から連番で付けられます。
  - 「全画像コピー」:
    データはフォルダーごとにコピーされます。フォルダー名は「コピー先の最大フォルダー番号+1」から連番で付けられます。
    ファイル名は変わりません。
- フォルダー番号が 999 のときにファイル数が 200 個またはファイル番号が9999に達すると、それ以上撮影できません。SDカードを交換するか、内蔵メモリー/SDカードを初期化(□166)してください。

警告メッセージ

画面に表示される警告メッセージの意味は、以下のとおりです。

表示	意味	対処法	📖
（点滅）	カメラの時計が設定されていません。	日付と時刻を設定してください。	155
	バッテリーの残量が少なくなりました。	バッテリーの充電や交換の準備をしてください。	16、18
電池残量がありません	バッテリーの残量がありません。	バッテリーを充電または交換してください。	16、18
電池が高温です	バッテリーの温度が高温になっています。	電源をOFFにして、バッテリーの温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。このメッセージが出ると5秒後に液晶モニターが消灯し、電源ランプが高速点滅を開始します。ランプの点滅が3分続くと電源は自動的にOFFになりますが、電源スイッチを押してもOFFにできます。	21
カメラが高温です。電源をOFFします	カメラの内部が高温になっています。自動的にカメラの電源がOFFになります。	カメラ内部の温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。	–
AF● （赤色点滅）	ピントを合わせることができません。	• ピントを合わせ直してください。 • フォーカスロック撮影をお試しください。	30、31 31
記録中 しばらくお待ちください	画像の記録中です。	記録が終了して警告表示が消えるまでお待ちください。	–
カードがロックされています	SDカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。	「Lock」を解除してください。	25
このカードは使えません	SDカードへのアクセス異常です。	• 動作確認済みのカードを使ってください。 • カードの端子部分が汚れていないか確認してください。 • カードが正しく挿入されているか確認してください。	180 24 24
カードに異常があります			

表示	意味	対処法	
このカードは初期化されていません。初期化しますか？ はい いいえ	SDカードが、このカメラ用に初期化されていません。	初期化するとカード内のデータはすべて削除されるため、カード内に必要なデータが残っているときは、［**いいえ**］を選び、初期化する前にパソコンなどに保存してください。［**はい**］を選んでOKボタンを押すと、SDカードを初期化できます。	25
メモリー残量がありません	データを記録する空き容量がありません。	• 画質または画像サイズを変更してください。 • 不要な画像を削除してください。 • SDカードを交換してください。 • SDカードをカメラから取り出し、内蔵メモリーを使ってください。	75、76 32、111、137 24 24
画像を保存できません	画像記録中にエラーが発生しました。	内蔵メモリー /SD カードを初期化してください。	166
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。	SD カードを交換するか、内蔵メモリー /SD カードを初期化してください。	24、166
	オープニング画面に登録できない画像です。	以下の画像は登録できません。 • ［**画像サイズ**］を 3:2［**3648 × 2432**］、16:9［**3584 × 2016**］または 1:1［**2736 × 2736**］にして撮影した画像 • スモールピクチャーやトリミングで作成した画像サイズ 160 × 120 以下の画像	76 124、126
	画像コピー先の容量不足です。	コピー先の不要な画像を削除してください。	111
目つぶり検出した画像を記録しました	記録した画像に目を閉じた人がいるかもしれません。	画像を再生して確認してください。	58
この画像は編集できません	編集できない画像を編集しようとしました。	• 編集可能な条件を確認してください。 • 動画は編集できません。	118 –

表示	意味	対処法	
動画記録できません	SDカードに動画を記録するのに時間がかかっています。	画像記録処理の速いSDカードに交換してください。	180
連番リセットできません	これ以上新しいフォルダーを作成できません。	SDカードを交換するか、内蔵メモリー/SDカードを初期化してください。	24、166、174
撮影画像がありません	撮影済みの画像がありません。	• 内蔵メモリーに記録した画像を再生するときは、SDカードをカメラから取り出してください。 • 内蔵メモリーからSDカードにコピーする場合は、MENUボタンを押すと画像コピー画面が表示され、内蔵メモリー内の画像をSDカードにコピーできます。	24 115
このファイルは表示できません	COOLPIX P100以外で作成されたファイルです。	このカメラでは再生できません。ファイルを作成または編集したパソコンなどで再生してください。	–
このデータは再生できません			
表示できる画像がありません	スライドショーで表示できる画像がありません。	–	110
	内蔵メモリー/SDカード内の画像がすべて非表示設定されています。	［**非表示設定**］で画像の非表示設定を解除してください。	114
このファイルは削除できません	画像にプロテクトがかかっています。	プロテクトを解除してください。	113
自宅と訪問先が同じタイムゾーンです	自宅と訪問先を同じタイムゾーンに設定しました。	–	157
モードダイヤルの位置がずれています	モードダイヤルが正しい位置にセットされていません。	モードダイヤルを回して、カメラの指標にいずれかのモードを合わせてください。	42

表示	意味	対処法	📖
❶ フラッシュポップアップボタンを押して、フラッシュを上げてください	シーンモードが［**夜景ポートレート**］または［**逆光**］のときに、内蔵フラッシュが閉じています。	⚡（フラッシュポップアップ）ボタンを押して内蔵フラッシュをポップアップしてください。	35、47、51
❶ フラッシュが閉じています	おまかせシーンモードのときに内蔵フラッシュが閉じています。	⚡（フラッシュポップアップ）ボタンを押して内蔵フラッシュをポップアップしてください。フラッシュを使いたくないときは、内蔵フラッシュを閉じたままでも撮影できます。	35、43
❶ フラッシュを閉じてください	動画撮影時に内蔵フラッシュがポップアップしています。	内蔵フラッシュを静かに閉じて撮影してください。閉じるときの音が録音されることがありますのでご注意ください。	35、127
❗ レンズエラー (レンズキャップが付いているときは、外してから電源を入れなおしてください)	レンズの作動不良です。	レンズキャップが付いているときは、外してから電源を入れ直してください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	21
ⓘ 通信エラー	プリンターとの通信中にエラーが発生しました。	カメラの電源をOFFにして、USBケーブルの接続をやり直してください。	141、147
システムエラー ❗	カメラの内部回路にエラーが発生しました。	電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し、もう一度電源をONにしてください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	21
ⓘ🖨 プリンターエラー：プリンターを確認してください	プリンターに異常があります。	プリンターを確認し、エラーの原因を取り除いた後、［**継続**］を選んでⓚボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
ⓘ🖨 プリンターエラー：用紙を確認してください	指定したサイズの用紙がセットされていません。	指定したサイズの用紙をセットした後、［**継続**］を選んでⓚボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
ⓘ🖨 プリンターエラー：紙詰まりです	用紙が詰まりました。	詰まった用紙を取り除いた後、［**継続**］を選んでⓚボタンを押し、プリントを再開してください。※	–

表示	意味	対処法	📖
ⓘ✍ プリンターエラー：用紙がありません	用紙がセットされていません。	指定したサイズの用紙をセットした後、[**継続**] を選んでⓚボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
ⓘ✍ プリンターエラー：インクを確認してください	インクに異常があります。	インクを確認した後、[**継続**] を選んでⓚボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
ⓘ✍ プリンターエラー：インクがありません	インクがなくなりました。	インクを交換した後、[**継続**] を選んでⓚボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
ⓘ✍ プリンターエラー：ファイルが異常です	プリントする画像ファイルに異常があります。	[**キャンセル**] を選んでⓚボタンを押し、プリントを中止してください。	–

※プリンターの使用説明書もあわせてご覧ください。

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

表示・設定・電源関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
液晶モニターや電子ビューファインダーに何も映らない	• 電源が入っていません。 • バッテリー残量がありません。 • 節電機能により待機状態になっています。電源スイッチ、シャッターボタンまたは ▶ ボタンを押すか、モードダイヤルを回してください。 • 液晶モニターと電子ビューファインダーは同時に点灯しません。|□| ボタンを押して点灯させたい方に切り換えてください。 • カメラとパソコンがUSBケーブルで接続されています。 • カメラとテレビが AV ケーブルまたは HDMI ケーブルで接続されています。 • インターバル撮影中です。 • 本体充電 AC アダプターでコンセントに接続しているときは、電源は ON にできません。	21 26 21、33 14 140 138 87 20
液晶モニターがよく見えない	• 周囲の光が明るすぎます。暗い場所に移動するか、電子ビューファインダーをお使いください。 • 液晶モニターの明るさを調整してください。 • 液晶モニターが汚れています。	14 158 175
電子ビューファインダー内がはっきり見えない	視度調節ダイヤルで調節してください。	14
|□|ボタンを押してもモニターが液晶モニター（または電子ビューファインダー）に切り換わらない	• 以下の場合、モニターの切り換えはできません。 - 動画の撮影中および再生中 - 音声メモの録音中および再生中 - インターバル撮影中 - プリンターに接続中 - 画像の削除画面の表示中 • 警告内容によっては、警告メッセージの表示中は、モニターの切り換えができません。	 127、137 117 87 147 32、33 183
カメラの電源が突然切れる	• バッテリー残量がありません。 • 無操作状態が続いたため、オートパワーオフ機能が働きました。 • カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。 • 低温下ではカメラやバッテリーが正常に動作しないことがあります。 • カメラの電源を ON にしたまま、本体充電 AC アダプターを接続すると電源が OFF になります。 • パソコンまたはプリンターとの接続中に USB ケーブルが外れると電源が OFF になります。USB ケーブルの接続をやり直してください。	26 21 – 177 18 141、147

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影日時が正しく表示されない	• 日時を設定していない（撮影時に日時未設定マークが点滅している）場合は、静止画の撮影日時が「0000/00/00 00:00」、動画の撮影日時が「2010/01/01 00:00」と記録されます。セットアップメニュー［**日時設定**］で日時を正しく設定してください。 • 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くないので、定期的に日時設定を行うことをおすすめします。	22、155 155
撮影情報や画像情報が表示されない	撮影情報、画像情報を非表示にしている可能性があります。設定内容の情報が表示されるまで、**DISP** ボタンを押してください。	15
［**デート写し込み**］が選べない	セットアップメニュー［**日時設定**］が設定されていません。	22、155
［**デート写し込み**］を有効にしたのに、日付が写し込まれない	• 日付を写し込めない撮影モードになっています。 • デート写し込みが制限される他の機能の設定がされています。 • 動画には写し込みできません。	159 159 –
設定内容が初期状態に戻ってしまった	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。	156
［**連番リセット**］ができない	• フォルダー番号が 999 に達し、そのフォルダー内にファイルがあるときは、［**連番リセット**］ができません。SD カードを交換するか、内蔵メモリー /SD カードを初期化してください。 • シーンモードが［**パノラマアシスト**］のとき、または撮影モードが **P**、**S**、**A**、**M**、**U** で、撮影メニュー［**連写**］が［**インターバル撮影**］のときは［**連番リセット**］の設定ができません。	174、181 174、181
液晶モニターが消灯し、電源ランプが高速点滅する	バッテリーの温度が高温になっています。電源をOFFにして、バッテリーの温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。ランプの点滅が3分続くと電源は自動的にOFFになりますが、電源スイッチを押してもOFFにできます。	21
パソコンでカメラ内のバッテリーを充電できない	• カメラの電源を OFF にすると、バッテリーの充電も中止されます。 • 充電中にパソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止され、カメラの電源が OFF になることがあります。 • パソコンの仕様、設定または状態によっては、カメラ内のバッテリーを充電できないことがあります。	145 – –

●デジタルカメラの特性について

きわめてまれに、液晶モニターに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。このような場合は、電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し、もう一度電源をONにしてみてください。これによってカメラが作動しなくなったときのデータは失われるおそれがありますが、すでに内蔵メモリーまたはSDカードに記録されているデータは失われません。この操作を行ってもカメラに不具合が続くときは、ニコンサービス機関にお問い合わせください。

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影モードにできない	HDMIケーブルまたはUSBケーブルを外してください。	138、141、147
撮影できない	• 再生モードになっているときは、▶ボタンまたはシャッターボタンを押してください。 • メニューが表示されているときは、MENUボタンを押してください。 • バッテリー残量がありません。 • シーンモードが［**夜景ポートレート**］または［**逆光**］になっているときは、内蔵フラッシュをポップアップしてください。 • フラッシュ表示が点滅しているときは、フラッシュの充電中です。	32 13 26 35、47、51 36
ピントが合わない	• オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 • セットアップメニュー［**AF 補助光**］を［**AUTO**］にしてください。 • シャッターボタンを半押ししたときに、被写体がAFエリア内に入っていません。 • フォーカスモードがMF（マニュアルフォーカス）になっています。 • 電源を入れ直してください。	31 163 30、90 38、40 21
画像がぶれる	• フラッシュを使ってください。 • 手ブレ補正機能やモーション検知機能を使ってください。 • BSS（ベストショットセレクター）を使ってください。 • 三脚などでカメラを安定させてください（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。	34 160、162 86 37
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュモードを⊕（発光禁止）にしてください。	34

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
フラッシュが発光しない	• フラッシュモードが ⊛（発光禁止）になっています。 • フラッシュが発光しないシーンモードになっています。 • ベストフェイスモードで［**目つぶり軽減**］が［**ON**］になっています。 • スポーツ連写モードになっています。 • フラッシュが制限される他の機能の設定がされています。	34 45 58 62 96
電子ズームが使えない	• セットアップメニュー［**電子ズーム**］が［**OFF**］になっています。 • 以下の場合、電子ズームは使えません。 - フォーカスモードが MF（マニュアルフォーカス）のとき - シーンモードが［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］、［**夜景**］、［**打ち上げ花火**］または［**逆光 HDR**］のとき - おまかせシーンモードのとき - ベストフェイスモードのとき - ターゲット追尾モードのとき - 撮影メニュー［**連写**］の設定が［**マルチ連写**］のとき	164 38、40 46、47、 49、51、 52 43 55 59 86
設定できるシャッタースピードの範囲が狭い	カメラの内部が高温になると、自動でシャッタースピードが制限されます。制限された上限に達すると、撮影画面でシャッタースピード表示が2回点滅します。温度が下がるまでしばらく放置してから設定してください。	–
［**画像サイズ**］が選べない	［**画像サイズ**］が制限される他の機能の設定がされています。	96
シャッター音が鳴らない	• セットアップメニュー［**操作音**］の［**シャッター音**］が［**OFF**］になっています。 • 撮影メニュー［**連写**］の設定が［**連写 H**］、［**連写 L**］、［**BSS**］または［**マルチ連写**］になっています。 • 撮影メニュー［**ブラケティング**］が［**OFF**］以外になっています。 • シーンモードが［**ミュージアム**］になっています。 • ベストフェイスモードの［**笑顔自動シャッター**］または［**目つぶり軽減**］が［**ON**］になっています。 • スポーツ連写モードになっています。 • スピーカーをふさがないでください。	165 86 89 50 57、58 62 5、28
AF補助光が点灯しない	セットアップメニュー［**AF補助光**］が［**OFF**］になっています。［**AUTO**］に設定していても、AFエリアの位置やシーンモードによっては点灯しない場合があります。	163
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	175
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスが選ばれていません。	82

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像がざらつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっています。 • フラッシュを使ってください。 • 低い ISO 感度にしてください。 • 撮影状況に合わせて、撮影メニュー［**ノイズ低減**］を設定してください。 • ノイズ低減機能付きのシーンモードで撮影してください。	 34 84 94 45
画像が暗すぎる	• フラッシュモードが （発光禁止）になっています。 • 内蔵フラッシュが指などでさえぎられています。 • 被写体にフラッシュの光が届いていません。 • 露出を補正してください。 • ISO 感度を上げてください。 • 逆光で撮影しています。内蔵フラッシュをポップアップして、シーンモードの［**逆光**］にするかフラッシュモードを （強制発光）にしてください。	34 28 34 41 84 34、51
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	41
赤目以外の部分が補正された	（赤目軽減自動発光）やシーンモードの［**夜景ポートレート**］の赤目軽減スローシンクロ強制発光でフラッシュ撮影すると、ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。［**夜景ポートレート**］以外の撮影モードで、フラッシュモードを （赤目軽減自動発光）以外にして撮影してください。	34、47
美肌の効果が得られない	• 撮影条件によっては、美肌効果が適切に得られないことがあります。 • 4 人以上の顔を撮影した画像は、再生メニュー［**美肌**］をお試しください。	57 122
画像の記録に時間がかかる	以下の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。 • ノイズ低減機能が作動したとき • フラッシュを （赤目軽減自動発光）にして撮影したとき • シーンモードの［**夜景**］または［**逆光 HDR**］で撮影したとき • 美肌機能で撮影したとき • スポーツ連写モードで撮影したとき • アクティブ D- ライティング機能で撮影したとき	 94 34 49、52 57 62 95
連写またはブラケティングの設定ができない、または使えない	連写またはブラケティングが制限される他の機能の設定がされています。	96
仕上がり設定が設定できない	仕上がり設定が制限される他の機能の設定がされています。	96

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
再生できない	• パソコンか他社製のカメラによって画像が上書きされたか、ファイル名やフォルダー名が変更されました。 • インターバル撮影中です。 • COOLPIX P100 以外で撮影した動画は再生できません。	– 87 127
連写グループが再生できない	• COOLPIX P100 以外で連写した画像は、連写グループとして再生できません。 • ［**連写グループ表示方法**］の設定を確認してください。	– 116
画像の拡大表示ができない	動画やスモールピクチャー、320×240以下にトリミングされた画像は拡大表示できません。	–
音声メモの録音や再生ができない	• 動画には音声メモを付けられません。 • COOLPIX P100 以外で撮影した画像には、このカメラで音声メモを付けられません。また、このカメラ以外で画像に音声メモを付けると、このカメラで再生できません。	137 117
簡単レタッチ、D-ライティング、美肌、スモールピクチャー、黒フレーム、トリミングができない	• 動画は編集できません。 • ［**画像サイズ**］を 3:2［**3648 × 2432**］、16:9［**3584 × 2016**］、1:1［**2736 × 2736**］にして撮影した画像は、黒フレーム以外の編集ができません。 • 編集が可能な条件を確認してください。 • COOLPIX P100 以外で撮影した画像は編集できません。	137 76 118 –
画像がテレビに映らない	• セットアップメニュー［**TV 出力設定**］の［**ビデオ出力**］または［**HDMI**］が正しく設定されていません。 • HDMI ケーブルとオーディオビデオケーブル、または HDMI ケーブルと USB ケーブルの両方が接続されています。 • 画像が記録されていないSDカードが入っています。SDカードを交換してください。内蔵メモリーの画像を再生するときはSDカードを取り出してください。	167 138 24
カメラをパソコンに接続しても、Nikon Transfer が自動起動しない	• カメラの電源が OFF になっています。 • バッテリー残量がありません。 • USBケーブルが正しく接続されていません。 • パソコンにカメラが正しく認識されていません。 • 対応 OS を確認してください。 • Nikon Transfer が自動起動しない設定になっています。Nikon Transfer については、Nikon Transfer のヘルプをご参照ください。	21 26 141 – 140 144

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
カメラをプリンターに接続しても、［**PictBridge**］画面が表示されない	PictBridge対応プリンターの種類によっては、［**パソコン接続充電**］を［**AUTO**］に設定していると、［**PictBridge**］画面が表示されず、プリントできない場合があります。［**パソコン接続充電**］を［**OFF**］にしてプリンターに接続し直してください。	168
プリントする画像が表示されない	• 画像が記録されていないSDカードが入っています。SDカードを交換してください。 • 内蔵メモリーの画像をプリントするときはSDカードを取り出してください。	24 24
カメラ側で用紙設定ができない	PictBridge対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」ができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。 • カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。 • 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。	148、149 ―

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX P100

型式	コンパクトデジタルカメラ
有効画素数	10.3メガピクセル
撮像素子	1/2.3型原色CMOS、総画素数10.6 メガピクセル
レンズ	光学26倍 ズームニッコールレンズ
焦点距離	4.6–120mm（35mm判換算26–678mm相当の撮影画角）
開放F値	f/2.8–5
レンズ構成	11群14枚
電子ズーム	最大4倍（35mm判換算で約2712mm相当の撮影画角）
手ブレ補正	イメージセンサーシフト方式と電子式の併用（静止画） 電子式（動画）
オートフォーカス	コントラスト検出方式、マルチエリアAF可能
撮影距離	• レンズ前約 50 cm ～∞（広角側）、約 1.7 m ～∞（望遠側） • マクロ AF 時は約 10 cm ～∞（🌷 マークが緑色になる △マークより広角側のズーム位置）、約1 cm～∞（最も広角側と △ マークの中央になるズーム位置）
AFエリア	顔認識オート、オート（9点）、中央、マニュアル（99点）
電子ビューファインダー	カラー液晶ビューファインダー、0.24型TFT液晶、約23万ドット 視度調節機能付き
視野率（撮影時）	上下左右とも約97%（対実画面）
視野率（再生時）	上下左右とも約100%（対実画面）
液晶モニター	3型TFT液晶、反射防止コート付き、約46万ドット 輝度調節機能付き（5段階）、 チルト式（下方82°、上方90°可動）
視野率（撮影時）	上下左右とも約97%（対実画面）
視野率（再生時）	上下左右とも約100%（対実画面）
記録方式	
記録媒体	内蔵メモリー（約43 MB）、SDメモリーカード
画像ファイル	DCF、Exif 2.2、DPOF準拠
ファイル形式	静止画： JPEG 音声メモ：WAV 動画：MOV（映像：MPEG-4 AVC/H.264、音声：AAC ステレオ）

画像サイズ（記録画素数）		・10 M［3648×2736］ ・8 M［3264×2448］ ・5 M［2592×1944］ ・3 M［2048×1536］ ・2 M［1600×1200］ ・1 M［1280×960］ ・PC［1024×768］ ・VGA［640×480］ ・3:2［3648 × 2432］ ・16:9［3584×2016］ ・1:1［2736×2736］
ISO感度（標準出力感度）		・ISO 160、200、400、800、1600、3200 ・オート（ISO 160 ～ 800） ・高感度オート（ISO 160 ～ 1600） ・感度制限オート（ISO 160 ～ 200、160 ～ 400） ・スポーツ連写モード（ISO 160 ～ 3200）
露出		
	測光方式	マルチパターン測光（256分割）、中央部重点測光、スポット測光、AFスポット測光（99点AF対応）
	露出制御	プログラムオート（プログラムシフト可能）、シャッター優先オート、絞り優先オート、マニュアル露出、ブラケティング、モーション検知機能付き、露出補正（±2段の範囲で1/3段刻み）可能
	露出連動範囲（オート撮影モード時）	－1～+16.2 EV（広角側） 0.6～16.3 EV（望遠側） （ISO感度オート時の連動範囲をISO 100のEV値にて換算）
シャッター		メカニカルシャッターとCMOS電子シャッターの併用
	シャッタースピード	・1/2000 ～ 2 秒 ・1/2000 ～ 8 秒（**S**、**A**、**M** モード） ・1/8000 ～ 1 秒（スポーツ連写モード） ・4 秒（シーンモードの［**打ち上げ花火**］）
絞り		電磁駆動による6枚羽根虹彩絞り
	制御段数	10（1/3 EVステップ）
セルフタイマー		約10秒、約2秒
内蔵フラッシュ		
	調光範囲（ISO感度設定オート時）	約0.5～10 m（広角側） 約1.7～2.5 m（望遠側）
	調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
インターフェース		Hi-Speed USB
	通信プロトコル	MTP、PTP
ビデオ出力		NTSC、PALから選択可能
入出力端子		オーディオビデオ出力/デジタル端子（USB）、 HDMIミニ端子（HDMI出力）
言語		日本語、英語の2言語

電源	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL5（リチウムイオン充電池：付属）×1個 ACアダプター EH-62A（別売）
充電時間	約3時間30分（本体充電ACアダプター EH-68P使用時、残量のない状態からの充電時間）
撮影可能コマ数(電池寿命)※	約250コマ（EN-EL5使用時）
寸法（幅×高さ×奥行き）	約114.4×82.7×98.6 mm（突起部除く）
質量	約481 g（バッテリー、SDメモリーカード含む）
動作環境	
使用温度	0～40 ℃
使用湿度	85 %以下（結露しないこと）

- 仕様中のデータは、すべて常温（25 ℃）、リチャージャブルバッテリー EN-EL5をフル充電で使用時のものです。

※ 電池寿命測定方法を定めたCIPA（カメラ映像機器工業会）規格によるものです。測定条件は、23(±2) ℃、撮影ごとにズーム、2回に1回の割合でのフラッシュ撮影、画質［**NORMAL**］、画像サイズ［**3648×2736**］です。撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などにより、コマ数は変動します。

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL5

形式	リチウムイオン充電池
定格容量	DC 3.7 V、1100 mAh
使用温度	0～40 ℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約36×54×8 mm（突起部除く）
質量	約30 g（端子カバーを除く）

本体充電ACアダプター EH-68P

電源	AC 100～240 V、50/60 Hz、0.065～0.04 A
定格入力容量	6.5～9.6 VA
定格出力	DC 5.0 V、0.5 A
使用温度	0～40 ℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約55×22×65 mm
質量	約60 g

使用説明書について

- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system (DCF)：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録方式です。
- DPOF (Digital Print Order Format)：デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- Exif (Exchangeable image file format) Version 2.2：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。
  この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報を活かして最適なプリント出力を得ることができます。
  詳しくはプリンターの使用説明書をご覧ください。
- PictBridge：デジタルカメラとプリンターのメーカー各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接プリントするための標準規格です。

索引

マーク・英数字

ア

カ

サ

タ

アフターサービスについて

■この製品の操作方法や修理についてのお問い合わせは

この製品の操作方法や修理について、ご質問がございましたら、ニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

- ニコンカスタマーサポートセンターにつきましては、使用説明書裏面をご覧ください。

●お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAXまたは郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

■修理を依頼される場合は

ご購入店、またはニコンサービス機関にご依頼ください。

- ニコンサービス機関につきましては、「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。
- ご転居、ご贈答品などでご購入店に修理を依頼することができない場合は最寄りの販売店、またはニコンサービス機関にご相談ください。
- 修理に出されるときに、SDカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ご購入店またはニコンサービス機関へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

■インターネットご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を下記の当社ホームページでご覧いただくことができます。

  http://www.nikon-image.com/jpn/support/

- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行

FAX:(03)5977-7499

【お問い合わせ承り書】 太枠内のみご記入ください

お問い合わせ日：　　　　　　　　　　年　　月　　日

お買い上げ日：　　　　　　　　　　　年　　月　　日

製品名：　　　　　　　　　　　シリアル番号：

フリガナ
お名前：

連絡先ご住所：□自宅　　□会社

〒

TEL:

FAX:

ご使用のパソコンの機種名：

メモリー容量：　　　　　　　　　ハードディスクの空き容量：

OS のバージョン：　　　　　　　　ご使用のインターフェースカード名：

その他接続している周辺機器名：

ご使用のアプリケーションソフト名：

ご使用の当社ソフトウェアのバージョン名：

問題が発生した時の症状、表示されたメッセージ、症状の発生頻度：
（おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください）

※このページはコピーしてお使いください。

整理番号：

Nikon

製品の使い方に関するお問い合わせ

＜ニコン カスタマーサポートセンター＞

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。

携帯OK **0570-02-8000**

一般電話･公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9：30〜18：00（年末年始、夏期休業日等を除く毎日）
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03）6702-0577 におかけください。ファクシミリでのご相談は、（03）5977-7499 に送信ください。

修理サービスのご案内

インターネットでの修理のお申し込み

下記 URL から「ニコン ピックアップサービス」のお申し込みができます。宅配便などでお送りいただいた場合などの「修理金額見積り」、「修理状況」、「納期」などもご確認できますのでご利用ください。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/repair/

修理品のお引き取りを依頼される場合は

＜ニコン ピックアップサービス＞

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）が、梱包資材のお届け･修理品のお引き取り、修理後のお届け･集金までを一括して提供するサービスです。

0120-02-8155

営業時間：9：30〜18：00（年末年始12/29〜1/4を除く毎日）
※左記のフリーダイヤルは、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）にて承ります。

製品に関するお問い合わせは、上記のカスタマーサポートセンターへお願いいたします。
修理に関するお問い合わせは、下記の修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と
修理に関するお問い合わせは

＜（株）ニコンイメージングジャパン　修理センター＞

230-0052　横浜市鶴見区生麦2-2-26

携帯OK **0570-02-8200**

一般電話･公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9：30〜17：30（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03）6702-0577（ニコンカスタマーサポートセンター）におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

株式会社 ニコン
株式会社 ニコン イメージング ジャパン

Printed in Japan

FX0C03(10)

6MM74910-03